

玉野市立学校の適正規模・適正配置に関する アンケート調査結果報告書

玉野市教育委員会

玉野市学校適正規模・適正配置検討委員会

目次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回答率	2

第2章 アンケート（当初調査分）回答

1. 回答者の属性	4
(1) 保護者	4
(2) 教職員	5
(3) 地域	6
(4) 児童・生徒	7
2. 共通設問	8
3. 個別設問	65
(1) 保護者	65
(2) 教職員	71
(3) 児童・生徒	77

第3章 アンケート（追加調査分）回答

1. 回答者の属性	95
(1) 保護者	95
(2) 教職員	96
(3) 地域	97
2. 共通設問	98

第4章 アンケート自由記述回答

第5章 アンケート用紙

124

147

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

- ① 玉野市立小・中学校の適正規模及び適正配置を審議するうえで必要な事項について、保護者、児童・生徒、教職員の意識を把握する。
- ② 地域活動の拠点としての学校という視点から適正規模及び適正配置を調査・審議するうえで必要な事項について市民の意識を把握する。

2. 調査方法

(1) 当初調査

調査種別	調査対象	調査方法	調査実施期間
保護者	・玉野市立小・中学校の保護者 (注) 兄弟姉妹関係で重複提出の場合あり	配布：学校を通じて調査票を配布 回収：学校経由 Web 回答	令和4年 7/19～10/7
教職員	・玉野市立小・中学校	配布：学校を通じて調査票を配布 回収：学校経由 Web 回答	令和4年 7/22～10/7
地域	・玉野市在住の市民 ・幼稚園・保育園の保護者 (注) 兄弟姉妹関係で重複提出の場合あり	配布：公民館、HP、地域説明会 回収：公民館、各園経由 Web 回答	令和4年 7/22～10/7
児童・生徒	・玉野市立小学校の4年生以上の児童 ・玉野市立中学校の全生徒	配布：学校を通じて調査票を配布 回収：Web 回答	令和4年 9/20～10/7

(2) 追加調査

調査種別	調査対象	調査方法	調査実施期間
保護者	・玉野市立小・中学校の保護者 (注) 兄弟姉妹関係で重複提出の場合あり	配布：学校を通じて調査票を配布 回収：学校経由 Web 回答	令和4年 9/5～10/7
教職員	・玉野市立小・中学校	配布：学校を通じて調査票を配布 回収：学校経由 Web 回答	令和4年 9/5～10/7
地域	・玉野市在住の市民 ・幼稚園・保育園の保護者 (注) 兄弟姉妹関係で重複提出の場合あり	配布：公民館、HP、地域説明会 回収：公民館、各園経由 Web 回答	令和4年 8/24～10/7

3. 回答率

(1) 当初調査

調査種別	区分	配布数	有効回答数	回答率
保護者	小学校	1,153 人	672 人	58.3%
	中学校	1,180 人	208 人	17.6%
	合計	2,333 人	880 人	37.7%
教職員	小学校	351 人	211 人	60.1%
	中学校	185 人	111 人	60.0%
	合計	536 人	322 人	60.1%
地域	幼・保 保護者	—	600 人	—
	一般	—		
	合計	—		
児童・生徒	小学校	1,153 人	936 人	81.2%
	中学校	1,180 人	819 人	69.4%
	合計	2,333 人	1,755 人	75.2%

(2) 追加調査

調査種別	区分	配布数	有効回答数	回答率
保護者	小学校	1,153 人	809 人	70.2%
	中学校	1,180 人	163 人	13.8%
	合計	2,333 人	972 人	41.7%
教職員	小学校	351 人	178 人	50.7%
	中学校	185 人	79 人	42.7%
	合計	536 人	257 人	47.9%
地域	幼・保 保護者	—	465 人	—
	一般	—		
	合計	—		

報告書の見方

- (1) 調査結果について、構成比を表すグラフまたは集計表の場合、小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。そのため、数値の合計が100.0パーセントにならない場合があります。
また、個別の設問において、指定の選択肢以外の回答があったり、無回答のような無効の回答があったりする場合に、回答数の合計と調査対象数が一致しない場合があります。
- (2) 複数回答が可能な設問調査結果を集計したグラフまたは集計表の場合、全ての回答数を合計すると回答者数を超える場合があります。
- (3) 本文やグラフ・数表の選択肢の表記は、場合により語句を簡略化しています。
- (4) 記述式の項目の集計データは、回答の趣旨ごとに取りまとめているので、アンケートにご記入いただいた表記とは一致しない場合があります。

第2章 アンケート（当初調査分）回答

1. 回答者の属性

(1) 保護者

① 年代

回答	回答者数	割合
19歳以下	2	0.2%
20歳～29歳	23	2.6%
30歳～39歳	357	40.3%
40歳～49歳	452	51.0%
50歳～59歳	49	5.5%
60歳～69歳	2	0.2%
70歳～79歳	0	0.0%
80歳以上	0	0.0%
無回答	1	0.1%
合計	886	100.0%

② お子様が生籍する学校

回答	回答者数	割合	回答	回答者数	割合
田井小学校	94	10.6%	宇野中学校	43	4.9%
築港小学校	35	4.0%	玉中学校	5	0.6%
宇野小学校	47	5.3%	日比中学校	20	2.3%
玉小学校	24	2.7%	山田中学校	14	1.6%
玉原小学校	33	3.7%	荘内中学校	77	8.7%
日比小学校	28	3.2%	八浜中学校	34	3.8%
第二日比小学校	29	3.3%	東児中学校	15	1.7%
山田小学校	13	1.5%	中学校 計	208	23.5%
後閑小学校	9	1.0%			
荘内小学校	233	26.3%			
八浜小学校	52	5.9%			
大崎小学校	30	3.4%			
胸上小学校	27	3.0%	その他	5	0.6%
銚立小学校	18	2.0%	無回答	1	0.1%
小学校 計	672	75.8%	合計	886	100.0%

③ お子様の学年

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	その他	無回答	回答者数
小学校	135	120	111	103	84	84	28	7	672
中学校	69	73	62	0	0	0	3	1	208
その他	0	1	2	1	0	0	1	0	5
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	205	194	175	104	84	84	32	8	886

(2) 教職員

① 勤務している学校種

回答	回答者数	割合
小学校	211	65.1%
中学校	111	34.3%
その他	2	0.6%
無回答	0	0.0%
合計	324	100.0%

② 役職

回答	管理職	教員 ^{※1}	非常勤講師	その他職員	その他	無回答	合計
小学校	26	137	14	33	0	1	211
中学校	14	77	7	13	0	0	111
その他	0	1	1	0	0	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0
合計	40	215	22	46	0	1	324

※1 養護教諭、栄養教諭、常勤講師を含む。

③年代

回答	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
小学校	42	49	49	61	9	1	29
中学校	25	30	15	34	6	1	6
その他	1	0	0	0	1	0	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0
合計	68	79	64	95	16	2	324

(3) 地域

① 年代

回答	回答者数	割合
19歳以下	5	0.8%
20歳～29歳	76	12.7%
30歳～39歳	259	43.2%
40歳～49歳	105	17.5%
50歳～59歳	43	7.2%
60歳～69歳	39	6.5%
70歳～79歳	49	8.2%
80歳以上	23	3.8%
無回答	1	0.2%
合計	600	100.0%

② 住んでいる地区（小学校区）

回答	回答者数	割合
田井小学校	127	21.2%
築港小学校	36	6.0%
宇野小学校	34	5.7%
玉小学校	29	4.8%
玉原小学校	25	4.2%
日比小学校	33	5.5%
第二日比小学校	17	2.8%
山田小学校	14	2.3%
後閑小学校	27	4.5%
荘内小学校	124	20.7%
八浜小学校	38	6.3%
大崎小学校	21	3.5%
胸上小学校	10	1.7%
鉾立小学校	60	10.0%
その他	1	0.2%
無回答	4	0.7%
合計	600	100.0%

(4) 児童・生徒

在籍している学校

回答	回答者数	割合	回答	回答者数	割合
田井小学校	94	10.6%	宇野中学校	43	4.9%
築港小学校	35	4.0%	玉中学校	5	0.6%
宇野小学校	47	5.3%	日比中学校	20	2.3%
玉小学校	24	2.7%	山田中学校	14	1.6%
玉原小学校	33	3.7%	荘内中学校	77	8.7%
日比小学校	28	3.2%	八浜中学校	34	3.8%
第二日比小学校	29	3.3%	東児中学校	15	1.7%
山田小学校	13	1.5%	中学校 計	208	23.5%
後閑小学校	9	1.0%			
荘内小学校	233	26.3%			
八浜小学校	52	5.9%			
大崎小学校	30	3.4%			
胸上小学校	27	3.0%	その他	5	0.6%
銚立小学校	18	2.0%	無回答	1	0.1%
小学校 計	672	75.8%	合計	886	100.0%

2. 共通設問

●本項目は、保護者を対象とした調査結果を基礎として、保護者・教職員・地域の意識を比較するために、共通でお聞きした設問の調査結果をあわせて掲載しています。

※小学校の規模については、この調査では次のとおりとしています。

複式=後閑小

小規模=築港、宇野、玉、玉原、日比、二日比、山田、八浜、大崎、胸上、鉾立小

標準規模=田井小

大規模=荘内小

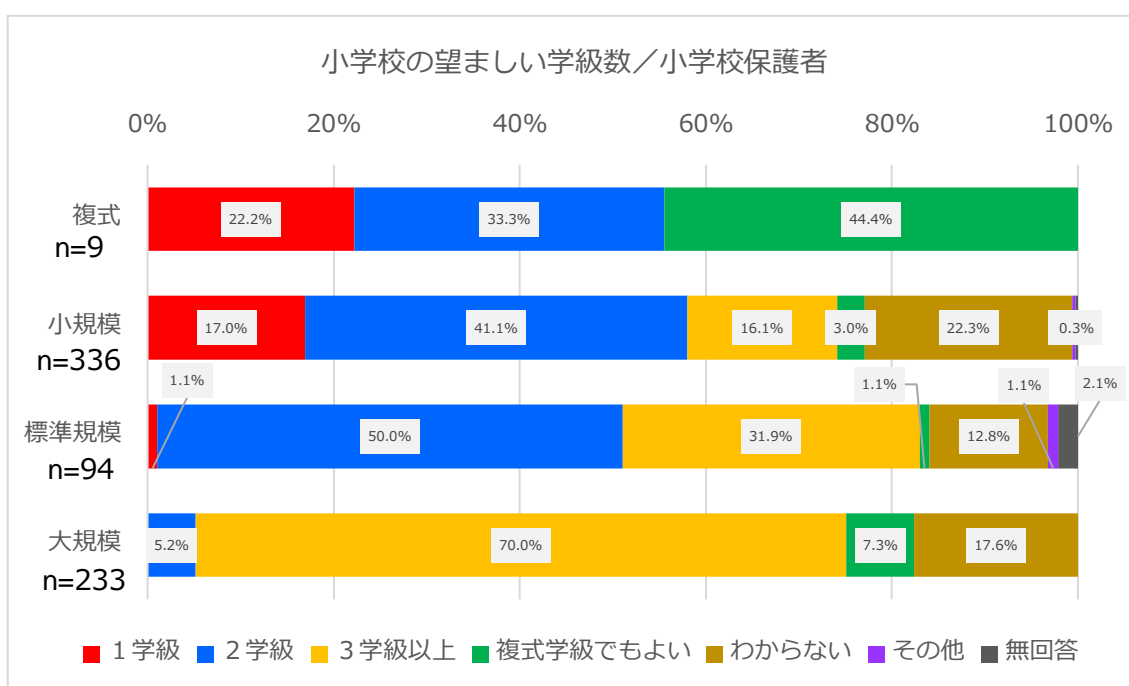
※教職員の集計では、勤務している学校の学校規模で集計しています。

※地域の方の集計では、お住まいの地区（小学校区）にある学校規模で集計しています。

Q. 小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(1) 小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
1学級	60	8.9%	2	57	1	0	0
2学級	200	29.8%	3	138	47	12	0
3学級以上	247	36.8%	0	54	30	163	0
複式学級でもよい	32	4.8%	4	10	1	17	0
わからない	128	19.0%	0	75	12	41	0
その他	2	0.3%	0	1	1	0	0
無回答	3	0.4%	0	1	2	0	0
合計	672	100.0%	9	336	94	233	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(1) 小学校保護者

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【複式】

■ 2学級

(2) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

■ 複式学級でもよい

(4) 対応が丁寧など、複式学級のメリットがある

(1) 今の環境がよい

【小規模】

■ 1学級

(11) 先生が目が行き届きやすいなど、少人数学級のメリットがある

(5) 今の環境がよい

(5) 人数に応じた学級数でよい

(3) 複式学級には不安がある

(3) 自分もそうだった

(2) クラス替えが不安

■ 2学級

(76) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(14) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある

(8) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

(2) 複式学級には不安がある

(1) 自分もそうだった

(1) 適度な規模

■ 3学級以上

(18) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(15) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある

(2) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

(1) 自分もそうだった

■ 複式学級でもよい

(2) 対応が丁寧など、複式学級のメリットがある

(1) 「複数」と「複式」の錯誤（「多い方がよい」など）

【標準規模】

■ 2学級

(9) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(5) 適度な規模

(2) 今の環境がよい

(1) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある

(1) 人数に応じた学級数でよい

■ 3学級以上

(13) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

(4) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(4) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある

【大規模】

■ 2 学級

- (4) 多すぎて目が行き届かないなど、児童数が大きいことにデメリットがある
- (2) 適度な規模
- (1) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

■ 3 学級以上

- (28) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (15) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
- (13) 1 クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる (※)
- (4) 人数に応じた学級数でよい
- (2) 今の環境がよい
- (1) 多すぎて目が行き届かないなど、児童数が大きいことにデメリットがある

■ 複式学級でもよい

- (3) 「複数」と「複式」の錯誤（「多い方がよい」など）
- (2) 対応が丁寧など、複式学級のメリットがある
- (2) 人数に応じた学級数でよい

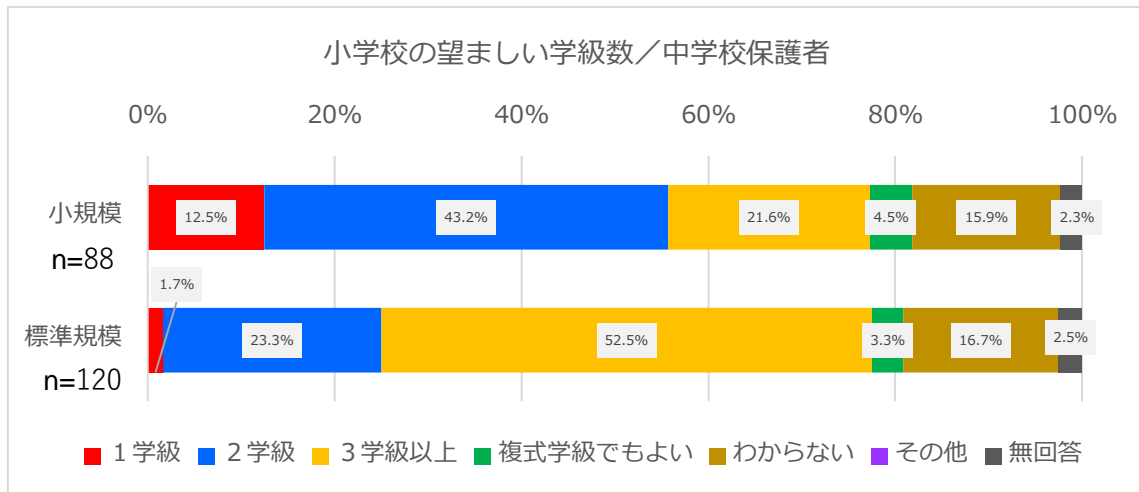
(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見（138 件）のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが 128 件と、92.8%を占めた。
クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、1 クラスでは「人間関係が固定する」「逃げ場がない」など 1 クラスのデメリット解消を指摘するものが多く、次いで「環境変化への対応」などクラス替えの効果を指摘するものが多かった。
- ・「1 クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる (※)」は、現在の児童数のまま学級数を増やすことにより、少人数学級の実現を求める意見と考えられる。全体で 36 件あった。標準規模校、大規模校の保護者からの回答に多く見られる。
- ・望ましい学級数を「わからない」と回答した人も含め、「人数に応じた学級数でよい」とする意見が全体で 15 件あった。
- ・「クラス数よりも 1 クラスの人数が重要」「30 人以下」「20 人以下」など、人数に言及する意見が全体で 11 件あった。
- ・説明不足により「複式学級」を「複数学級」と錯誤している例が全体で 4 件あった。

Q. 小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(2) 中学校保護者

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
1学級	13	6.3%	11	2	0	0
2学級	66	31.7%	38	28	0	0
3学級以上	82	39.4%	19	63	0	0
複式学級でもよい	8	3.8%	4	4	0	0
わからない	34	16.3%	14	20	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	5	2.4%	2	3	0	0
合計	208	100.0%	88	120	0	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(2) 中学校保護者

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【小規模】

■ 1学級

- (1) 複式学級には不安がある

■ 2学級

- (18) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (4) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
- (2) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

■ 3学級以上

- (9) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (6) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
- (1) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (1) 自分もそうだった

■ 複式学級でもよい

- (1) 「複数」と「複式」の錯誤（「多い方がよい」など）

【標準規模】

■ 1学級

- (1) 先生が目が行き届きやすいなど、少人数学級のメリットがある

■ 2学級

- (10) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (2) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (1) 自分もそうだった

■ 3学級以上

- (15) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (11) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (10) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
- (2) 今の環境がよい
- (1) 多すぎても目が行き届かないなど、児童数が大きいことにデメリットがある

■ 複式学級でもよい

- (1) 「複数」と「複式」の錯誤（「多い方がよい」など）

(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見（52件）のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが49件と、94.2%を占めた。

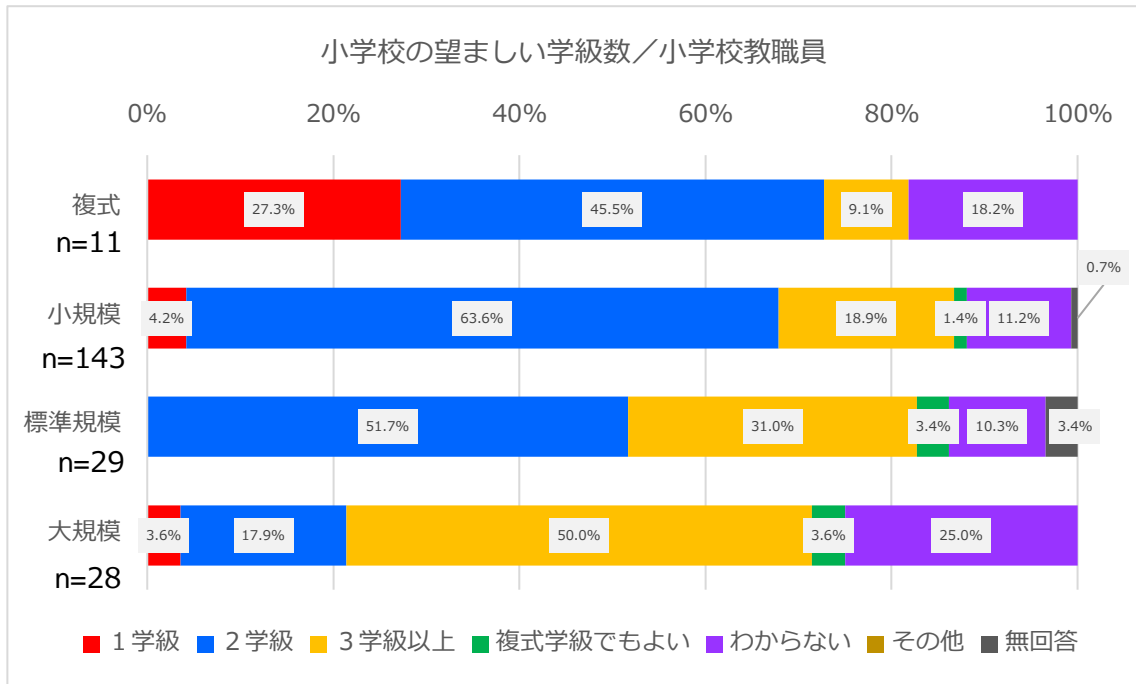
クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、1クラスでは「人間関係が固定する」「逃げ場がない」など1クラスのデメリット解消を指摘するものと、「環境変化への対応」などクラス替えの効果を指摘するものがほぼ同数であった。

- ・「1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)」は、現在の児童数のまま学級数を増やすことにより、少人数学級の実現を求める意見と考えられる。全体で16件あった。
- ・説明不足により「複式学級」を「複数学級」と錯誤している例が全体で2件あった。

Q. 小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(3) 小学校教職員

回答	全体		内訳					
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他	無回答
1学級	10	4.7%	3	6	0	1	0	0
2学級	116	55.0%	5	91	15	5	0	0
3学級以上	51	24.2%	1	27	9	14	0	0
複式学級でもよい	4	1.9%	0	2	1	1	0	0
わからない	28	13.3%	2	16	3	7	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
無回答	2	0.9%	0	1	1	0	0	0
合計	211	100.0%	11	143	29	28	0	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(3) 小学校教員

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【複式】

■ 2学級

- (5) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (1) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある

■ 3学級以上

- (1) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある

【小規模】

■ 2学級

- (70) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (6) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (2) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
- (1) 教員間で歩調を合わせやすい

■ 3学級以上

- (31) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (2) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
- (1) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

■ 複式学級でもよい

- (2) 対応が丁寧など、複式学級のメリットがある

【標準規模】

■ 2学級

- (6) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (1) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある

■ 3学級以上

- (6) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (2) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (1) 教員間で歩調を合わせやすい

【大規模】

■ 2学級

- (3) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (2) 教員間で歩調を合わせやすい
- (1) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある

■ 3学級以上

- (11) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (3) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
- (3) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

■ 複式学級でもよい

- (1) 「複数」と「複式」の錯誤（「多い方がよい」など）

(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見（133件）のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが78件（58.6%）、「教員数を確保することのメリット」に言及したものが47件（35.3%）あった。

クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、1クラスでは「人間関係が固定する」「逃げ場がない」など1クラスのデメリット解消を指摘するものが多く、次いで「より多くの人と関わりを持てる」などクラス替えの効果を指摘するものが多かった。

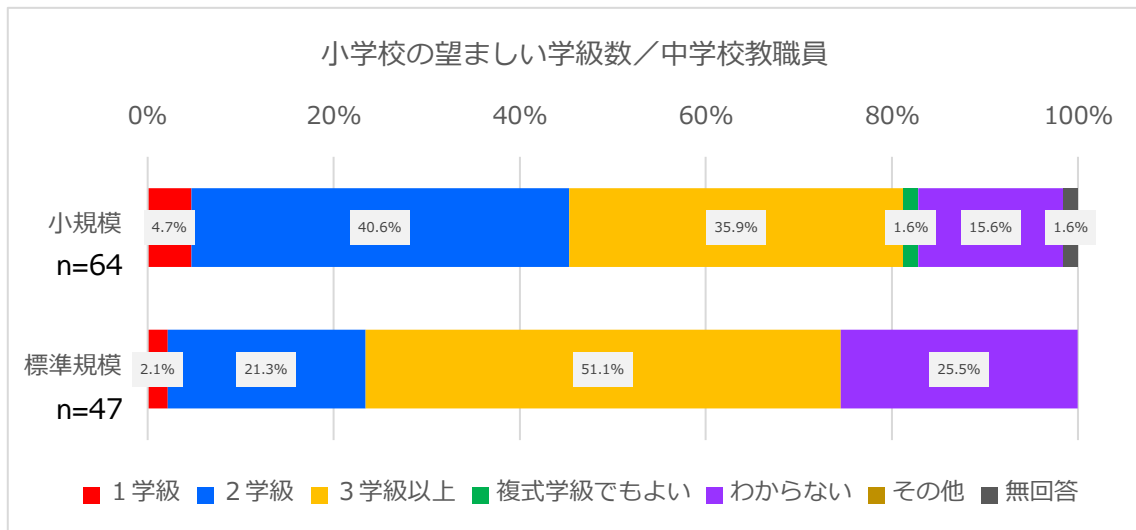
教員数確保のメリットとしては、「様々な相談・分担ができる」「教員の負担軽減につながる」など、学年団を形成するメリットに言及する意見が大半を占めた。

- ・「1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)」は、現在の児童数のまま学級数を増やすことにより、少人数学級の実現を求める意見と考えられる。全体で12件あった。

Q. 小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(4) 中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東見)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
1学級	4	3.6%	3	1	0	0
2学級	36	32.4%	26	10	0	0
3学級以上	47	42.3%	23	24	0	0
複式学級でもよい	1	0.9%	1	0	0	0
わからない	22	19.8%	10	12	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	1	0.9%	1	0	0	0
合計	111	100.0%	64	47	0	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(4) 中学校教員

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【小規模】

■ 1学級

- (1) 先生の目が行き届きやすいなど、少人数学級のメリットがある

■ 2学級

- (25) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (3) クラス数が多いと運営上のデメリットが生じる

- (1) 適度な規模

■ 3学級以上

- (15) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (4) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が多いことにメリットがある

【標準規模】

■ 2学級

- (4) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (1) 多すぎても目が行き届かないなど、児童数が多いことにデメリットがある

■ 3学級以上

- (9) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (2) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が多いことにメリットがある

- (2) 適度な規模

- (1) 自分もそうだった

(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見（53件）のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが38件（71.7%）、「教員数を確保することのメリット」に言及したものが6件（11.3%）あった。

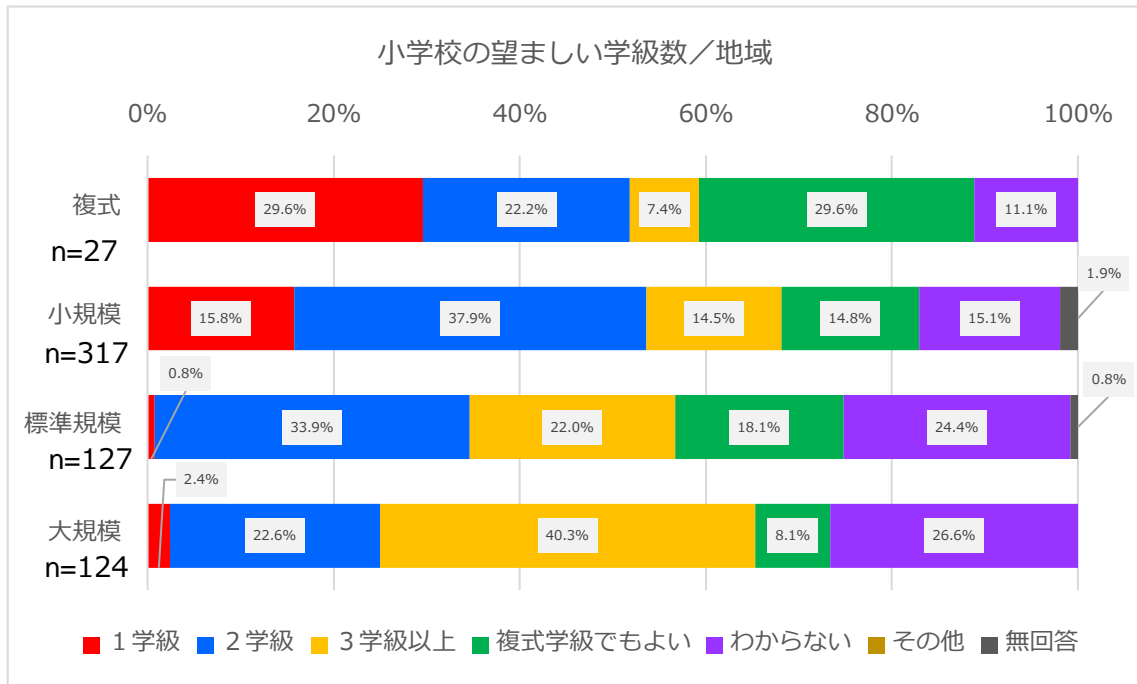
クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、1クラスでは「人間関係が固定する」「逃げ場がない」など1クラスのデメリット解消を指摘するものが多く、次いで「より多くの人と関わりを持てる」などクラス替えの効果を指摘するものが多かった。

教員数確保のメリットとしては、「様々な相談・分担ができる」など、学年団を形成するメリットに言及する意見が大半を占めた。

Q. 小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(5) 地域

回答	全体		内訳					
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他	無回答
1学級	62	10.3%	8	50	1	3	0	0
2学級	198	33.0%	6	120	43	28	1	0
3学級以上	127	21.2%	2	46	28	50	1	0
複式学級でもよい	88	14.7%	8	47	23	10	0	0
わからない	118	19.7%	3	48	31	33	3	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
無回答	7	1.2%	0	6	1	0	0	0
合計	600	100.0%	27	317	127	124	5	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(5) 地域

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【複式】

■ 1学級

(1) 先生が目が行き届きやすいなど、少人数学級のメリットがある

(1) 今の環境がよい

■ 2学級

(2) 適度な規模

■ 3学級以上

(1) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

■ 複式学級でもよい

(3) 対応が丁寧など、複式学級のメリットがある

【小規模】

■ 1学級

(14) 先生が目が行き届きやすいなど、少人数学級のメリットがある

(5) 複式学級には不安がある

(3) 今の環境がよい

(2) 自分もそうだった

■ 2学級

(43) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(12) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

(10) 適度な規模

(8) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある

(2) 自分もそうだった

(2) クラス替えに不安がある

(1) 複式学級には不安がある

■ 3学級以上

(13) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある

(11) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(5) 自分もそうだった

(2) 適度な規模

(2) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

■ 複式学級でもよい

(7) 対応が丁寧など、複式学級のメリットがある

(5) 統合に反対のため

(1) 「複数」と「複式」の錯誤(「多い方がよい」など)

【標準規模】

■ 2学級

(11) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(6) 適度な規模

(5) 自分もそうだった

(1) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

- (1) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
- 3学級以上
 - (8) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
 - (7) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
 - (5) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
 - (1) 自分もそうだった
- 複式学級でもよい
 - (5) 対応が丁寧など、複式学級のメリットがある
 - (2) 「複数」と「複式」の錯誤（「多い方がよい」など）

【大規模】

- 2学級
 - (5) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
 - (5) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
 - (3) 適度な規模
 - (1) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
 - (1) 自分もそうだった
- 3学級以上
 - (14) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
 - (8) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
 - (4) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- 複式学級でもよい
 - (3) 対応が丁寧など、複式学級のメリットがある
 - (1) 「複数」と「複式」の錯誤（「多い方がよい」など）

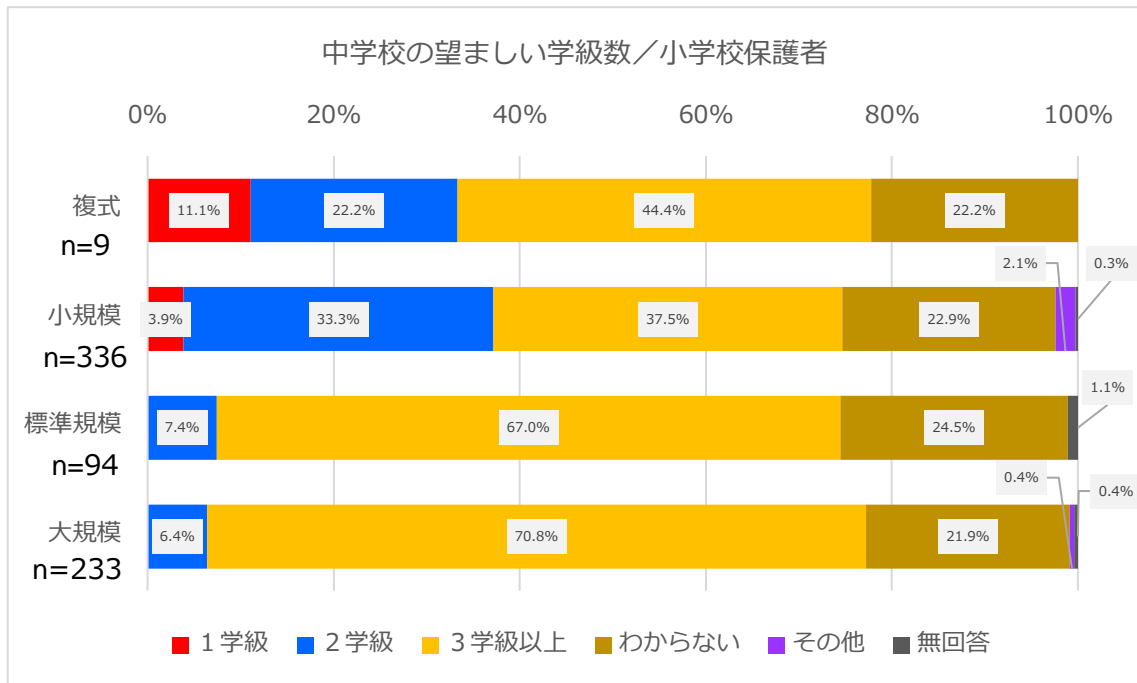
(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見（93件）のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが77件と、82.8%を占めた。他の主な意見は「クラス間で競争意識が生まれる」など。
クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、1クラスでは「人間関係が固定する」「逃げ場がない」など1クラスのデメリット解消を指摘するものが多く、次いで「環境変化への対応」などクラス替えの効果を指摘するものが多かった。
- ・「1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)」は、現在の児童数のまま学級数を増やすことにより、少人数学級の実現を求める意見と考えられる。全体で30件あった。
- ・説明不足により「複式学級」を「複数学級」と錯誤している例が全体で4件あった。

Q. 中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(1) 小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	率	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
1学級	14	2.1%	1	13	0	0	0
2学級	136	20.2%	2	112	7	15	0
3学級以上	358	53.3%	4	126	63	165	0
わからない	153	22.7%	2	77	23	51	0
その他	8	1.2%	0	7	0	1	0
無回答	3	0.4%	0	1	1	1	0
合計	672	100.0%	9	336	94	233	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(1) 小学校保護者

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【複式】

■ 2学級

(3) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

■ 3学級以上

(2) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(1) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

【小規模】

■ 1学級

(1) 複式学級には不安がある

■ 2学級

(35) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(12) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(7) 適度な規模

(4) 人数に応じた学級数でよい

(3) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

(3) 小学校より増えた方がよい

(1) 複式学級には不安がある

(1) 自分もそうだった

■ 3学級以上

(33) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(22) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(3) 小学校より増えた方がよい

(2) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

(2) 人数に応じた学級数でよい

(1) 自分もそうだった

【標準規模】

■ 2学級

(1) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(1) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

■ 3学級以上

(10) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

(9) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(6) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(1) 適度な規模

(1) 今の環境がよい

(1) 自分もそうだった

【大規模】

■ 2学級

- (6) 多すぎても目が行き届かないなど、生徒数が大きいことにデメリットがある
- (1) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

■ 3学級以上

- (29) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (20) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (18) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (3) 人数に応じた学級数でよい
- (2) 多すぎても目が行き届かないなど、生徒数が大きいことにデメリットがある
- (1) 今の環境がよい
- (1) 適度な規模

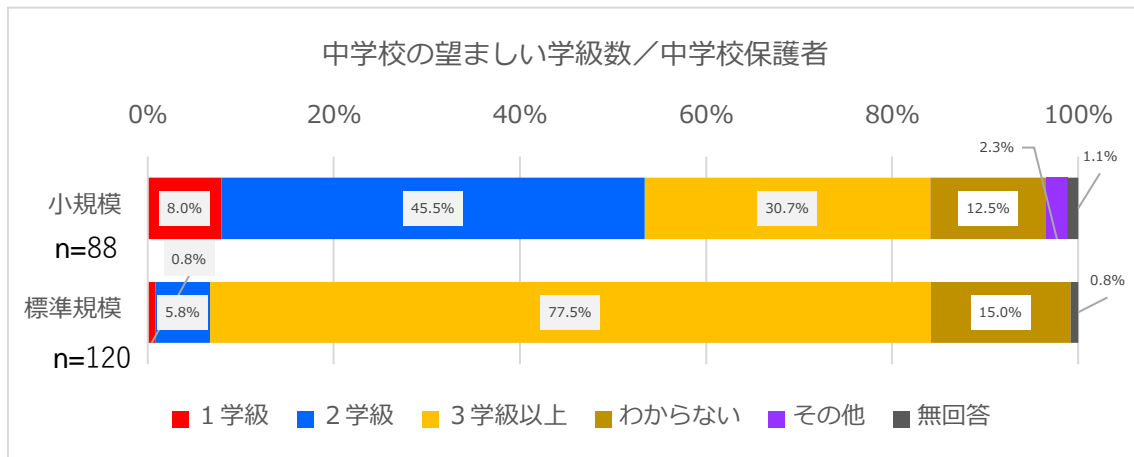
(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見(101件)のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが91件と、90.1%を占めた。
クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、「人間関係をリセットできる」「環境変化への対応」など、将来の進学の備えとなる効果を指摘するものも多く見られた。
- ・「1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)」は、現在の生徒数のまま学級数を増やすことにより、少人数学級の実現を求める意見と考えられる。全体で20件あった。
- ・望ましい学級数を「わからない」と回答した人も含め、「人数に応じた学級数でよい」とする意見が全体で13件あった。
- ・「クラス数よりも1クラスの人数が重要」「30人以下」「20人以下」など、人数に言及する意見が全体で9件あった。

Q. 中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(2) 中学校保護者

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東見)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
1学級	8	3.8%	7	1	0	0
2学級	47	22.6%	40	7	0	0
3学級以上	120	57.7%	27	93	0	0
わからない	29	13.9%	11	18	0	0
その他	2	1.0%	2	0	0	0
無回答	2	1.0%	1	1	0	0
合計	208	100.0%	88	120	0	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(2) 中学校保護者

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【小規模】

■ 2学級

- (15) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (6) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (2) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

■ 3学級以上

- (15) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (9) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (1) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (1) 小学校より増えた方がよい

【標準規模】

■ 2学級

- (1) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (1) 多すぎても目が行き届かないなど、児童数が大きいことにデメリットがある

■ 3学級以上

- (14) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (13) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (13) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (4) 今の環境がよい
- (1) 多すぎても目が行き届かないなど、生徒数が大きいことにデメリットがある

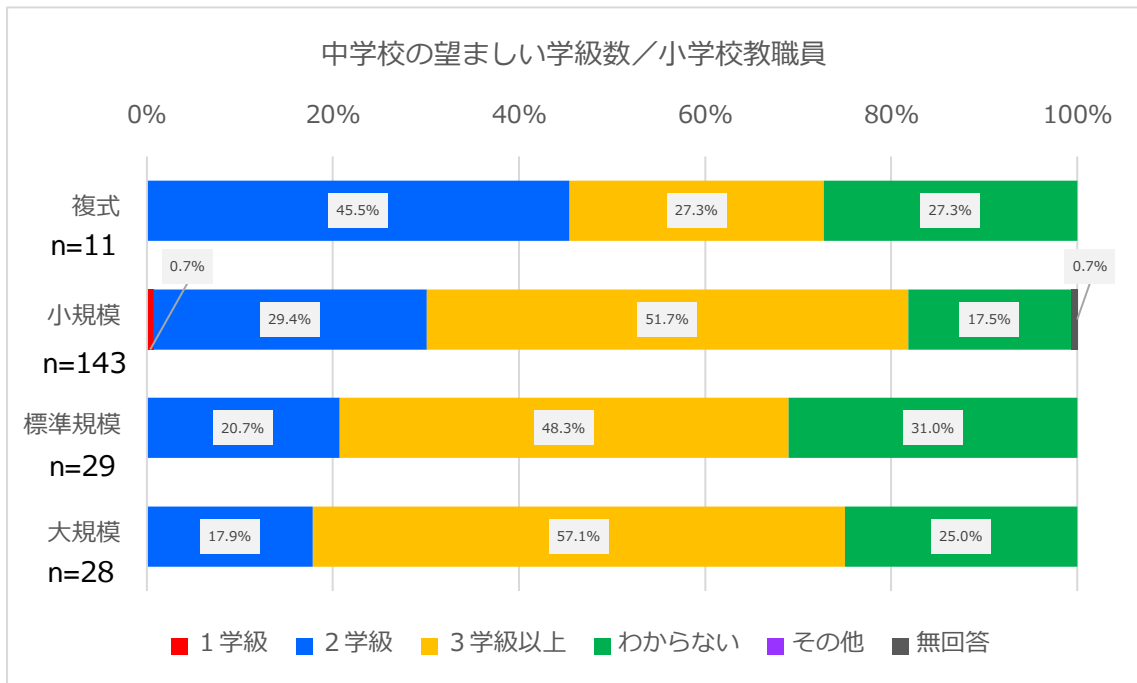
(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見(45件)のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが43件と、95.6%を占めた。
クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、「人間関係をリセットできる」「環境変化への対応」など、将来の進学の備えとなる効果を指摘するものも多く見られた。
- ・「1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)」は、現在の生徒数のまま学級数を増やすことにより、少人数学級の実現を求める意見と考えられる。全体で16件あった。

Q. 中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(3) 小学校教職員

回答	全体		内訳					
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他	無回答
1学級	1	0.5%	0	1	0	0	0	0
2学級	58	27.5%	5	42	6	5	0	0
3学級以上	107	50.7%	3	74	14	16	0	0
わからない	44	20.9%	3	25	9	7	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
無回答	1	0.5%	0	1	0	0	0	0
合計	211	100.0%	11	143	29	28	0	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(3) 小学校教員

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【複式】

■ 2学級

- (2) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (1) 自分もそうだった

■ 3学級以上

- (2) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (2) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

【小規模】

■ 2学級

- (19) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (3) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (2) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

■ 3学級以上

- (35) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (19) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (4) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

【標準規模】

■ 3学級以上

- (2) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (1) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (1) 小学校より増えた方がよい

【大規模】

■ 2学級

- (1) 教員間で歩調を合わせやすい

■ 3学級以上

- (7) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある
- (2) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見(65件)のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが38件(58.5%)、「教員数を確保することのメリット」に言及したものが20件(30.8%)あった。

クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、1クラスでは「人間関係が固定する」「逃げ場がない」など1クラスのデメリット解消を指摘するものが多く、次いで「より多くの人と関わりを持てる」などクラス替えの効果を指摘するものが多かった。

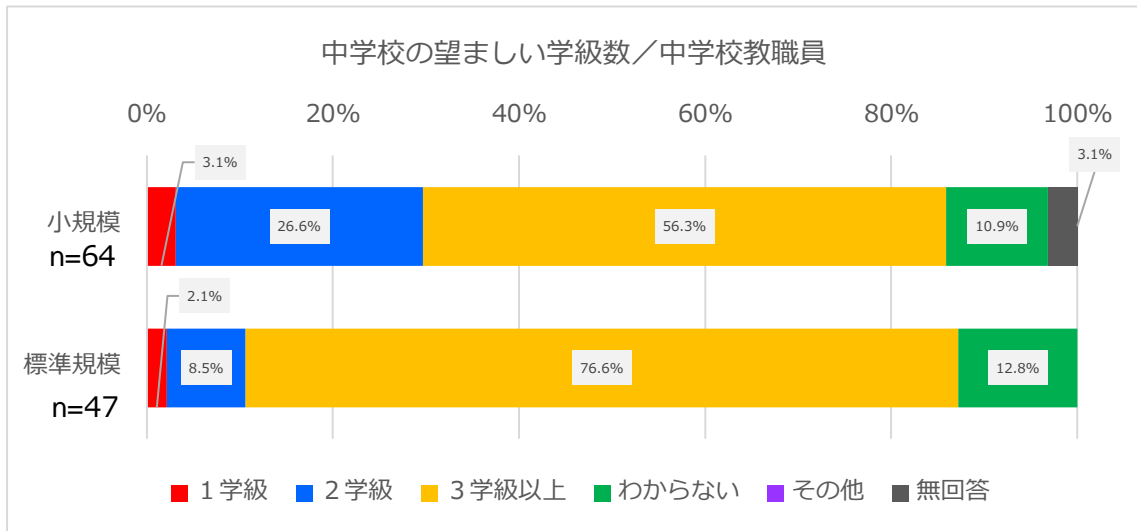
教員数確保のメリットとしては、「様々な相談・分担ができる」など学年団を形成するメリットのほか、「教科担任制を適切に実施できる」とするものが多く見られた。

- ・「1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)」は、現在の生徒数のまま学級数を増やすことにより、少人数学級の実現を求める意見と考えられる。全体で7件あった。

Q. 中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(4) 中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
1学級	3	2.7%	2	1	0	0
2学級	21	18.9%	17	4	0	0
3学級以上	72	64.9%	36	36	0	0
わからない	13	11.7%	7	6	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	2	1.8%	2	0	0	0
合計	111	100.0%	64	47	0	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(4) 中学校教員

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【小規模】

■ 2学級

(7) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある

(1) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(1) 適度な規模

■ 3学級以上

(27) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある

(14) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(2) 適度な規模

(1) 小学校より増えた方がよい

【標準規模】

■ 2学級

(2) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある

■ 3学級以上

(12) クラス替えや教員数の確保など、学級が複数あることにメリットがある

(4) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(3) 小学校より増えた方がよい

(1) 自分もそうだった

(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見（48件）のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが30件（62.5%）、「教員数を確保することのメリット」に言及したものが6件（12.5%）あった。

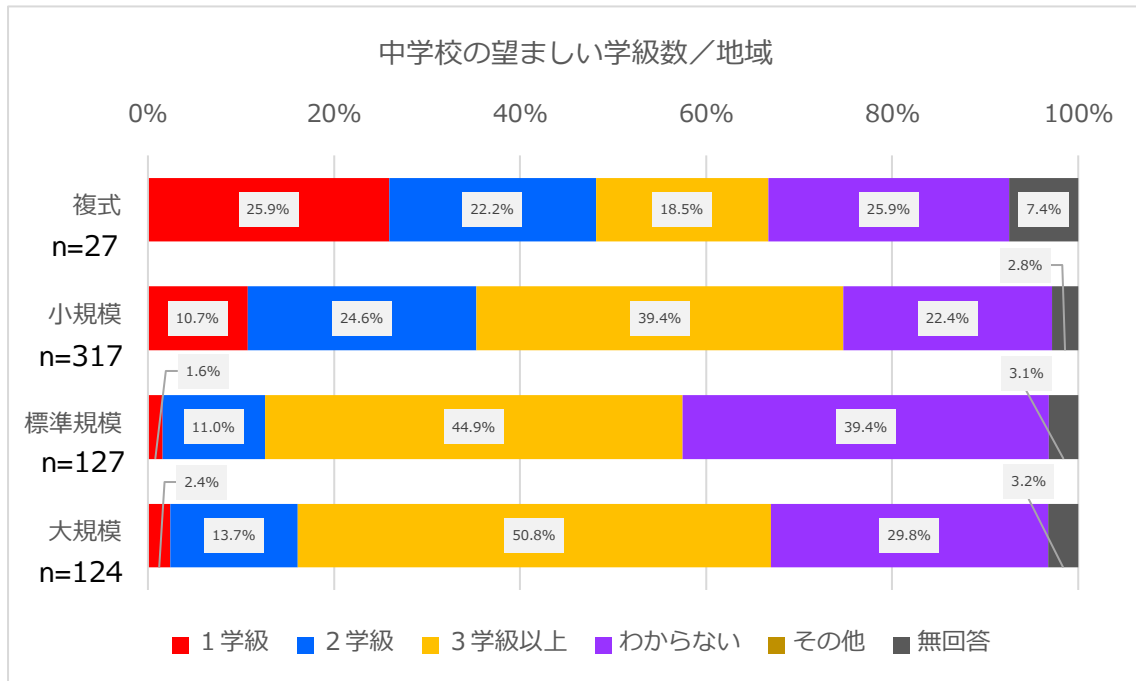
クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、1クラスでは「人間関係が固定する」「逃げ場がない」など1クラスのデメリット解消を指摘するものが多く、次いで「課題解決につながる」「人間関係をリセットできる」などの効果を指摘するものが多かった。

教員数確保のメリットとしては、「組織運営」や「教科担任制」に言及するものが多く見られた。

Q. 中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

(5) 地域

回答	全体		内訳					
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他	無回答
1学級	46	7.7%	7	34	2	3	0	0
2学級	115	19.2%	6	78	14	17	0	0
3学級以上	252	42.0%	5	125	57	63	2	0
わからない	167	27.8%	7	71	50	37	2	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
無回答	20	3.3%	2	9	4	4	1	0
合計	600	100.0%	27	317	127	124	5	0



Q. 差し支えなければ、望ましいと思う理由をお聞かせください。

(5) 地域

自由記述式の回答を主旨によって分類したもの。

カッコ内は回答者数で、いずれかの区分で複数の回答があったものを掲載している。

【複式】

■ 1学級

- (1) 小学校より増えた方がよい

■ 3学級以上

- (1) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (1) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

【小規模】

■ 1学級

- (4) 先生が目が行き届きやすいなど、少人数学級のメリットがある
- (1) 複式学級には不安がある

■ 2学級

- (15) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (4) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (2) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (2) 人数に応じた学級数でよい
- (2) 自分もそうだった
- (1) 適度な規模
- (1) 統合に反対のため

■ 3学級以上

- (33) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (28) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (6) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (5) 自分もそうだった

【標準規模】

■ 2学級

- (2) 自分もそうだった
- (1) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (1) 多くの人と関わりが持てるなど、児童数が大きいことにメリットがある
- (1) 適度な規模

■ 3学級以上

- (10) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (10) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある
- (6) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (3) 自分もそうだった

【大規模】

■ 2学級

- (4) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある
- (2) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)
- (2) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(2) 適度な規模

(1) 自分もそうだった

■ 3学級以上

(11) クラス替えができるなど、学級が複数あることにメリットがある

(8) 多くの人と関わりが持てるなど、生徒数が大きいことにメリットがある

(5) 1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)

(1) 人数に応じた学級数でよい

(1) 自分もそうだった

(考察・備考)

- ・「学級が複数あることにメリットがある」とする意見(75件)のうち、「クラス替えのメリット」に言及したものが55件と、73.3%を占めた。他の主な意見は「クラス間で競争意識が生まれる」「自校で教科担任制に取り組める」など。

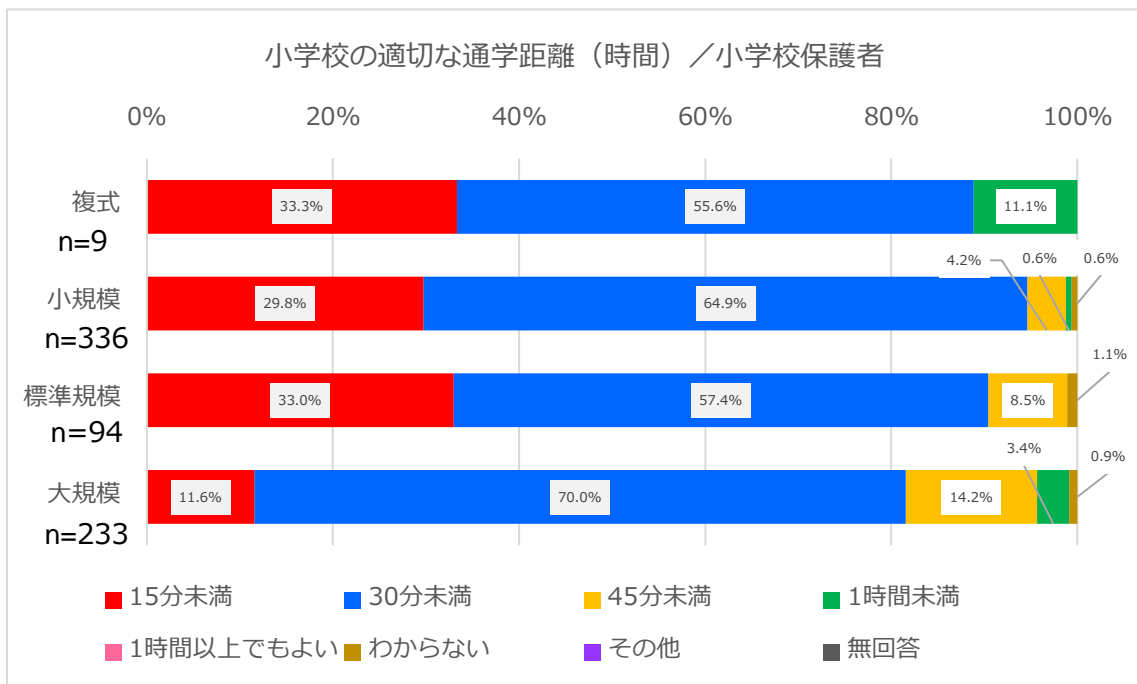
クラス替えのメリットとしては、単に「クラス替えがあった方がよい」とするもののほか、1クラスでは「人間関係が固定する」「逃げ場がない」など1クラスのデメリット解消を指摘するものが多く、次いで「環境変化への対応」などクラス替えの効果を指摘するものが多かった。

- ・「1クラスの人数が減り、少人数学級のメリットが得られる(※)」は、現在の生徒数のまま学級数を増やすことにより、少人数学級の実現を求める意見と考えられる。全体で27件あった。

Q. 小学校の通学距離（時間）の適切な範囲はどのくらいと思いますか。

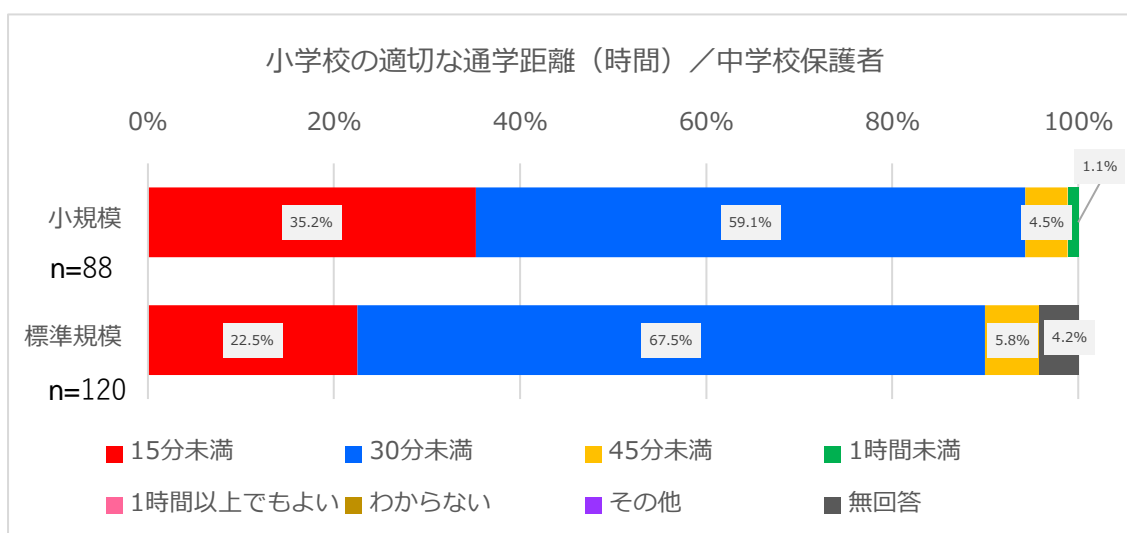
(1) 小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
15分未満	161	24.0%	3	100	31	27	0
30分未満	440	65.5%	5	218	54	163	0
45分未満	55	8.2%	0	14	8	33	0
1時間未満	11	1.6%	1	2	0	8	0
1時間以上でもよい	0	0.0%	0	0	0	0	0
わからない	5	0.7%	0	2	1	2	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0
合計	672	100.0%	9	336	94	233	0



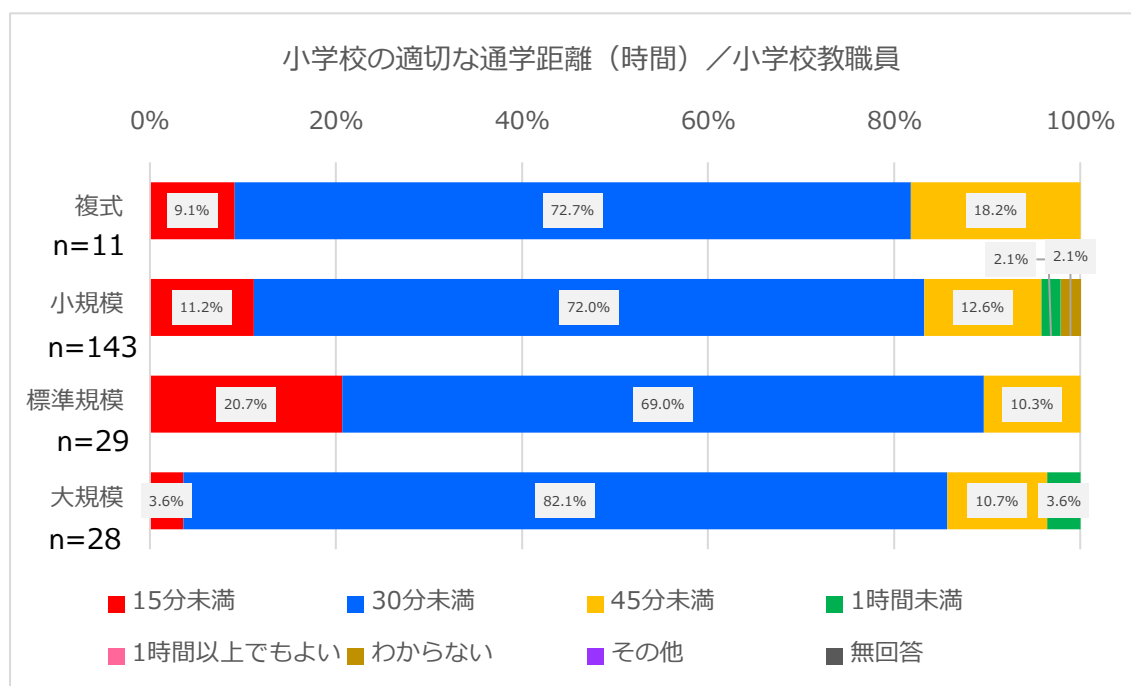
(2) 中学校保護者

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
15分未満	58	27.9%	31	27	0	0
30分未満	133	63.9%	52	81	0	0
45分未満	11	5.3%	4	7	0	0
1時間未満	1	0.5%	1	0	0	0
1時間以上でもよい	0	0.0%	0	0	0	0
わからない	0	0.0%	0	0	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	5	2.4%	0	5	0	0
合計	208	100.0%	88	120	0	0



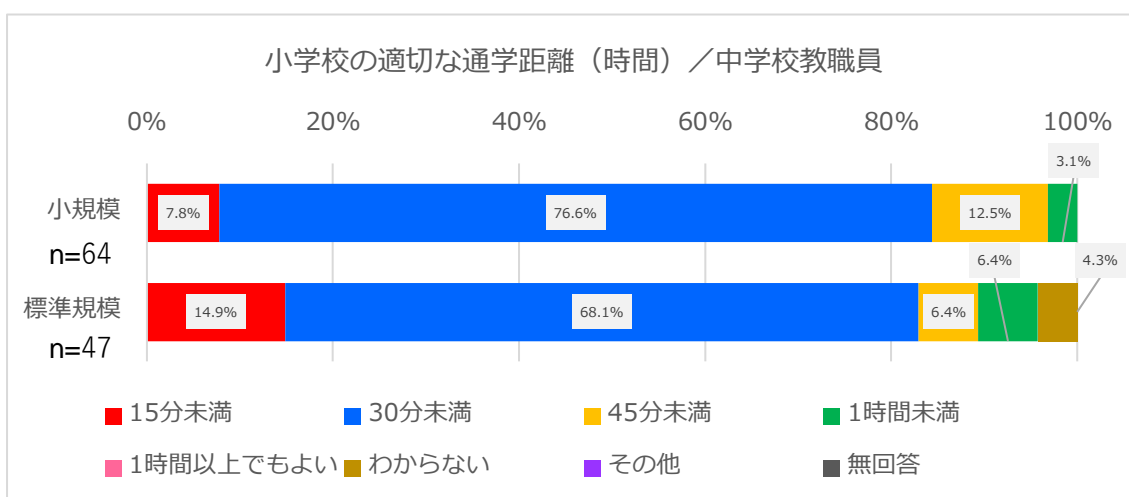
(3) 小学校教職員

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
15分未満	24	11.4%	1	16	6	1	0
30分未満	154	73.0%	8	103	20	23	0
45分未満	26	12.3%	2	18	3	3	0
1時間未満	4	1.9%	0	3	0	1	0
1時間以上でもよい	0	0.0%	0	0	0	0	0
わからない	3	1.4%	0	3	0	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0
合計	211	100.0%	11	143	29	28	0



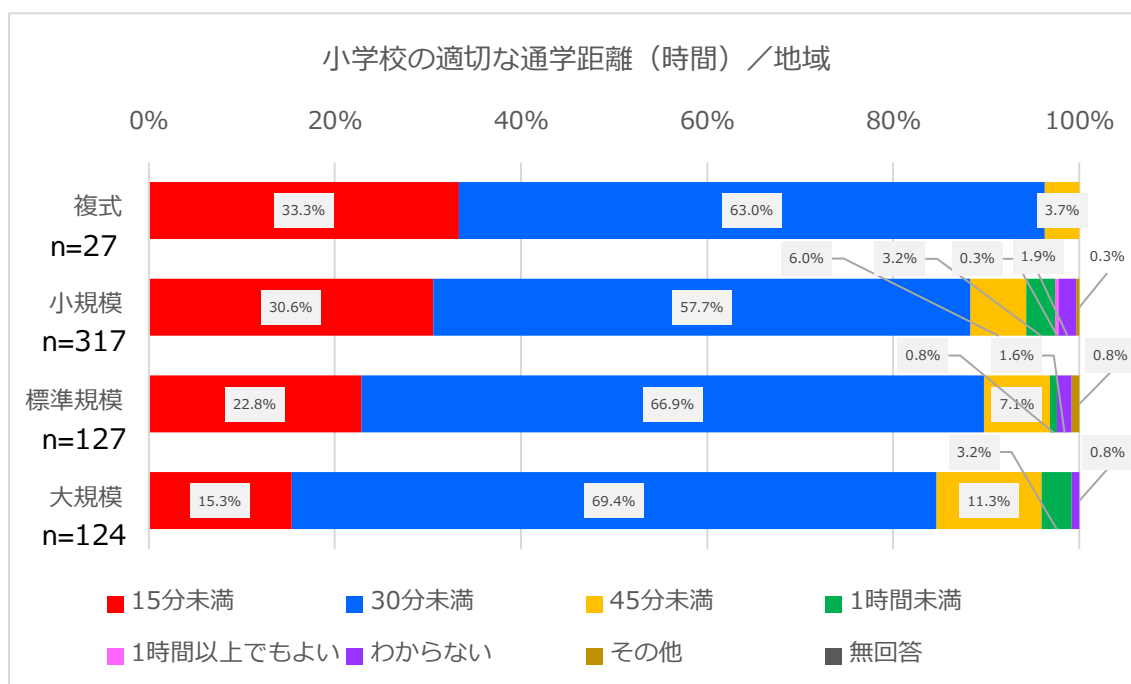
(4) 中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
15分未満	12	10.8%	5	7	0	0
30分未満	81	73.0%	49	32	0	0
45分未満	11	9.9%	8	3	0	0
1時間未満	5	4.5%	2	3	0	0
1時間以上でもよい	0	0.0%	0	0	0	0
わからない	2	1.8%	0	2	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0
合計	111	100.0%	64	47	0	0



(5) 地域

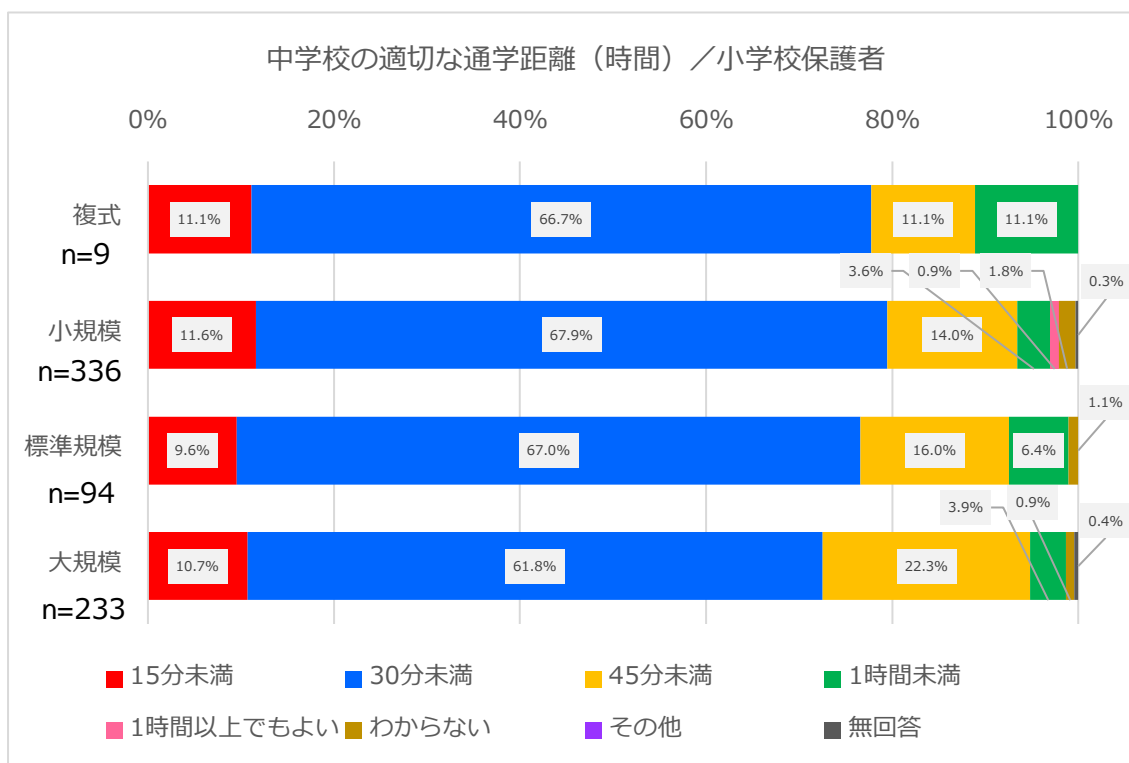
回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
15分未満	155	25.8%	9	97	29	19	1
30分未満	375	62.5%	17	183	85	86	4
45分未満	43	7.2%	1	19	9	14	0
1時間未満	15	2.5%	0	10	1	4	0
1時間以上でもよい	1	0.2%	0	1	0	0	0
わからない	9	1.5%	0	6	2	1	0
その他	2	0.3%	0	1	1	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0
合計	600	100.0%	27	317	127	124	5



Q. 中学校の通学距離（時間）の適切な範囲はどのくらいと思いますか。

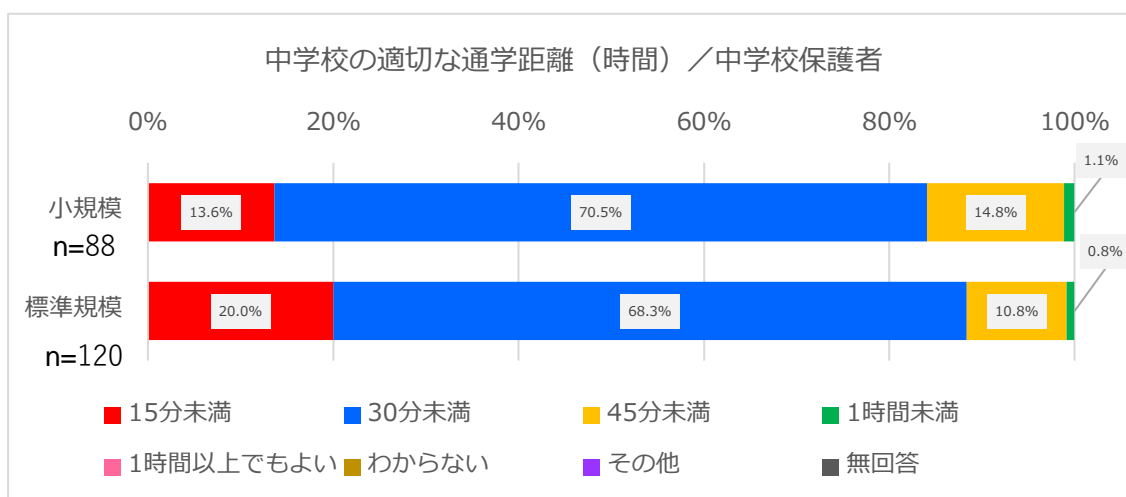
(1) 小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
15分未満	74	11.0%	1	39	9	25	0
30分未満	441	65.6%	6	228	63	144	0
45分未満	115	17.1%	1	47	15	52	1
1時間未満	28	4.2%	1	12	6	9	0
1時間以上でもよい	3	0.4%	0	3	0	0	0
わからない	9	1.3%	0	6	1	2	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
無回答	2	0.3%	0	1	0	1	0
合計	672	100.0%	9	336	94	233	1



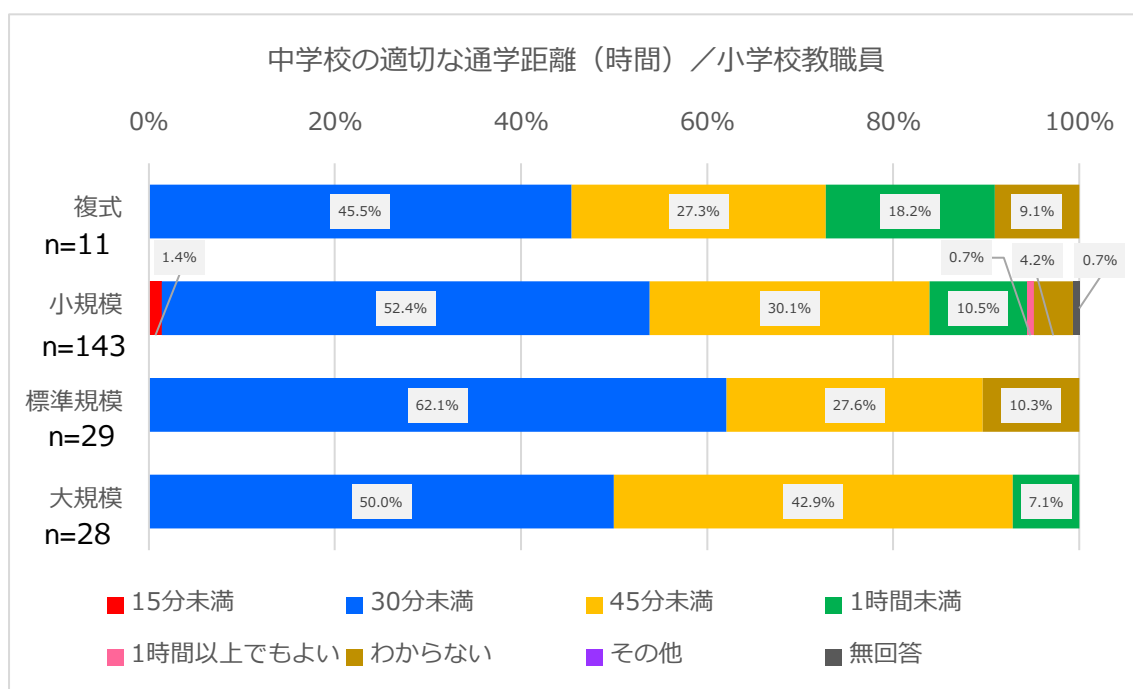
(2) 中学校保護者

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
15分未満	36	17.3%	12	24	0	0
30分未満	144	69.2%	62	82	0	0
45分未満	26	12.5%	13	13	0	0
1時間未満	2	1.0%	1	1	0	0
1時間以上でもよい	0	0.0%	0	0	0	0
わからない	0	0.0%	0	0	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0
合計	208	100.0%	88	120	0	0



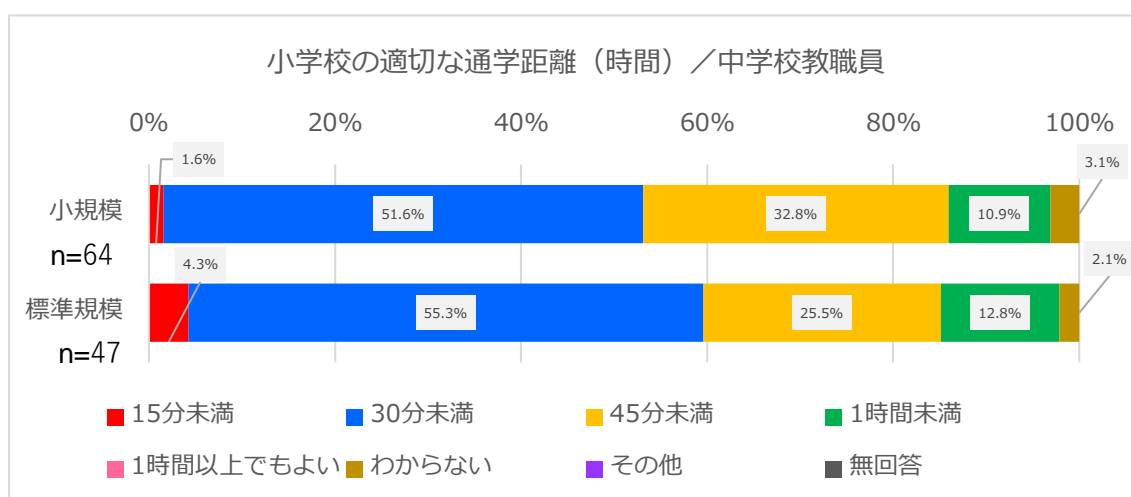
(3) 小学校教職員

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
15分未満	2	0.9%	0	2	0	0	0
30分未満	112	53.1%	5	75	18	14	0
45分未満	66	31.3%	3	43	8	12	1
1時間未満	19	9.0%	2	15	0	2	0
1時間以上でもよい	1	0.5%	0	1	0	0	0
わからない	10	4.7%	1	6	3	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
無回答	1	0.5%	0	1	0	0	0
合計	211	100.0%	11	143	29	28	1



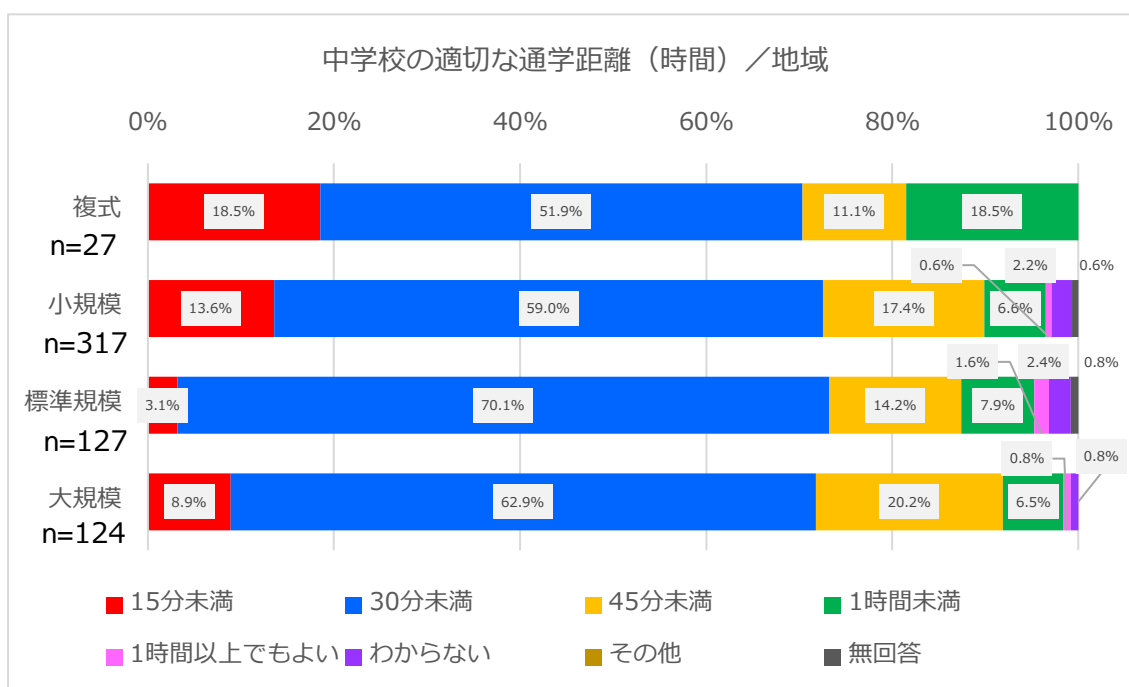
(4) 中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
15分未満	3	2.7%	1	2	0	0
30分未満	59	53.2%	33	26	0	0
45分未満	33	29.7%	21	12	0	0
1時間未満	13	11.7%	7	6	0	0
1時間以上でもよい	0	0.0%	0	0	0	0
わからない	3	2.7%	2	1	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0
合計	111	100.0%	64	47	0	0



(4) 地域

回答	全体		内訳				
	回答者数	率	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
15分未満	64	10.7%	5	43	4	11	1
30分未満	372	62.0%	14	187	89	78	4
45分未満	101	16.8%	3	55	18	25	0
1時間未満	44	7.3%	5	21	10	8	0
1時間以上でもよい	5	0.8%	0	2	2	1	0
わからない	11	1.8%	0	7	3	1	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
無回答	3	0.5%	0	2	1	0	0
合計	600	100.0%	27	317	127	124	5



Q. 学区の見直しにあたり、考慮すべきことは何ですか。（3つまで選択可）

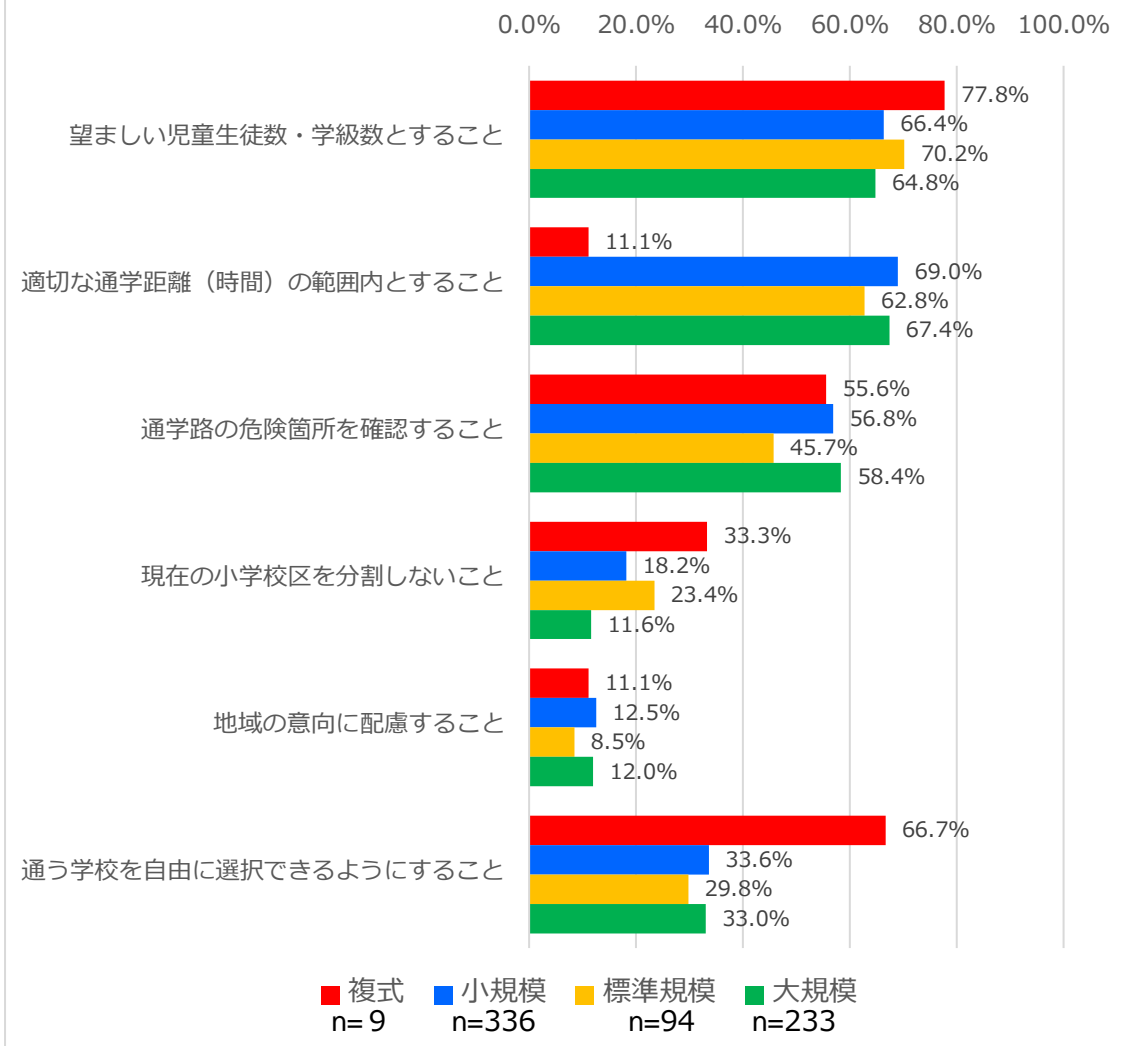
（1）小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	率	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
望ましい児童生徒数・学級数とすること	447	66.5%	7	223	66	151	0
適切な通学距離（時間）の範囲内とすること	449	66.8%	1	232	59	157	0
通学路の危険箇所を確認すること	375	55.8%	5	191	43	136	0
現在の小学校区を分割しないこと	113	16.8%	3	61	22	27	0
地域の意向に配慮すること	79	11.8%	1	42	8	28	0
通う学校を自由に選択できるようにすること	224	33.3%	6	113	28	77	0
その他	23	3.4%	2	12	4	5	0
回答者数	672	100.0%	9	336	94	233	

（その他の意見）（※カッコ内は人数。以降同じ）

- ・スクールバス等を検討してほしい（5）
- ・通学方法を検討すること（1）
- ・学区が広く、学校が遠い子がいるのはかわいそう（1）
- ・通学手段を自由に選択でき、補助など選択しやすい環境を整えること（1）
- ・もっと田舎は通学距離も長い。玉野は恵まれている（1）
- ・時代に合った自由な選択も必要なのかもしれない（1）
- ・小中を統合ではなく、同じ歳の子が増えるように隣りの小学校と統合すべき（1）
- ・地域ではなく親の声を一番に考えてほしい。子育ては地域住民がしているのではない（1）
- ・なぜ学区を見直すことになったのか明示してほしい（1）
- ・正確な情報で学校を選びたい（1）

学区見直しで考慮すべきこと／小学校保護者



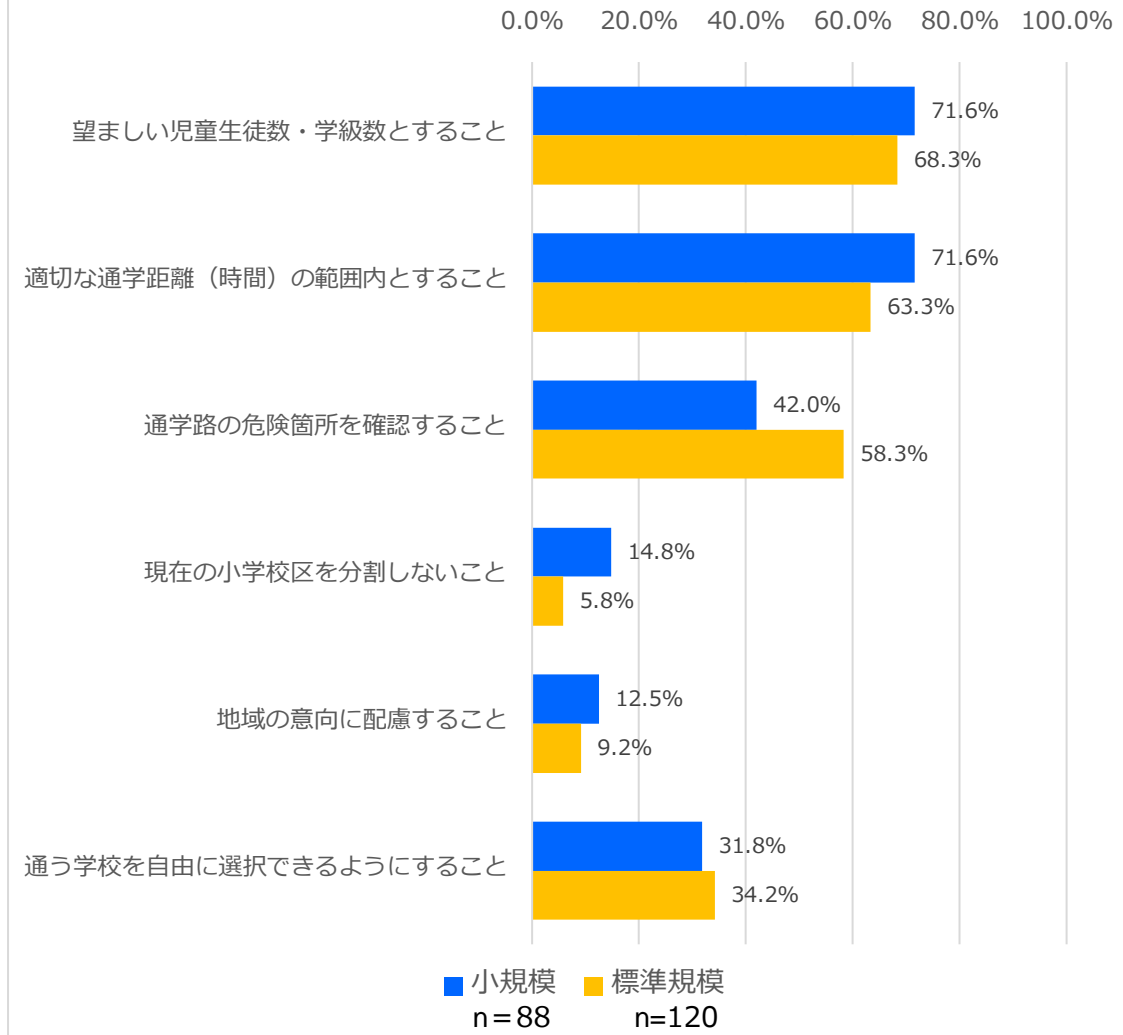
(2) 中学校保護者

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
望ましい児童生徒数・学級数とすること	145	69.7%	63	82	0	0
適切な通学距離（時間）の範囲内とすること	139	66.8%	63	76	0	0
通学路の危険箇所を確認すること	107	51.4%	37	70	0	0
現在の小学校区を分割しないこと	20	9.6%	13	7	0	0
地域の意向に配慮すること	22	10.6%	11	11	0	0
通う学校を自由に選択できるようにすること	69	33.2%	28	41	0	0
その他	6	2.9%	5	1	0	0
回答者数	208	100.0%	88	120	0	0

(その他の意見)

- ・地域ではなく親の声を一番に考えてほしい。子育ては地域住民がしているのではない(1)

学区見直しで考慮すべきこと／中学校保護者



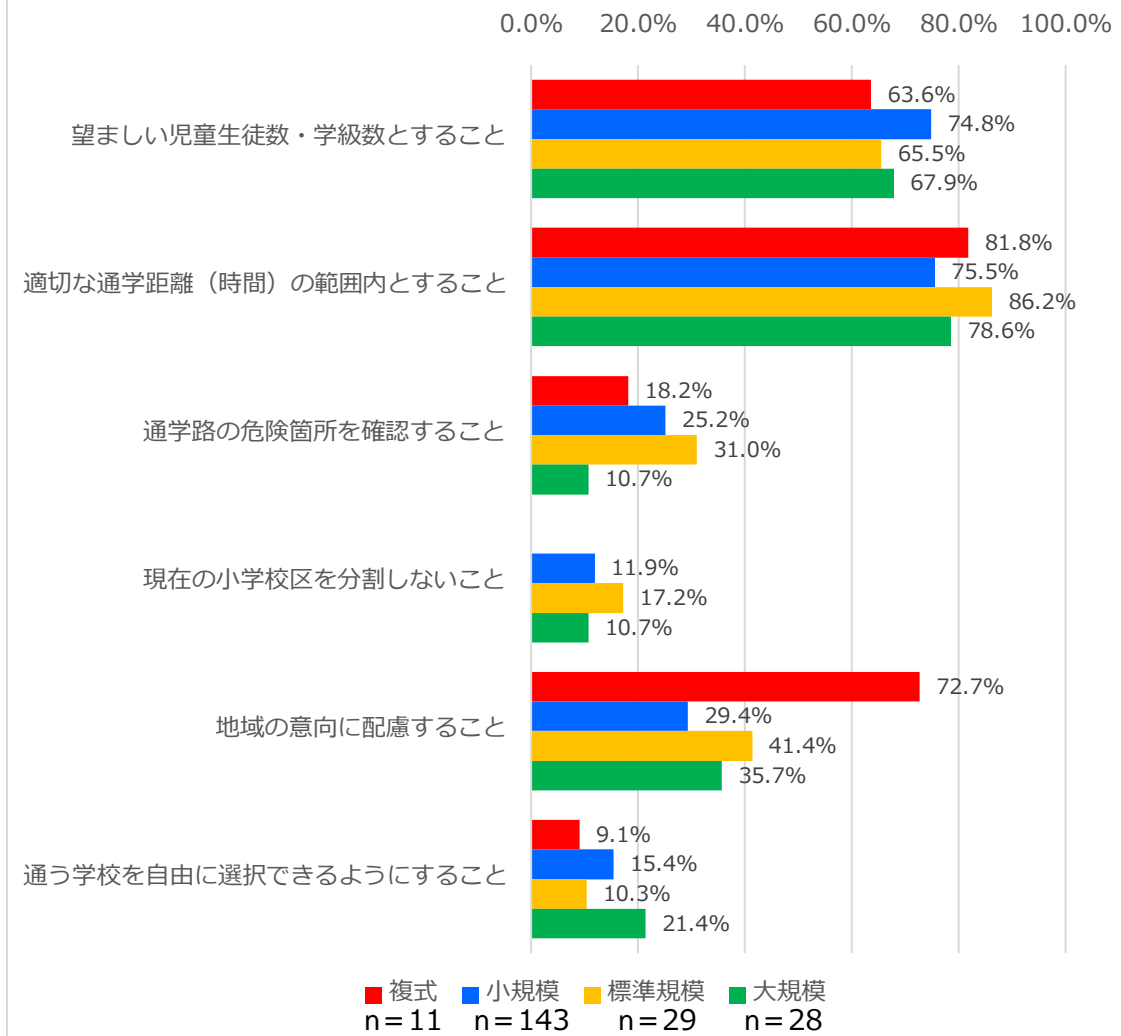
(3) 小学校教職員

回答	全体		内訳				
	回答者数	率	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
望ましい児童生徒数・学級数とすること	152	72.0%	7	107	19	19	0
適切な通学距離(時間)の範囲内とすること	164	77.7%	9	108	25	22	0
通学路の危険箇所を確認すること	50	23.9%	2	36	9	3	0
現在の小学校区を分割しないこと	25	11.8%	0	17	5	3	0
地域の意向に配慮すること	72	34.1%	8	42	12	10	0
通う学校を自由に選択できるようにすること	32	15.2%	1	22	3	6	0
その他	10	4.7%	0	7	1	2	0
回答者数	211	100.0%	11	143	29	28	0

(その他の意見)

- ・保護者の意向(1)
- ・保護者や将来保護者となる就学前の保護者の意見を尊重すること(1)
- ・適正規模化を進めていることをしっかり周知して、市教委、保護者、地域、子ども、教員それぞれの意見をしっかり聞いて、コンセンサスをとること(1)
- ・地域性も考慮してほしい。学校がなくなると消滅都市になる地域もあります。通学距離(時間)は、危険も多様化している現在の状況を踏まえ基準より短い範囲で考えてほしい(1)
- ・現在の小学校区を分割しないことを基本とし、近い方を選択できる区域があることが望ましい(1)
- ・スクールバスなどの新設(1)
- ・小学校と中学校の数を減らさないこと(1)
- ・教員が適正人数きちんと配置され、職務の軽減につながることを(1)
- ・1学級が30人以上にならないこと(1)

学区見直しで考慮すべきこと／小学校教職員



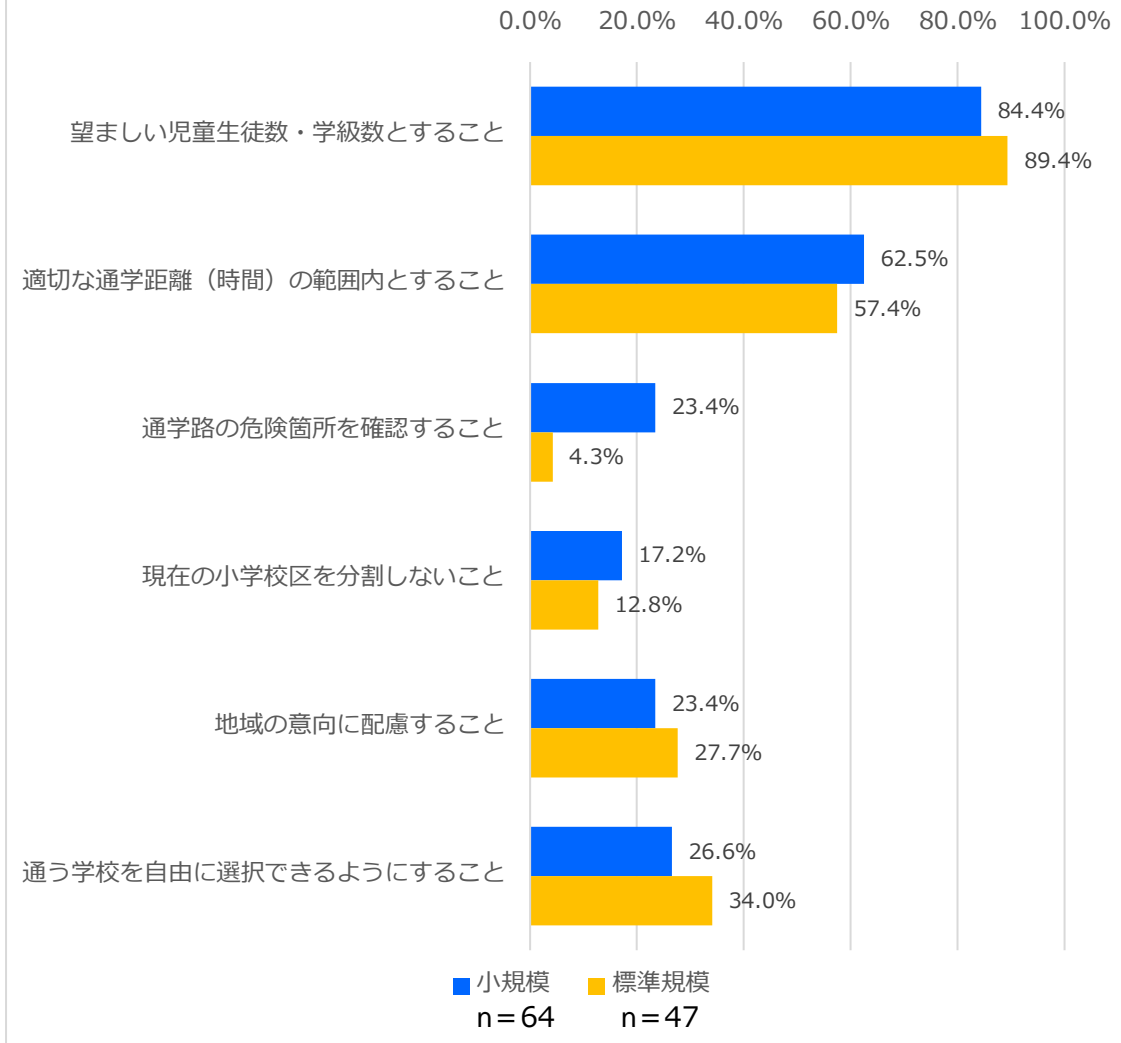
(4) 中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
望ましい児童生徒数・学級数とすること	96	86.5%	54	42	0	0
適切な通学距離（時間）の範囲内とすること	67	60.4%	40	27	0	0
通学路の危険箇所を確認すること	17	15.3%	15	2	0	0
現在の小学校区を分割しないこと	17	15.3%	11	6	0	0
地域の意向に配慮すること	28	25.2%	15	13	0	0
通う学校を自由に選択できるようにすること	33	29.7%	17	16	0	0
その他	7	6.3%	4	3	0	0
回答者数	111	100.0%	64	47		

(その他の意見)

- ・地域の意向に左右されず、教育の充実、子どもの将来など、現場の声を聞いてほしい（2）
- ・適切な通学距離のためにはスクールバスの導入などの検討も必要。地域の意向を聞くことも必要だが、地域の学校を残してほしいという保守的な考え方でなく、これからを見据え統廃合を進めていくか、発展的な考え方で意見を聞くことができればありがたい（1）
- ・学力格差が生まれないこと（1）
- ・既存の概念にとらわれないこと（1）
- ・スクールバスなどの新設（1）
- ・欠席者の家庭訪問の際に遠すぎると困る。境界付近の生徒は選択できるとよい（1）
- ・十分な人数の教員を配置すること（1）

学区見直しで考慮すべきこと／中学校教職員



(5) 地域

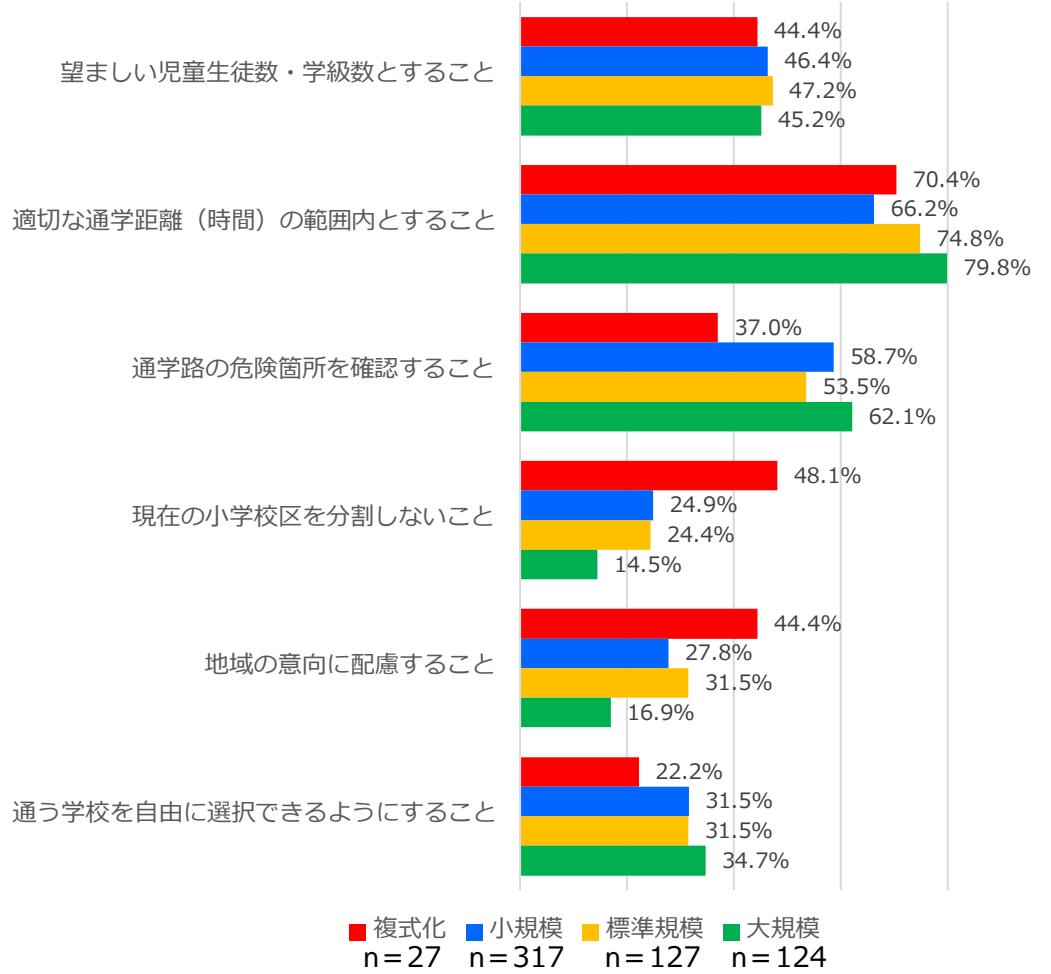
回答	全体		内訳				
	回答者数	率	複式	小規模	標準規模	大規模	不明
望ましい児童生徒数・学級数とすること	276	46.0%	12	147	60	56	1
適切な通学距離(時間)の範囲内とすること	427	71.2%	19	210	95	99	4
通学路の危険箇所を確認すること	346	57.7%	10	186	68	77	5
現在の小学校区を分割しないこと	142	23.7%	13	79	31	18	1
地域の意向に配慮すること	162	27.0%	12	88	40	21	1
通う学校を自由に選択できるようにすること	191	31.8%	6	100	40	43	2
その他	26	4.3%	2	19	2	3	0
回答者数	600	100.0%	27	317	127	124	5

(その他の意見)

- ・スクールバスの検討、導入(5)
- ・計画について周知し、理解・納得を得ること。何度も説明すること(4)
- ・通学が子どもや保護者の負担にならないこと(3)
- ・学区の見直しは必要ない。小学校は学区に残すべき(3)
- ・小学校の数は通学時間を重視して欲しいが、中学校は安全を確保した上での複数の学校の統合はやむを得ない(1)
- ・子どもがいる家庭の意向を事前に確実に確認し、配慮すること(1)
- ・登下校時に低学年が1人であることないように配慮(1)
- ・学童保育の充実(1)
- ・今までの学習内容に劣らないこと(1)
- ・災害を想定し、安全な場所での学習・生活を保障してほしい(1)
- ・生徒数に合った先生の配置(1)
- ・地域を廃れさせないようにすること(1)
- ・望ましい規模を先に設定するのは賛同できない(1)
- ・考慮しても何かしら文句はでる(1)
- ・年寄りの意見を無視すること(1)
- ・魅力あるこれからの時代に世界で活躍する学校を作ってほしい(1)

学区見直しで考慮すべきこと／地域

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



Q. 地域コミュニティが学校に求める機能は何ですか。（3つまで選択可）

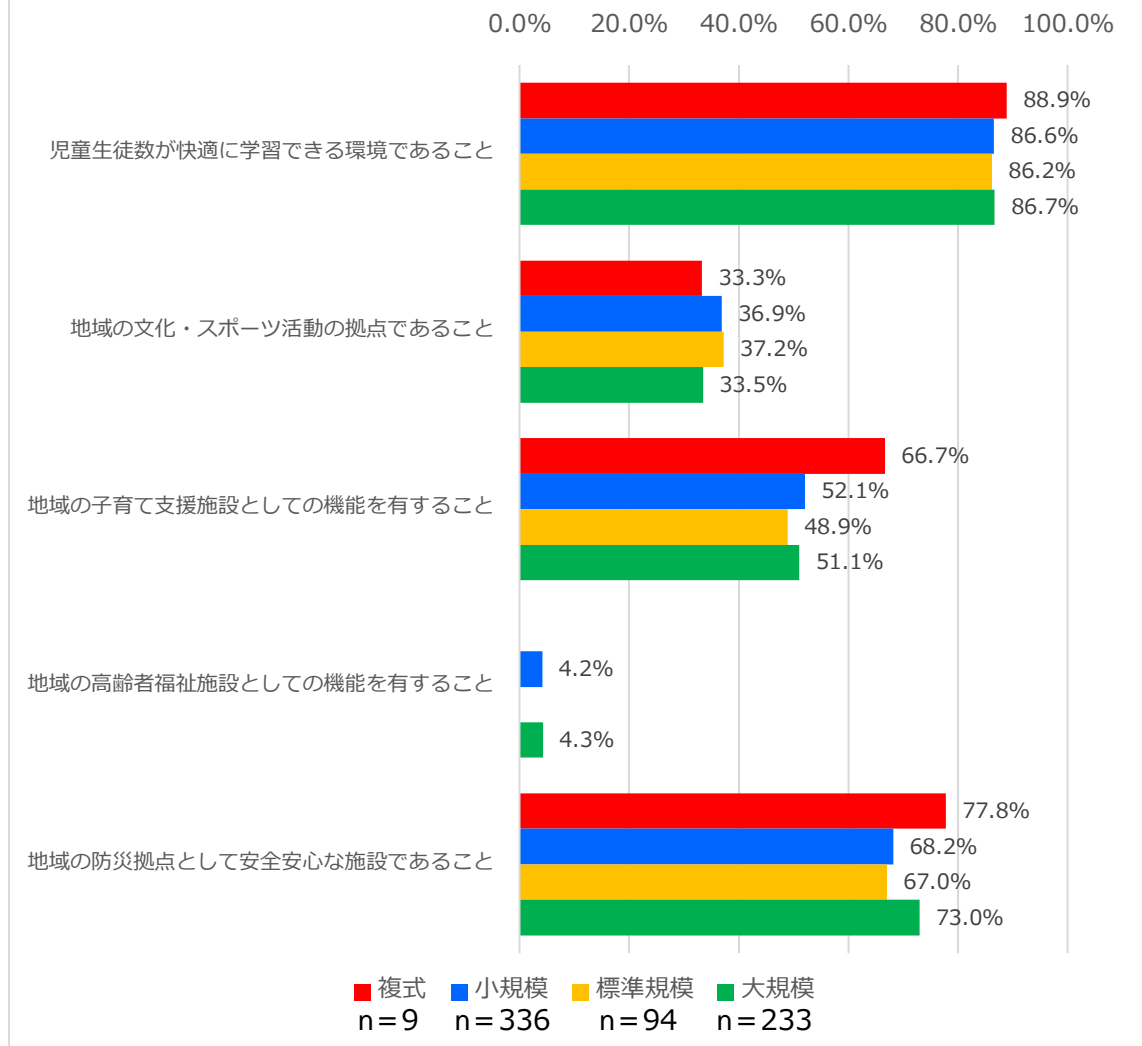
（1）小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
児童生徒が快適に学習できる環境であること	582	86.6%	8	291	81	202	0
地域の文化・スポーツ活動の拠点であること	240	35.7%	3	124	35	78	0
地域の子育て支援施設としての機能を有すること	346	51.5%	6	175	46	119	0
地域の高齢者福祉施設としての機能を有すること	24	3.6%	0	14	0	10	0
地域の防災拠点として安全安心な施設であること	469	69.8%	7	229	63	170	0
その他	7	1.0%	0	4	0	3	0
回答者数	672	100.0%	9	336	94	233	

（その他の意見）

- ・児童生徒数に関係なく、子どもたちが生き活きと快適に学習できる環境であること（2）
- ・児童数だけでなく、生徒の多様性に対応できる環境づくり（1）
- ・多様性。その時代の子どもにあったものが選択できる事。一番大切なのは安全であること（1）
- ・現在も地域コミュニティが崩壊に近い状態。今後なくなると思うので気にしなくてよい（1）
- ・今までの各学校の伝統を引き継いで行くことも、地域の中で培われた大切な役割（1）
- ・地域交流できる場所（1）

地域が学校に求める機能／小学校保護者



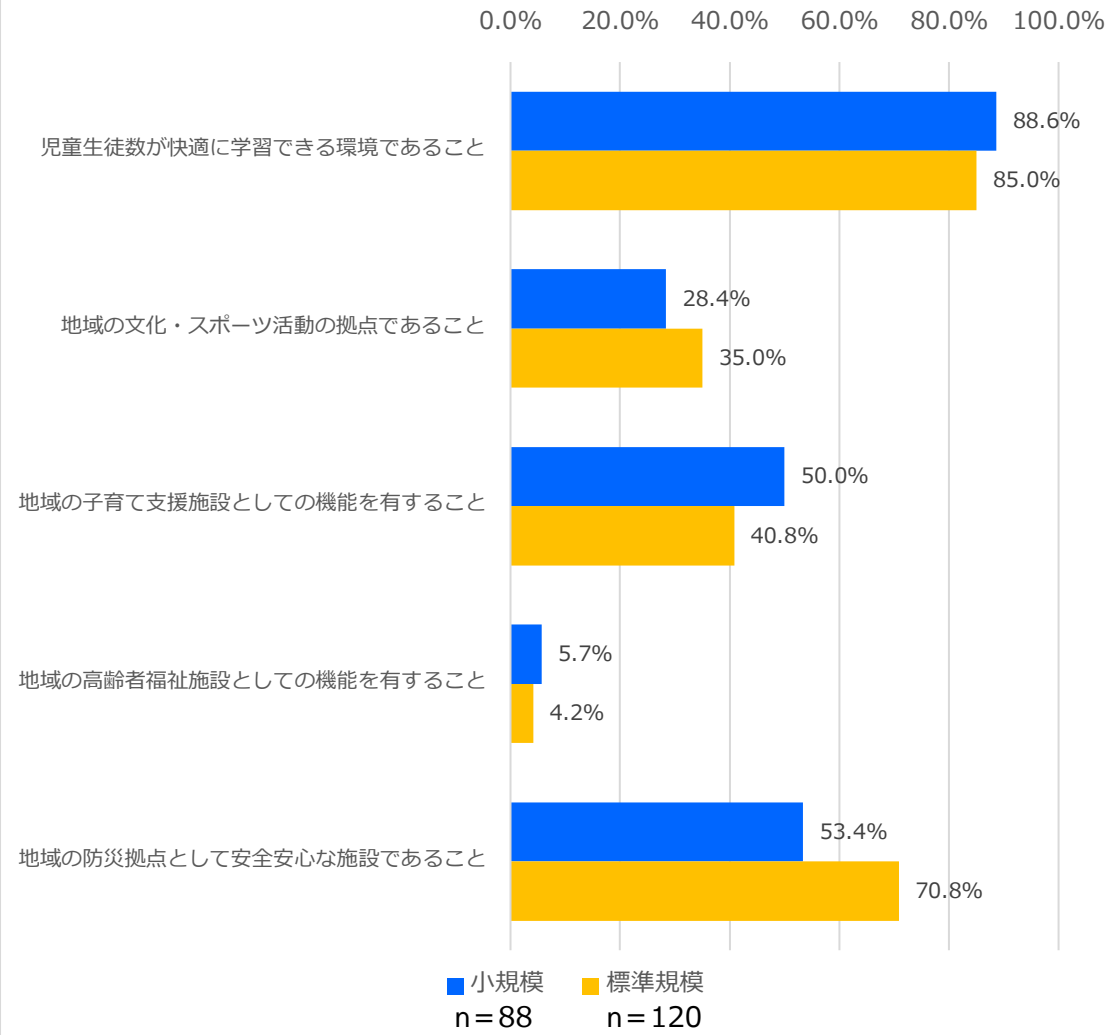
(2) 中学校保護者

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
児童生徒が快適に学習できる環境であること	180	86.5%	78	102	0	0
地域の文化・スポーツ活動の拠点であること	67	32.6%	25	42	0	0
地域の子育て支援施設としての機能を有すること	93	44.7%	44	49	0	0
地域の高齢者福祉施設としての機能を有すること	10	4.8%	5	5	0	0
地域の防災拠点として安全安心な施設であること	132	63.5%	47	85	0	0
その他	2	1.0%	0	2	0	0
回答者数	208	100.0%	88	120	0	0

(その他の意見)

- ・ 社会に出るまでにいろんな体験ができる場所 (1)
- ・ トイレを直してあげてほしい (1)

地域が学校に求める機能／中学校保護者



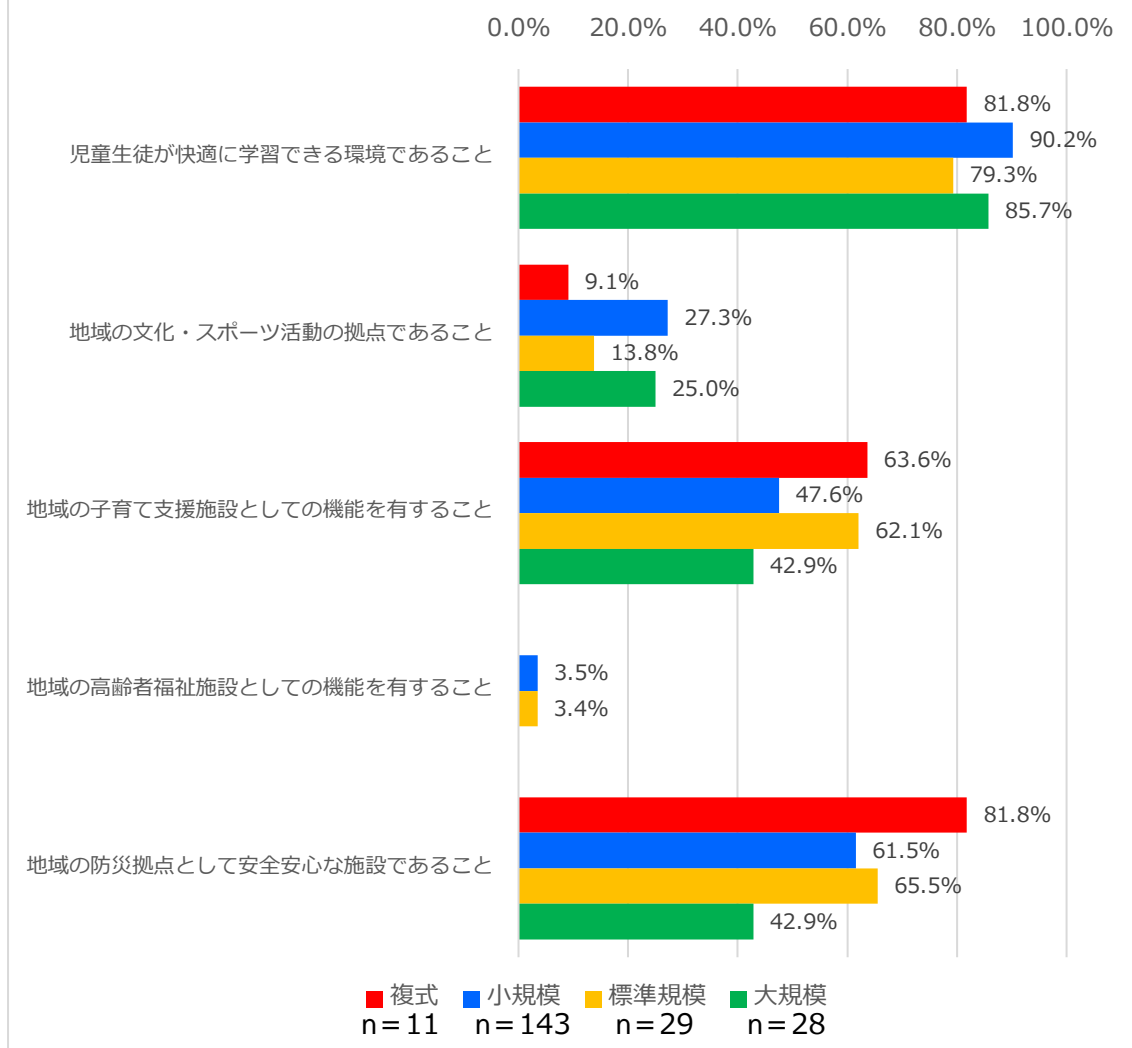
(3) 小学校教職員

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
児童生徒が快適に学習できる環境であること	185	87.7%	9	129	23	24	0
地域の文化・スポーツ活動の拠点であること	51	24.1%	1	39	4	7	0
地域の子育て支援施設としての機能を有すること	105	50.0%	7	68	18	12	0
地域の高齢者福祉施設としての機能を有すること	6	2.8%	0	5	1	0	0
地域の防災拠点として安全安心な施設であること	128	60.7%	9	88	19	12	0
その他	2	0.9%	0	1	1	0	0
回答者数	211	100.0%	11	143	29	28	0

(その他の意見)

- ・ きめ細かい指導による子どもたちのより良い成長 (1)
- ・ 地域の伝統を守って行く機能を有すること (1)

地域が学校に求める機能／小学校教職員



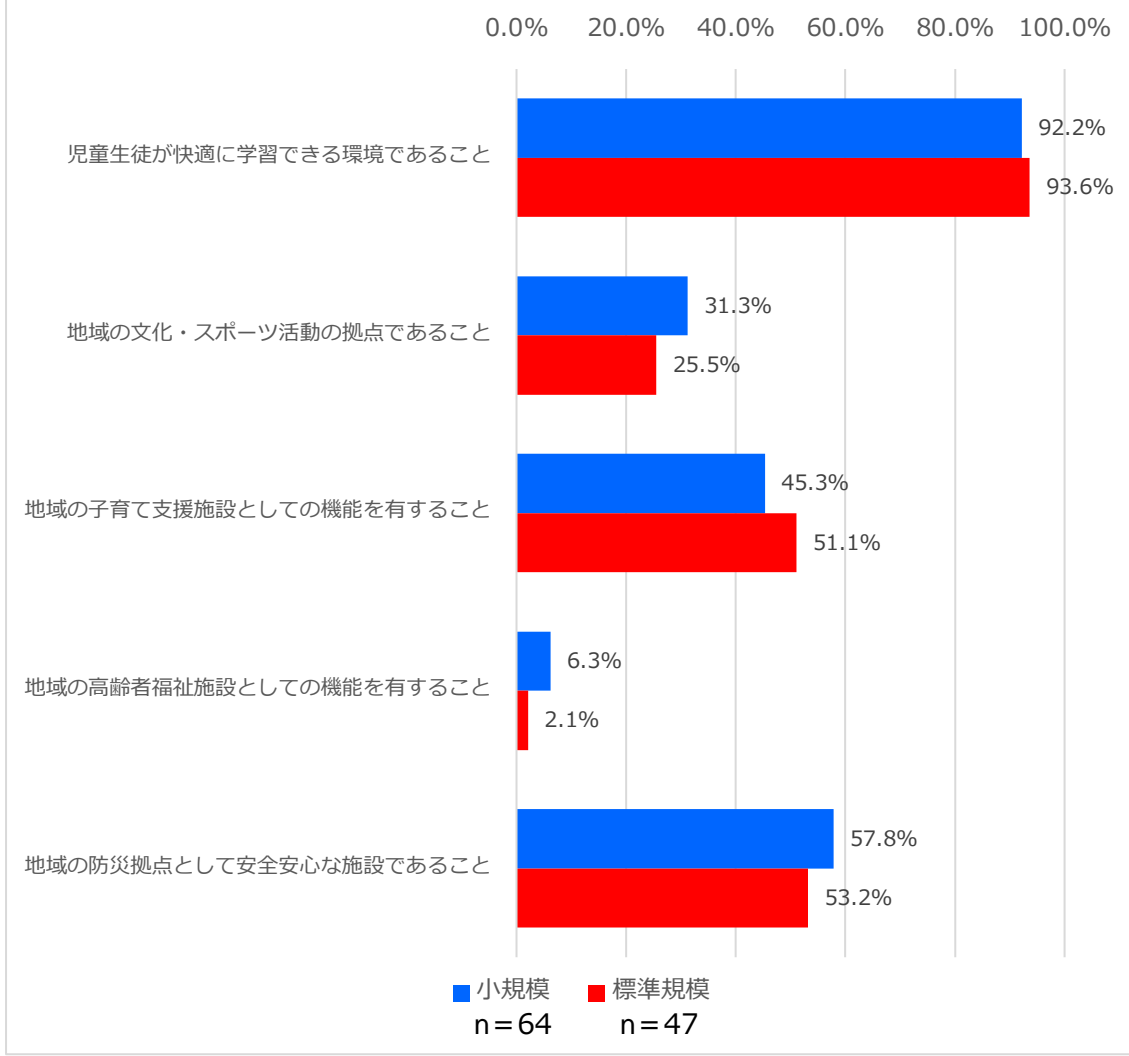
(4) 中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
児童生徒が快適に学習できる環境であること	103	92.8%	59	44	0	0
地域の文化・スポーツ活動の拠点であること	32	28.8%	20	12	0	0
地域の子育て支援施設としての機能を有すること	53	47.7%	29	24	0	0
地域の高齢者福祉施設としての機能を有すること	5	4.5%	4	1	0	0
地域の防災拠点として安全安心な施設であること	62	55.9%	37	25	0	0
その他	4	3.6%	2	2	0	0
回答者数	111	100.0%	64	47	0	0

(主なその他の意見)

- ・児童生徒が安心して生活できる場所であること(1)
- ・防災も含めて、場の拠点として総合的に位置づけられること(1)
- ・文化・スポーツ活動の拠点は、学校ではなく地域主導のものとして考えてほしい(1)

学区見直しで考慮すべきこと／中学校教職員



(5) 地域

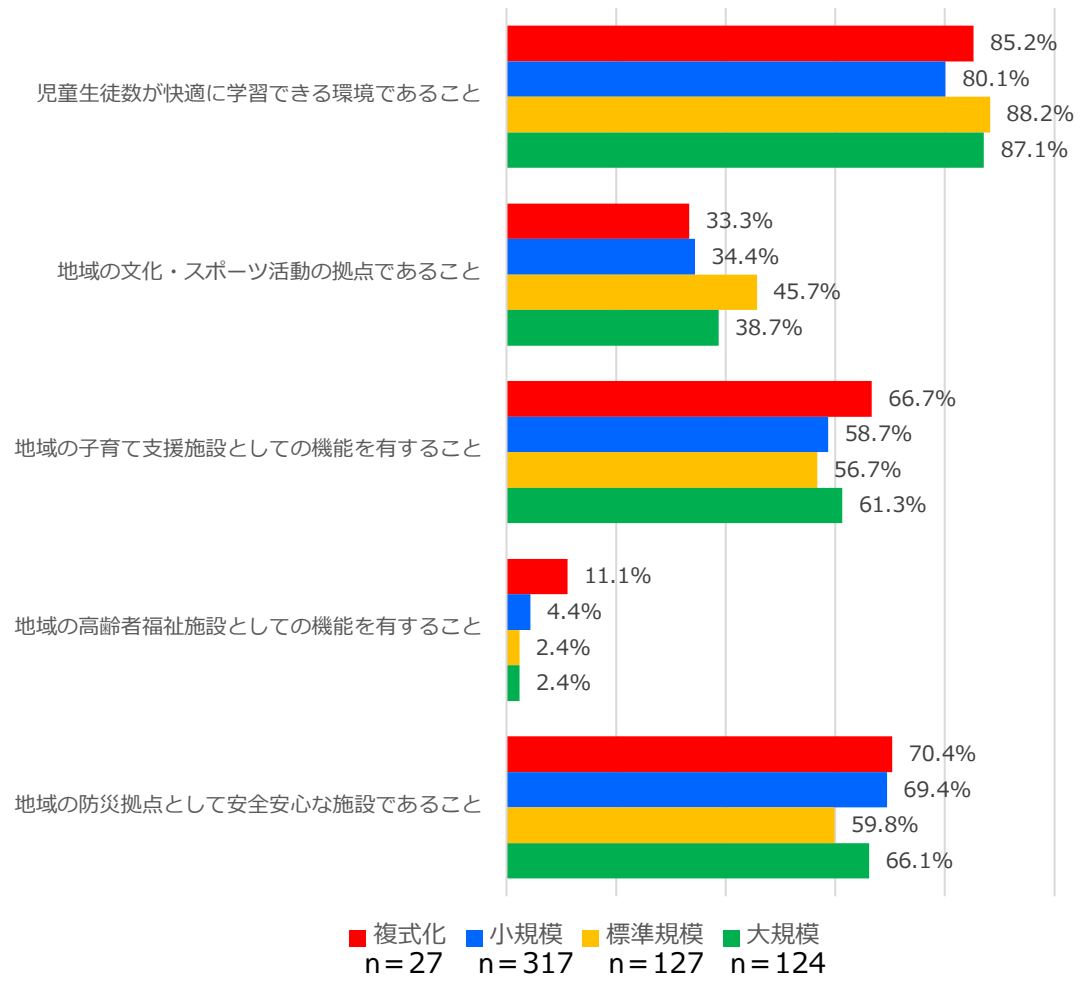
回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	不明
児童生徒が快適に学習できる環境であること	502	83.7%	23	254	112	108	5
地域の文化・スポーツ活動の拠点であること	225	37.5%	9	109	58	48	1
地域の子育て支援施設としての機能を有すること	356	59.3%	18	186	72	76	4
地域の高齢者福祉施設としての機能を有すること	23	3.8%	3	14	3	3	0
地域の防災拠点として安全安心な施設であること	400	66.7%	19	220	76	82	3
その他	14	2.3%	2	11	0	1	0
回答者数	600	100.0%	27	317	127	124	5

(その他の意見)

- ・地域に住む人々をつなげる場であること (6)
- ・学校と地域が共に子どもを育てること (1)
- ・地域とともにある学校であること (1)
- ・地域の伝統を守っていく為に協力できる場であること (1)
- ・子どもが学校できちんと集団生活を送れること (1)
- ・子どもに良くも悪くも影響を与え、人として成長させること (1)
- ・教育は、人間を育てるという役目があると思うので工夫をこらした地域に適したものにしたい (1)
- ・地域の学校で学ぶ環境であること (1)
- ・児童の教育、能力向上 (1)

学区見直しで考慮すべきこと／地域

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



3. 個別設問

●本項目は、保護者・教職員・児童生徒に個別にお聞きした設問の調査結果を掲載しています。

※小学校の規模については、この調査では次のとおりとしています。

複式＝後閑小

小規模＝築港、宇野、玉、玉原、日比、二日比、山田、八浜、大崎、胸上、鉾立小

標準規模＝田井小

大規模＝荘内小

※教職員の集計では、勤務している学校の学校規模で集計しています。

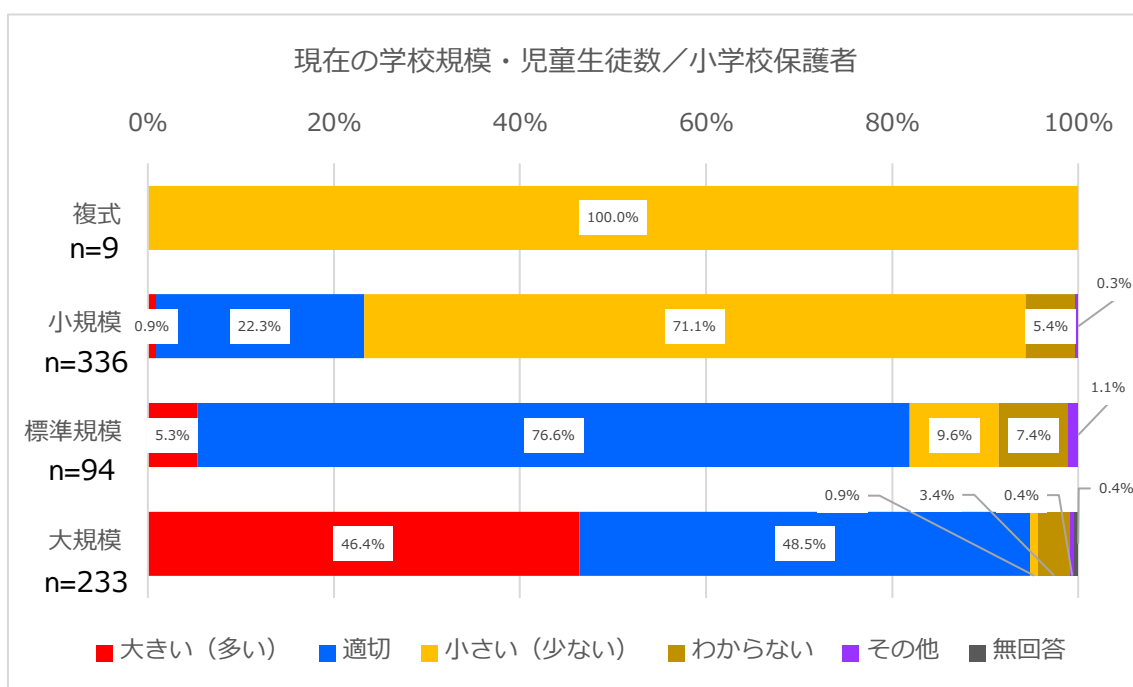
※地域の方の集計では、お住まいの地区（小学校区）にある学校規模で集計しています。

(1) 保護者

Q. 現在お子様が通われている学校の規模や児童生徒数をどう思いますか。

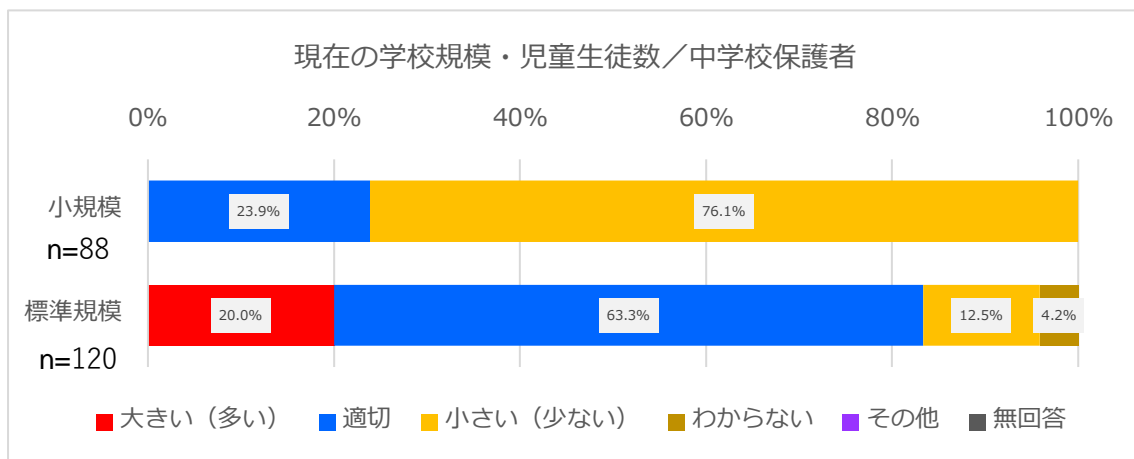
①小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
大きい (多い)	116	17.3%	0	3	5	108	0
適切	260	38.7%	0	75	72	113	0
小さい (少ない)	259	38.5%	9	239	9	2	0
わからない	33	4.9%	0	18	7	8	0
その他	3	0.4%	0	1	1	1	0
無回答	1	0.1%	0	0	0	1	0
合計	672	100.0%	9	336	94	233	0



②中学校保護者

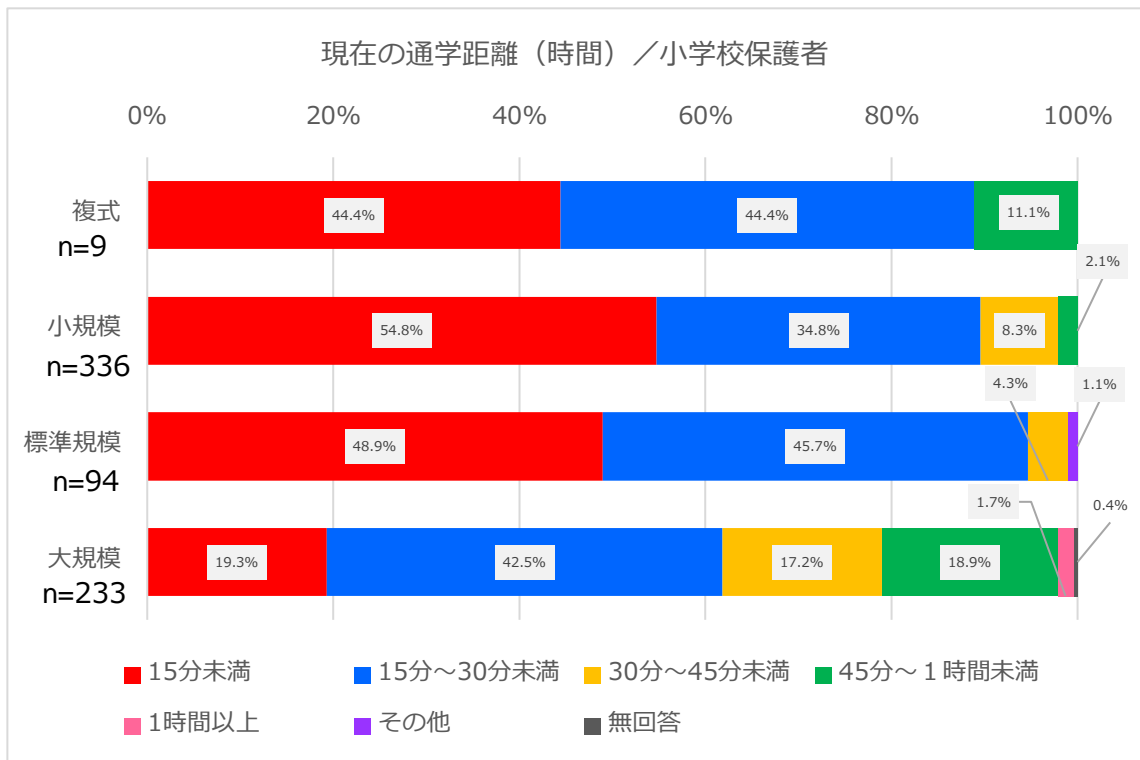
回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
大きい (多い)	24	11.5%	0	24	0	0
適切	97	46.6%	21	76	0	0
小さい (少ない)	82	39.4%	67	15	0	0
わからない	5	2.4%	0	5	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0
合計	208	100.0%	88	120	0	0



Q. お子様の通学時間はどのくらいですか。

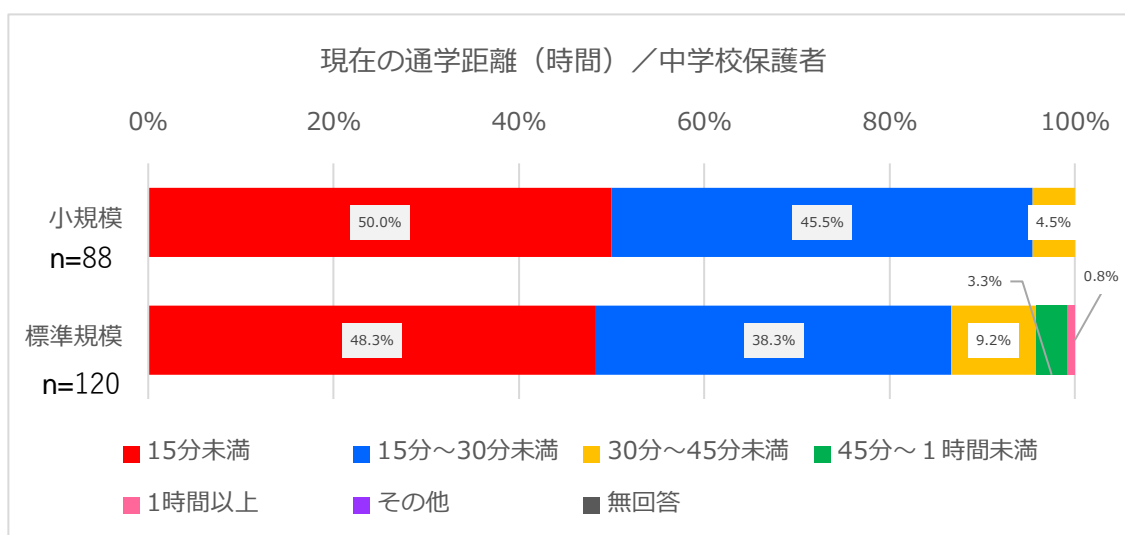
①小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
15分未満	279	41.5%	4	184	46	45	0
15分～30分未満	263	39.1%	4	117	43	99	0
30分～45分未満	72	10.7%	0	28	4	40	0
45分～1時間未満	52	7.7%	1	7	0	44	0
1時間以上	4	0.6%	0	0	0	4	0
その他	1	0.1%	0	0	1	0	0
無回答	1	0.1%	0	0	0	1	0
合計	672	100.0%	9	336	94	233	0



②中学校保護者

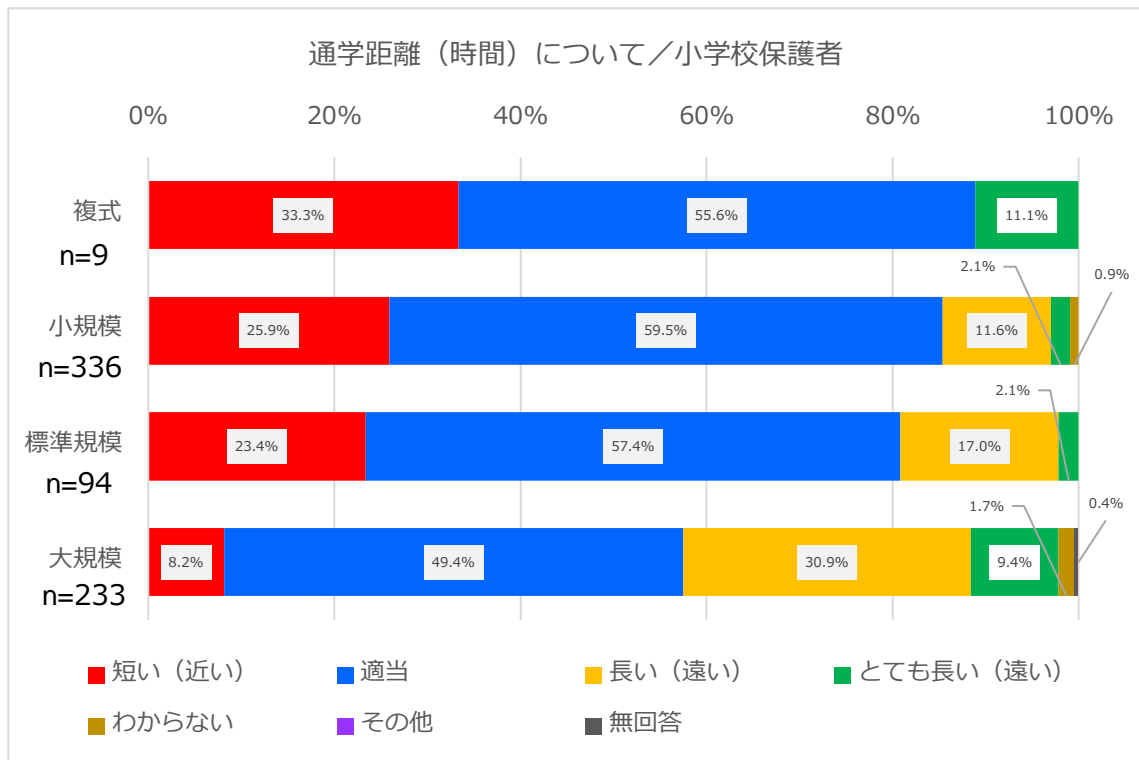
回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
15分未満	102	49.0%	44	58	0	0
15分～30分未満	86	41.3%	40	46	0	0
30分～45分未満	15	7.2%	4	11		
45分～1時間未満	4	1.9%	0	4	0	0
1時間以上	1	0.5%	0	1	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0
合計	208	100.0%	88	120	0	0



Q. お子様の通学時間（距離）をどう思われますか。

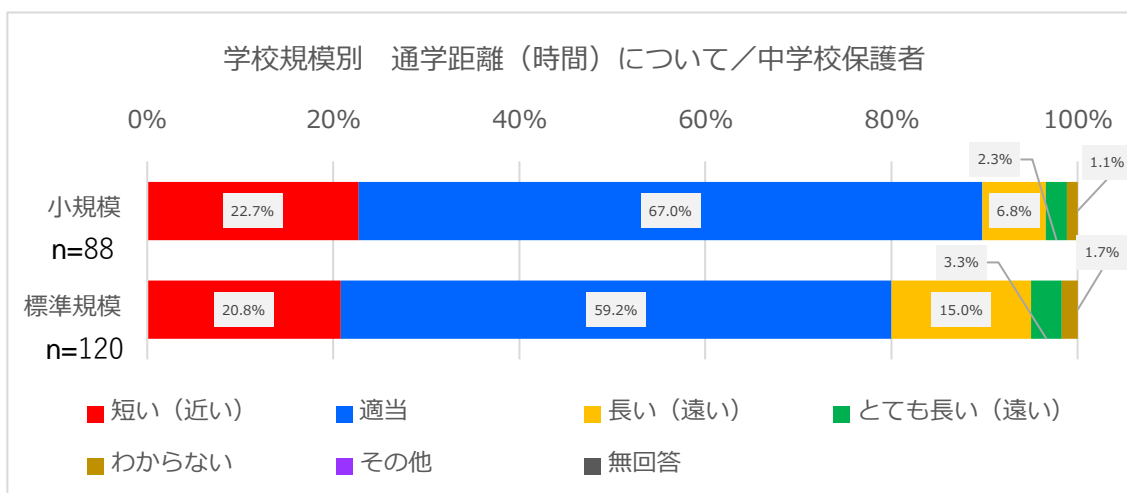
①小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
短い（近い）	131	19.5%	3	87	22	19	0
適当	374	55.7%	5	200	54	115	0
長い（遠い）	127	18.9%	0	39	16	72	0
とても長い（遠い）	32	4.8%	1	7	2	22	0
わからない	7	1.0%	0	3	0	4	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
無回答	1	0.1%	0	0	0	1	0
合計	672	100.0%	9	336	94	233	0



②中学校保護者

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
短い(近い)	45	21.6%	20	25	0	0
適当	130	62.5%	59	71	0	0
長い(遠い)	24	11.5%	6	18		
とても長い(遠い)	6	2.9%	2	4	0	0
わからない	3	1.4%	1	2	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0
合計	208	100.0%	88	120	0	0

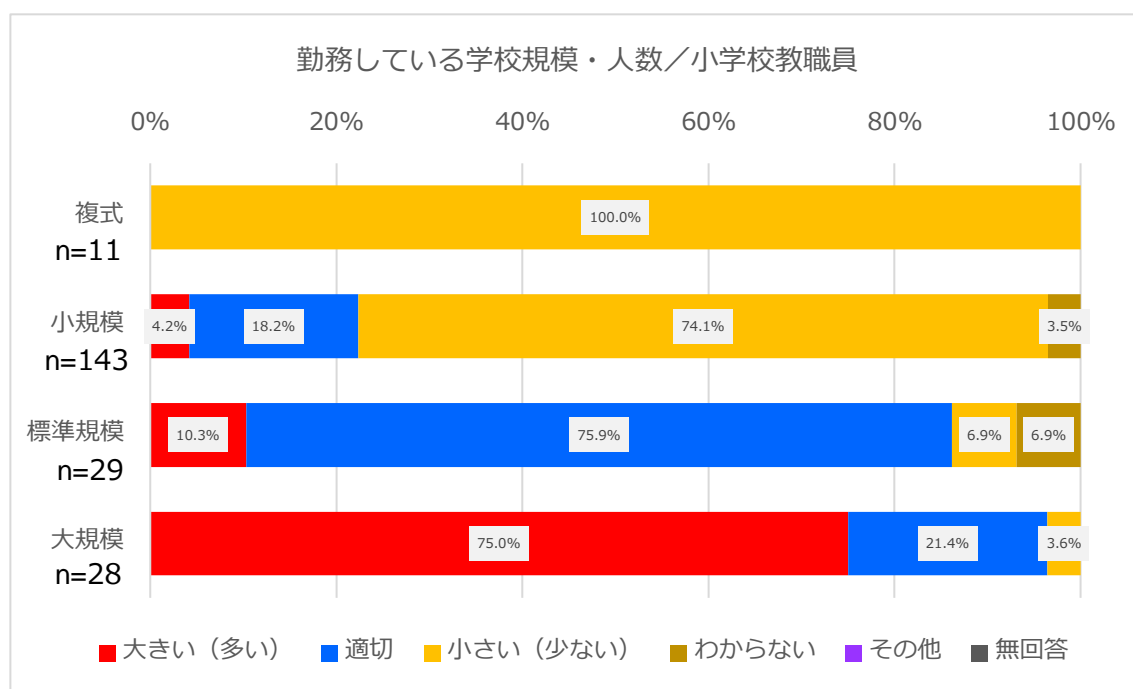


(2) 教職員

Q. 現在勤務されている学校の規模や児童生徒数をどう思いますか。

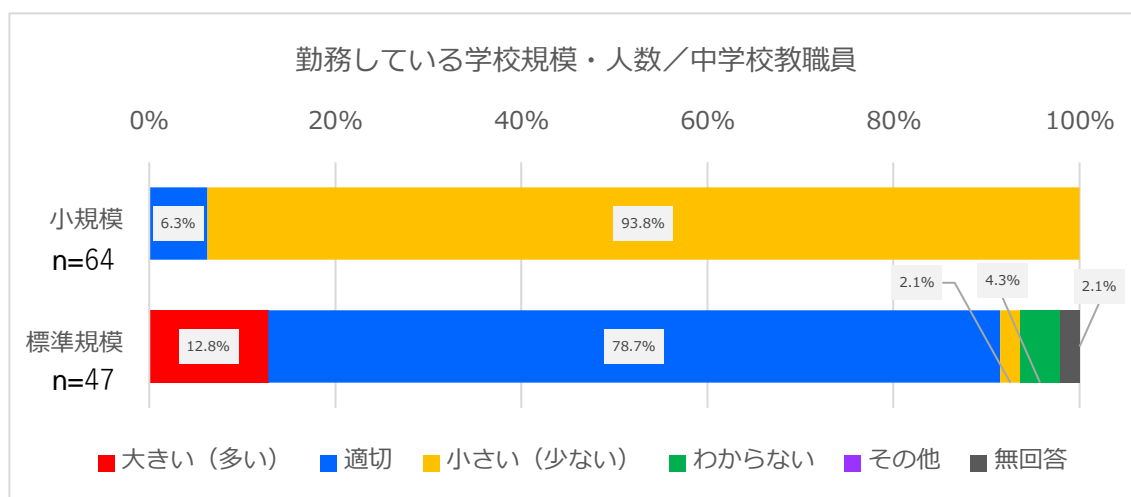
① 小学校教職員

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
大きい (多い)	30	14.2%	0	6	3	21	0
適切	54	25.6%	0	26	22	6	0
小さい (少ない)	120	56.9%	11	106	2	1	0
わからない	7	3.3%	0	5	2	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0
合計	211	100.0%	11	143	29	28	0



②中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
大きい (多い)	6	5.4%	0	6	0	0
適切	41	36.9%	4	37	0	0
小さい (少ない)	61	55.0%	60	1	0	0
わからない	2	1.8%	0	2	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	1	0.9%	0	1	0	0
合計	111	100.0%	64	47	0	0



Q. 小規模校の運営上の課題は何だと思えますか。（3つ以内）

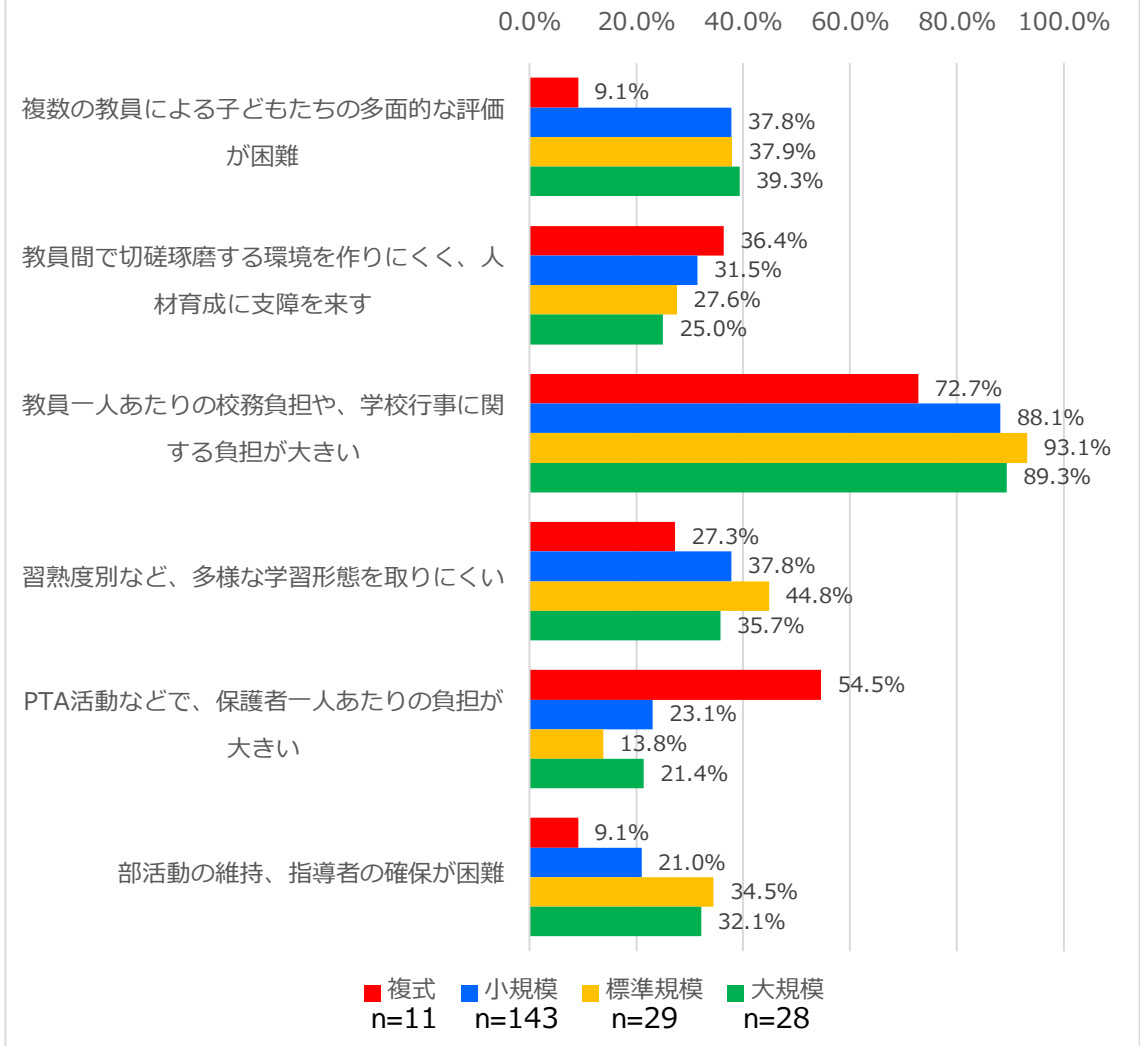
①小学校教職員

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
複数の教員による子どもたちの多面的な評価が困難	77	36.5%	1	54	11	11	0
教員間で切磋琢磨する環境を作りやすく、人材育成に支障を来す	64	30.3%	4	45	8	7	0
教員一人あたりの校務負担や、学校行事に関する負担が大きい	186	88.2%	8	126	27	25	0
習熟度別など、多様な学習形態をとりにくい	80	37.9%	3	54	13	10	0
PTA活動などで、保護者一人あたりの負担が大きい	49	23.2%	6	33	4	6	
部活動の維持、指導者の確保が困難	50	23.7%	1	30	10	9	
その他	8	3.8%	1	5	1	1	0
回答者数	211	100.0%	11	143	29	28	0

（その他の意見）

- ・ 人員不足（2）
- ・ 児童生徒、保護者の人間関係の固定化（2）
- ・ 担当する分掌を複数でできないため、担当者が転勤するとノウハウが残りにくい（1）
- ・ 子ども人間関係作りの困難さや逃げ場のない環境（1）
- ・ 多様な考えに触れる機会や学び合いの機会が少なくなる。ただ、一人一台端末で他の学校との交流ができると思う（1）
- ・ 全てやりようだと思う。クラスの人数によらず「担任」はひとり。教員数が多いから良い、少ないから行き詰まるという単純なことではないと思う（1）

小規模校の学校運営上の課題／小学校教職員



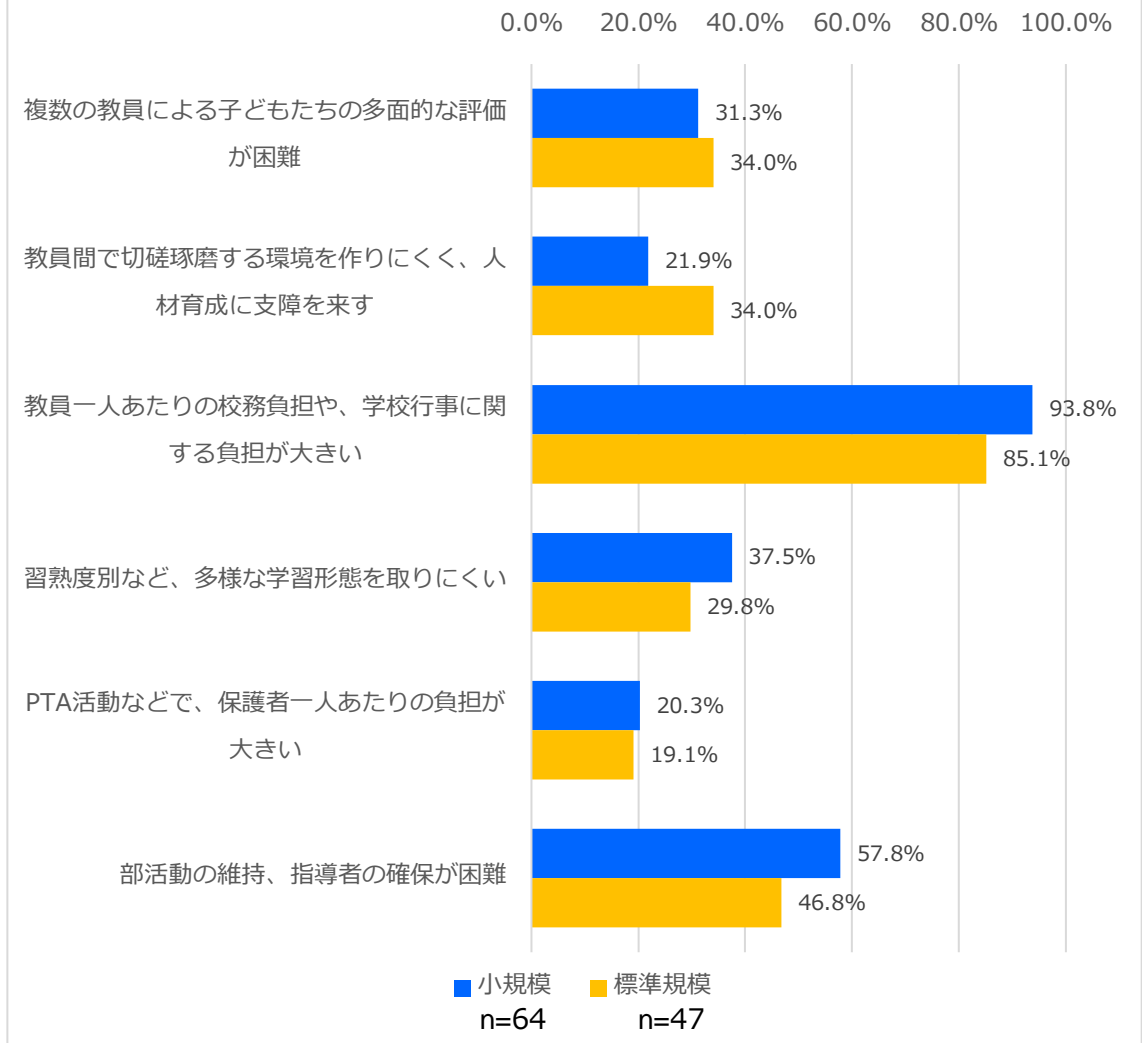
②中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
複数の教員による子どもたちの多面的な評価が困難	36	32.4%	20	16	0	0
教員間で切磋琢磨する環境を作りにくく、人材育成に支障を来す	30	27.0%	14	16	0	0
教員一人あたりの校務負担や、学校行事に関する負担が大きい	100	90.1%	60	40	0	0
習熟度別など、多様な学習形態をとりにくい	38	34.2%	24	14	0	0
PTA 活動などで、保護者一人あたりの負担が大きい	22	19.8%	13	9	0	0
部活動の維持、指導者の確保が困難	59	53.1%	37	22		
その他	7	6.3%	3	4	0	0
回答者数	111	100.0%	64	47	0	0

(その他の意見)

- ・児童生徒の人間関係の固定化 (2)
- ・複数の教員による授業や分掌の相互確認ができない (1)
- ・学校行事や生徒会活動の盛り上がり不足 (1)
- ・学校間で教科指導の平準化が難しい。他地域と比べても、専門性を持つ教職員の確保が難しくなっている (1)
- ・教員一人ひとりの質が学校の組織力に与える影響が大きい (1)
- ・一定の教員が決定権をもち、職場がクリーンでない (1)

小規模校の学校運営上の課題／中学校教職員

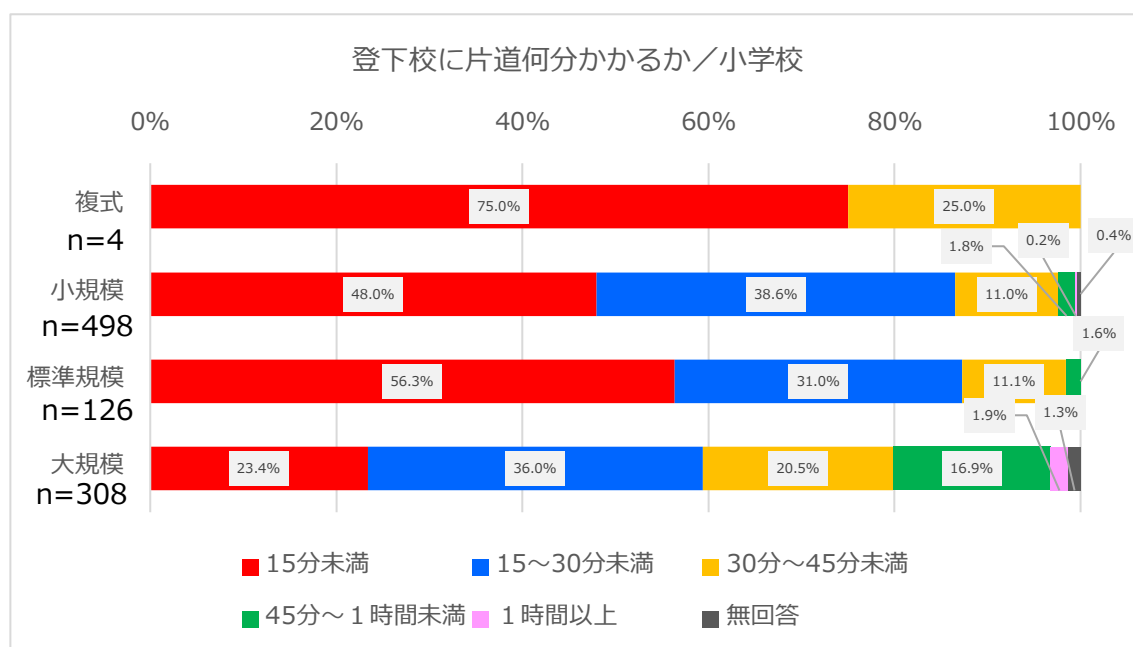


(3) 児童・生徒

Q. 登下校に片道何分かかりますか？

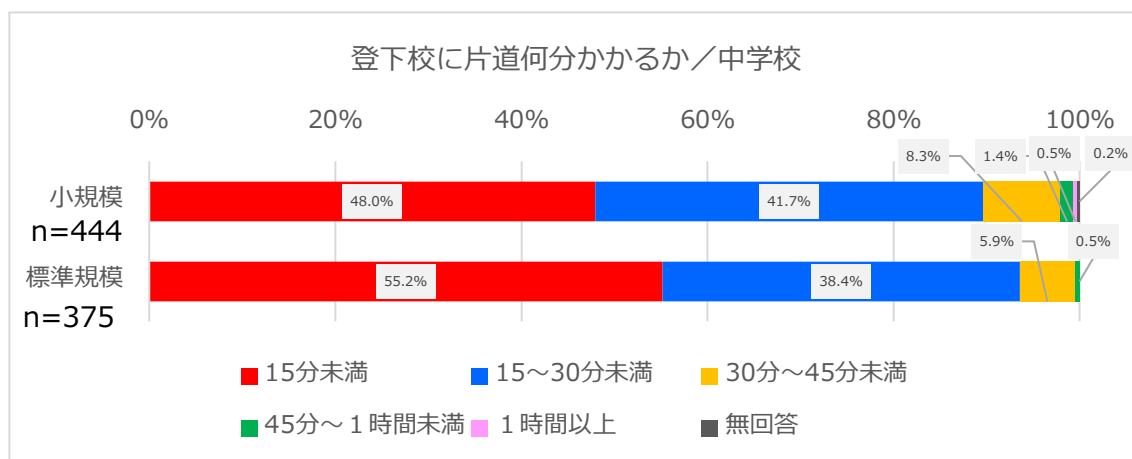
①小学校

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
15分未満	385	41.1%	3	239	71	72	0
15分～30分未満	342	36.5%	0	192	39	111	0
30分～45分未満	133	14.2%	1	55	14	63	0
45分～1時間未満	63	6.7%	0	9	2	52	0
1時間以上	7	0.7%	0	1	0	6	0
無回答	6	0.6%	0	2	0	4	0
合計	936	100.0%	4	498	126	308	0



②中学校

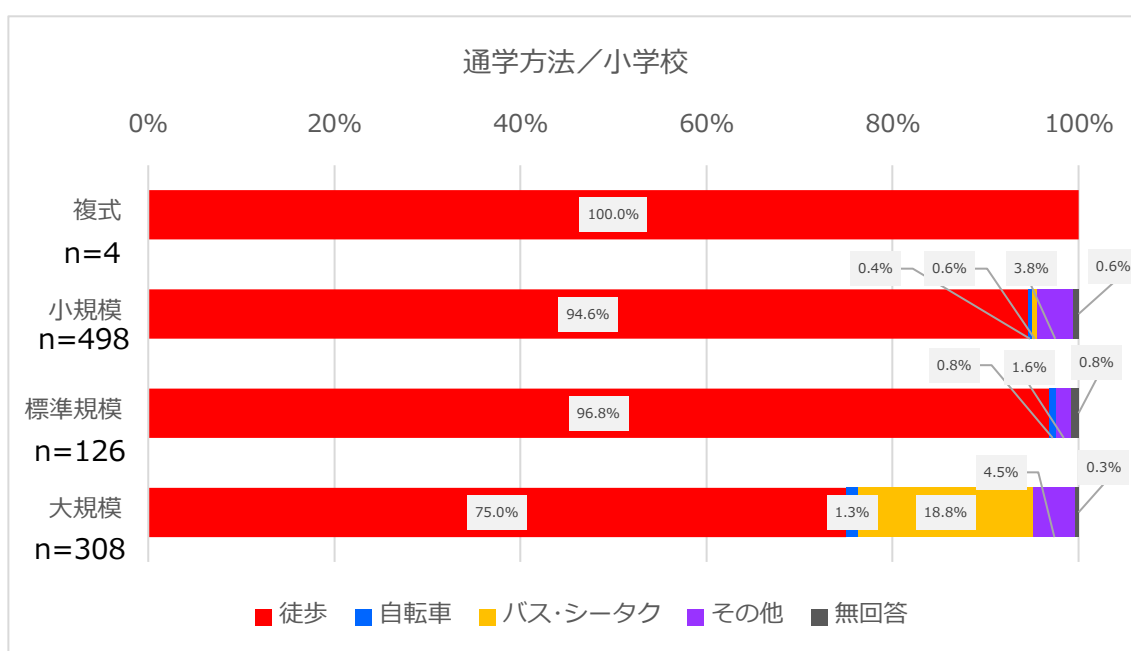
回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
15分未満	420	51.3%	213	207	0	0
15～30分未満	329	40.2%	185	144	0	0
30～45分未満	59	7.2%	37	22	0	0
45分～1時間未満	8	1.0%	6	2	0	0
1時間以上	2	0.2%	2	0	0	0
無回答	1	0.1%	1	0	0	0
合計	819	100.0%	444	375	0	0



Q. 現在の通学方法は何ですか？

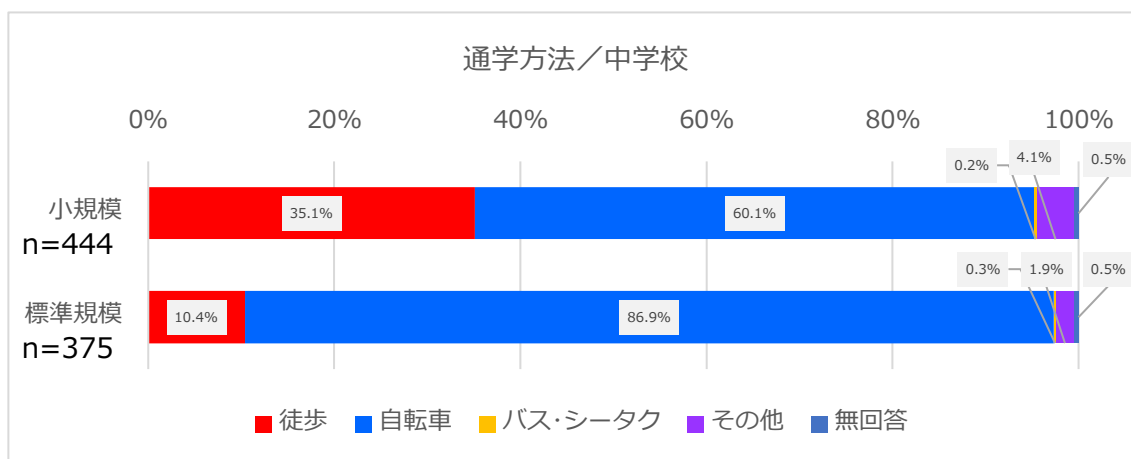
①小学校

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
徒歩	828	88.5%	4	471	122	231	0
自転車	7	0.7%	0	2	1	4	0
バス・シータク	61	6.5%	0	3	0	58	0
その他	35	3.7%	0	19	2	14	0
無回答	5	0.5%	0	3	1	1	0
合計	936	100.0%	4	498	126	308	0



②中学校

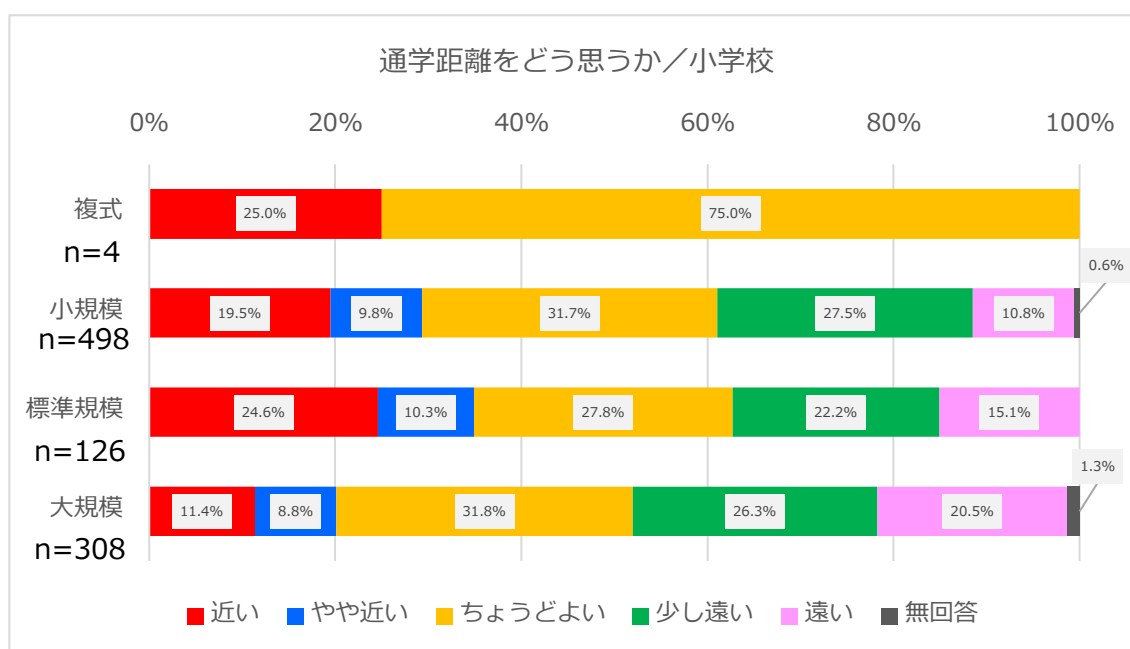
回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
徒歩	195	23.8%	156	39	0	0
自転車	593	72.4%	267	326	0	0
バス・シータク	2	0.2%	1	1	0	0
その他	25	3.1%	18	7	0	0
無回答	4	0.5%	2	2	0	0
合計	819	100.0%	444	375	0	0



Q. 現在の通学距離をどう思いますか？

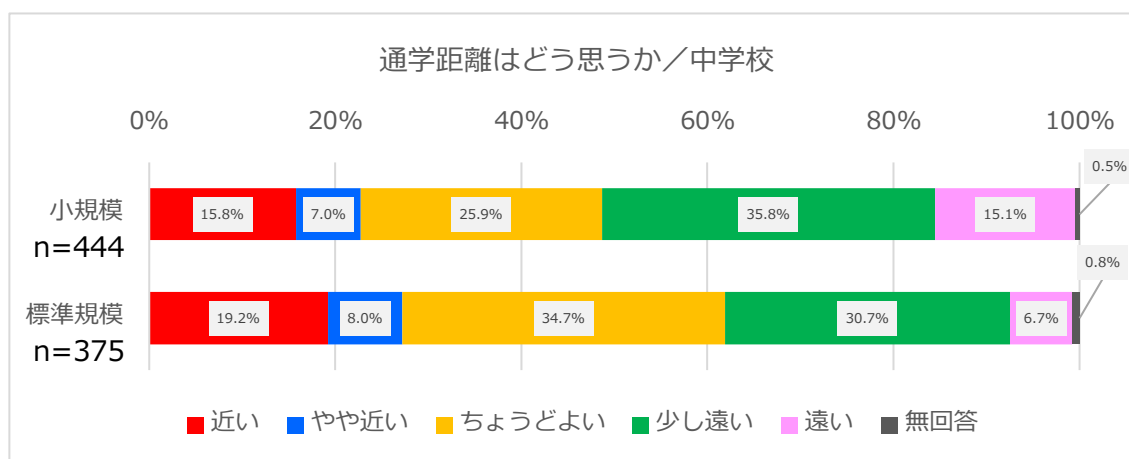
①小学校

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
近い	164	17.5%	1	97	31	35	0
やや近い	89	9.5%	0	49	13	27	0
ちょうどよい	294	31.4%	3	158	35	98	0
少し遠い	246	26.3%	0	137	28	81	0
遠い	136	14.5%	0	54	19	63	0
無回答	7	0.7%	0	3	0	4	0
合計	936	100.0%	4	498	126	308	0



②中学校

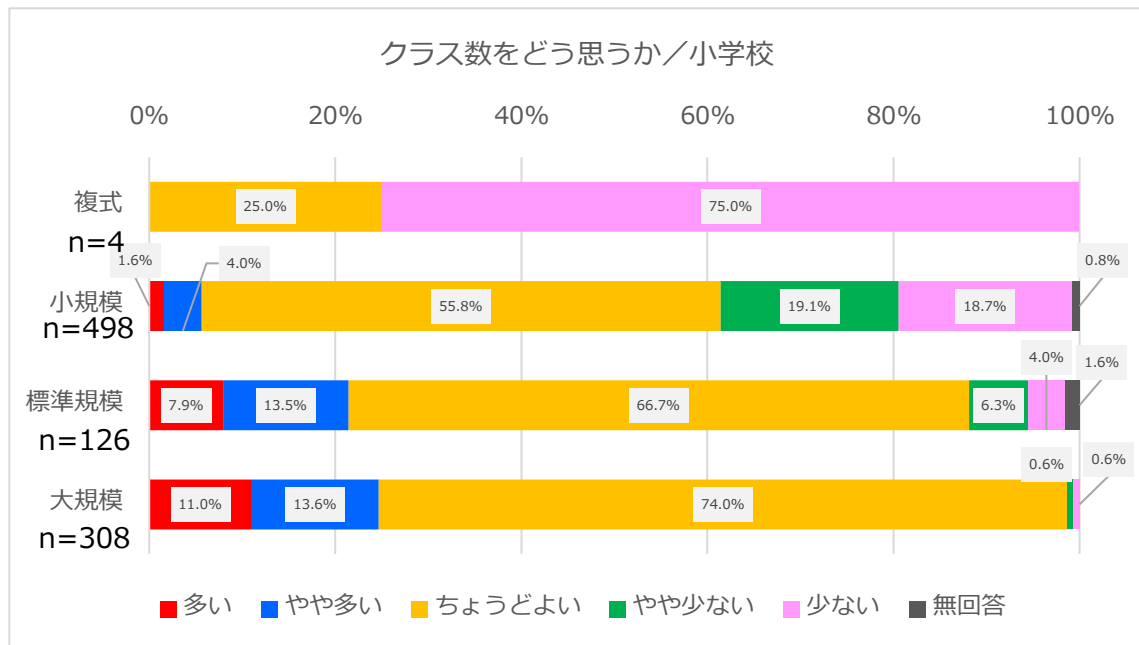
回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
近い	142	17.3%	70	72	0	0
やや近い	61	7.4%	31	30	0	0
ちょうどよい	245	29.9%	115	130	0	0
少し遠い	274	33.5%	159	115	0	0
遠い	92	11.2%	67	25	0	0
無回答	5	0.6%	2	3	0	0
合計	819	100.0%	444	375	0	0



Q. 現在の学校のクラス数をどう思いますか？

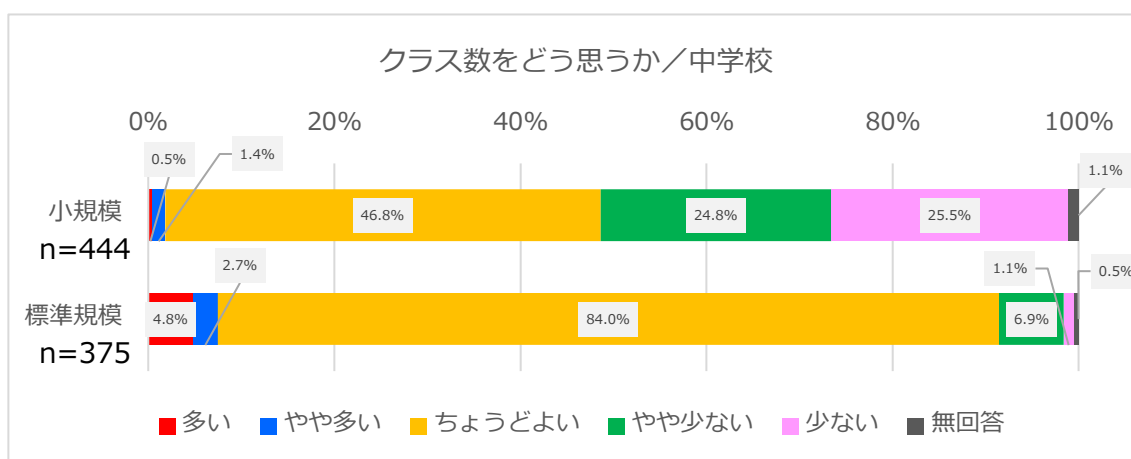
①小学校

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
多い	52	5.6%	0	8	10	34	0
やや多い	79	8.4%	0	20	17	42	0
ちょうどよい	591	63.1%	1	278	84	228	0
やや少ない	105	11.2%	0	95	8	2	0
少ない	103	11.0%	3	93	5	2	0
無回答	6	0.6%	0	4	2	0	0
合計	936	100.0%	4	498	126	308	0



②中学校

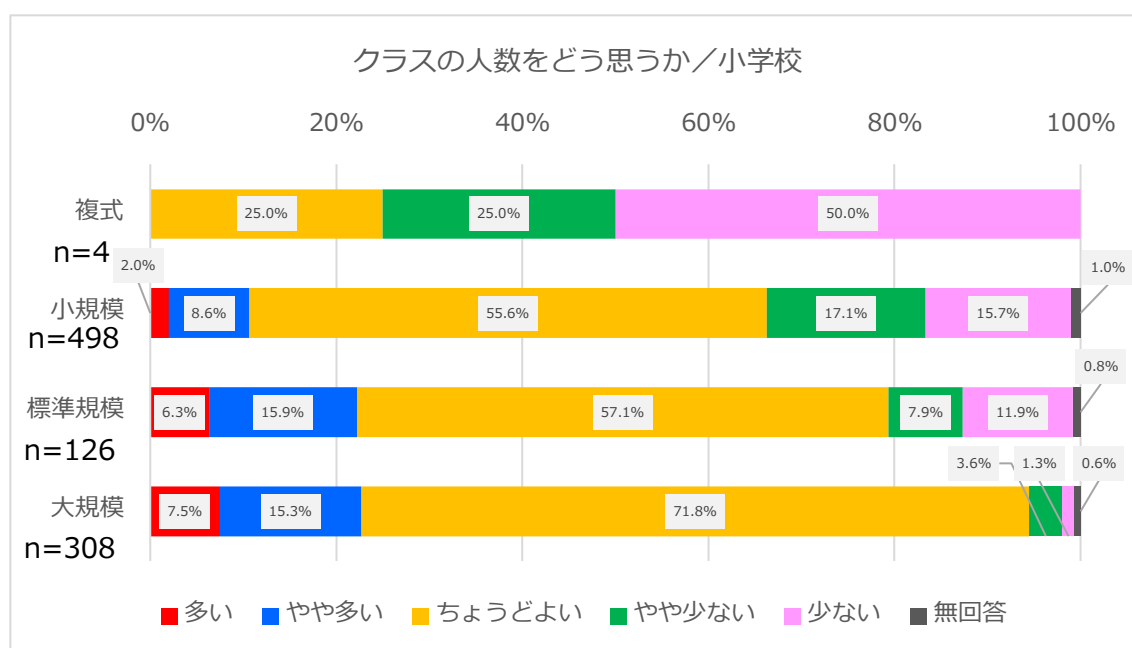
回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
多い	20	2.4%	2	18	0	0
やや多い	16	2.0%	6	10	0	0
ちょうどよい	523	63.9%	208	315	0	0
やや少ない	136	16.6%	110	26	0	0
少ない	117	14.3%	113	4	0	0
無回答	7	0.9%	5	2	0	0
合計	819	100.0%	444	375	0	0



Q. 現在のクラスの人数をどう思いますか？

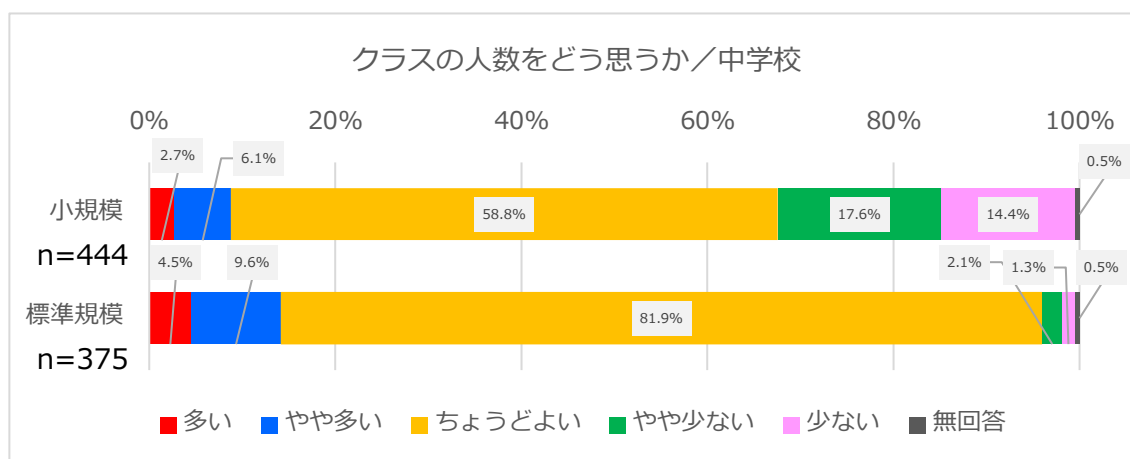
①小学校

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
多い	41	4.4%	0	10	8	23	0
やや多い	110	11.8%	0	43	20	47	0
ちょうどよい	571	61.0%	1	277	72	221	0
やや少ない	107	11.4%	1	85	10	11	0
少ない	99	10.6%	2	78	15	4	0
無回答	8	0.9%	0	5	1	2	0
合計	936	100.0%	4	498	126	308	0



②中学校

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
多い	29	3.5%	12	17	0	0
やや多い	63	7.7%	27	36	0	0
ちょうどよい	568	69.4%	261	307	0	0
やや少ない	86	10.5%	78	8	0	0
少ない	69	8.4%	64	5	0	0
無回答	4	0.5%	2	2	0	0
合計	819	100.0%	444	375	0	0



Q. 学校でよいと感じることは何ですか？（3つまで）

①小学校

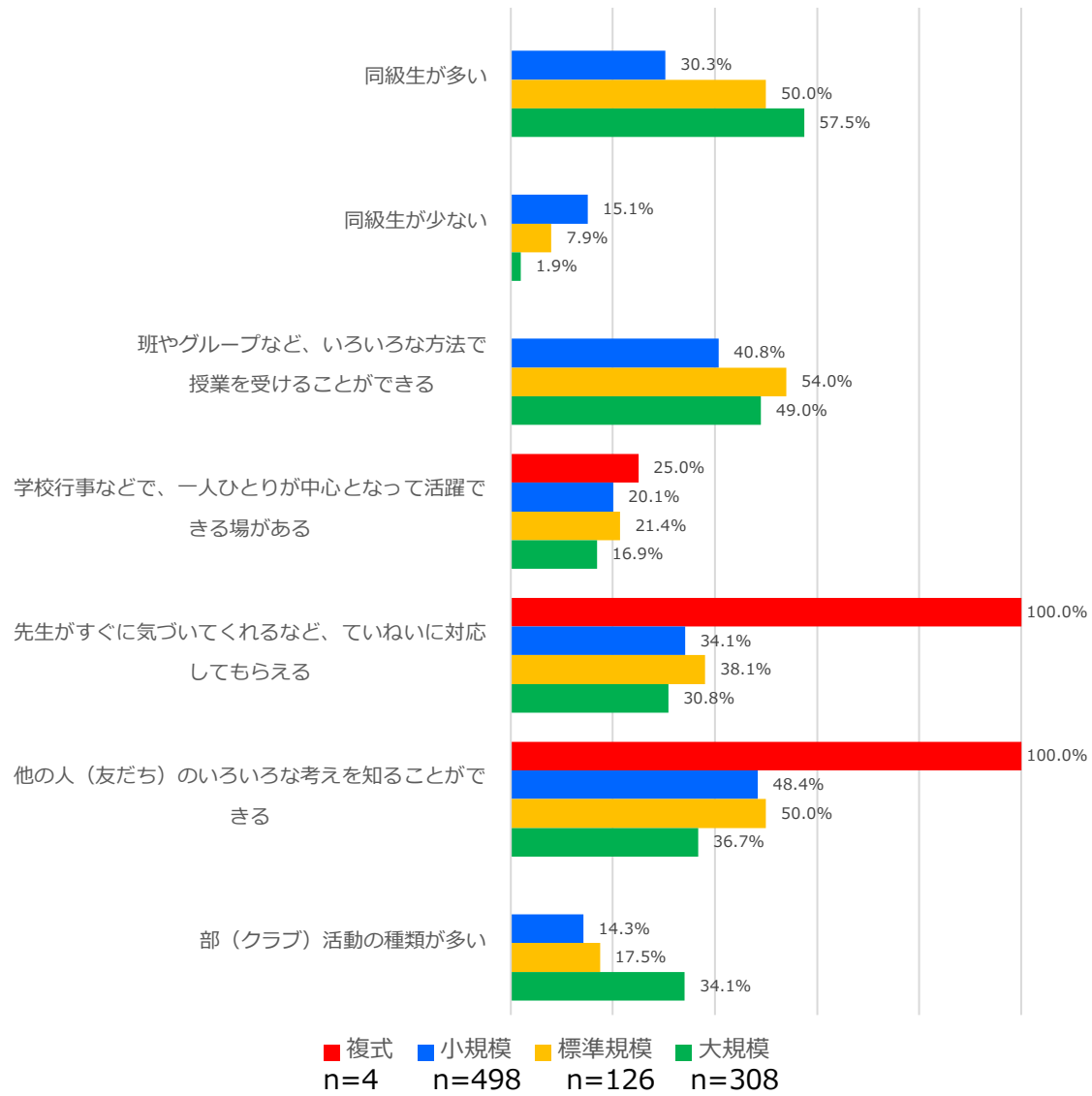
回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
同級生が多い	391	41.8%	0	151	63	177	0
同級生が少ない	91	9.7%	0	75	10	6	0
班やグループなど、いろいろな方法で授業を受けることができる	422	45.1%	0	203	68	151	0
学校行事などで、一人ひとりが中心となって活躍できる場がある	180	19.2%	1	100	27	52	0
先生がすぐに気づいてくれるなど、ていねいに対応してもらえる	317	33.9%	4	170	48	95	0
他の人（友だち）のいろいろな考えを知ることができる	421	45.0%	4	241	63	113	0
部（クラブ）活動の種類が多い	198	21.2%	0	71	22	105	0
その他	105	11.2%	1	58	13	33	0
回答者数	936	100.0%	4	498	126	308	0

（主なその他の意見）

- ・友達と遊べる、話せる（22）
- ・楽しい、優しい、仲良し（15）
- ・給食がおいしい（6）
- ・いじめがない、少ない（3）
- ・自然が多い（4）
- ・クラス替えがない、少ないので友達と離れない（4）
- ・助け合うことができる（3）
- ・教室を広く使える（2）
- ・自由時間が楽しい（2）

学校でよいと感じること／小学校

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



②中学校

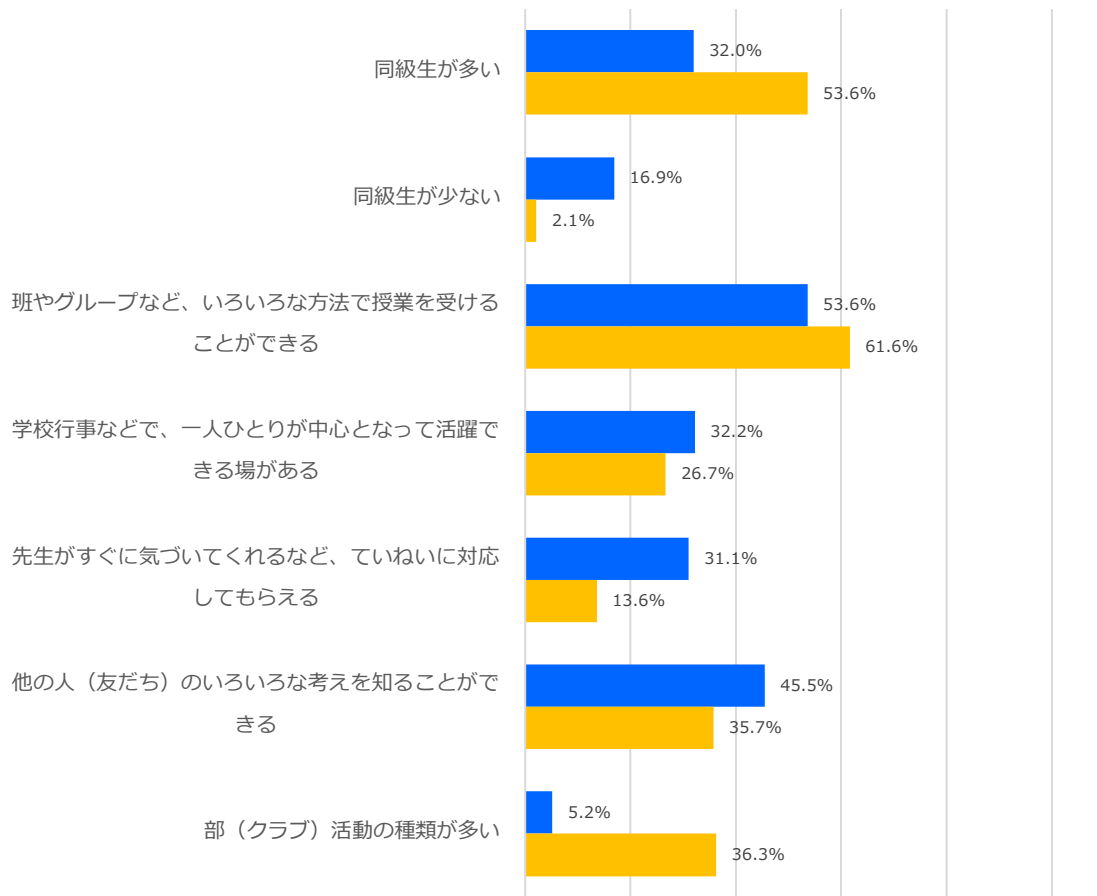
回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
同級生が多い	343	41.9%	142	201	0	0
同級生が少ない	83	10.1%	75	8	0	0
班やグループなど、 いろいろな方法で 授業を受けること ができる	469	57.3%	238	231	0	0
学校行事などで、一 人ひとりが中心と なって活躍できる 場がある	243	29.7%	143	100	0	0
先生がすぐに気づ いてくれるなど、て いねいに対応して もらえる	189	23.1%	138	51	0	0
他の人(友だち)の いろいろな考えを 知ることができる	336	41.0%	202	134	0	0
部(クラブ)活動の 種類が多い	159	19.4%	23	136	0	0
その他	39	4.8%	26	13	0	0
回答者数	819	100.0%	444	375	0	0

(主なその他の意見)

- ・楽しい、優しい、仲良し (13)
- ・友達と遊べる、話せる (2)
- ・先生が一人ひとりに関わってくれる (2)

学校でよいと感じること／中学校

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



■ 小規模
n=444

■ 標準規模
n=375

Q. 学校でよくないと感じることは何ですか？（3つまで）

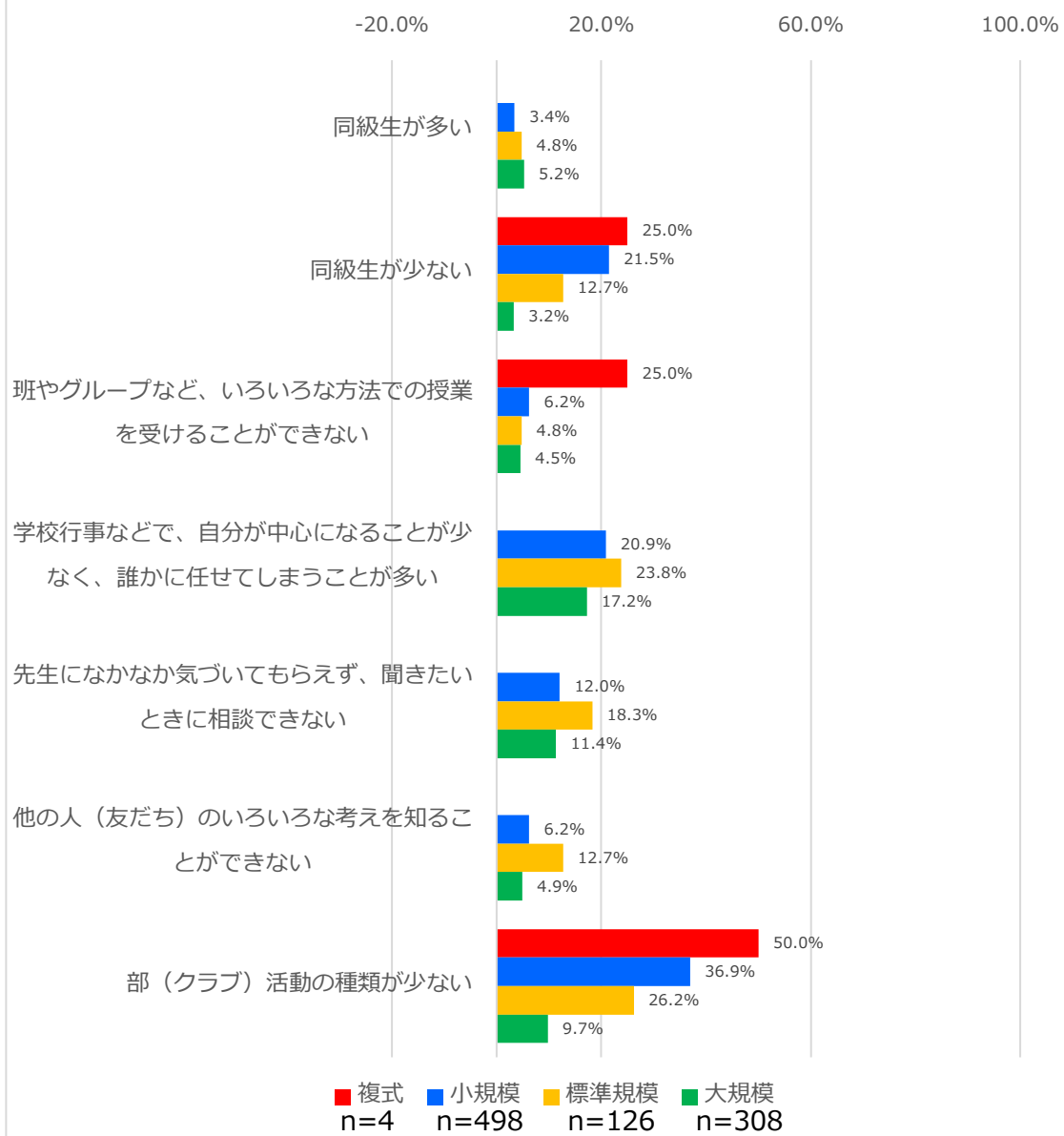
①小学校

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
同級生が多い	39	4.2%	0	17	6	16	0
同級生が少ない	134	14.3%	1	107	16	10	0
班やグループなど、いろいろな方法での授業を受けることができない	52	5.6%	1	31	6	14	0
学校行事などで、自分が中心になることが少なく、誰かに任せてしまうことが多い	187	20.0%	0	104	30	53	0
先生になかなか気づいてもらえず、聞きたいときに相談できない	118	12.6%	0	60	23	35	0
他の人（友だち）のいろいろな考えを知ることができない	62	6.6%	0	31	16	15	0
部（クラブ）活動の種類が少ない	249	26.6%	2	184	33	30	0
その他	66	7.1%	2	82	18	43	0
回答者数	936	100.0%	4	498	126	308	0

（主なその他の意見）

- ・口が悪い、暴言を吐く（7）
- ・ケンカが多い（7）
- ・いじめがある、多い（5）
- ・ルールを守らない（4）
- ・苦手な先生がいる（4）
- ・うるさい（3）
- ・トイレが汚い、施設が古い（2）
- ・休み時間の過ごし方に制約がある（2）
- ・宿題が多い（2）

学校でよくないと感じること／小学校



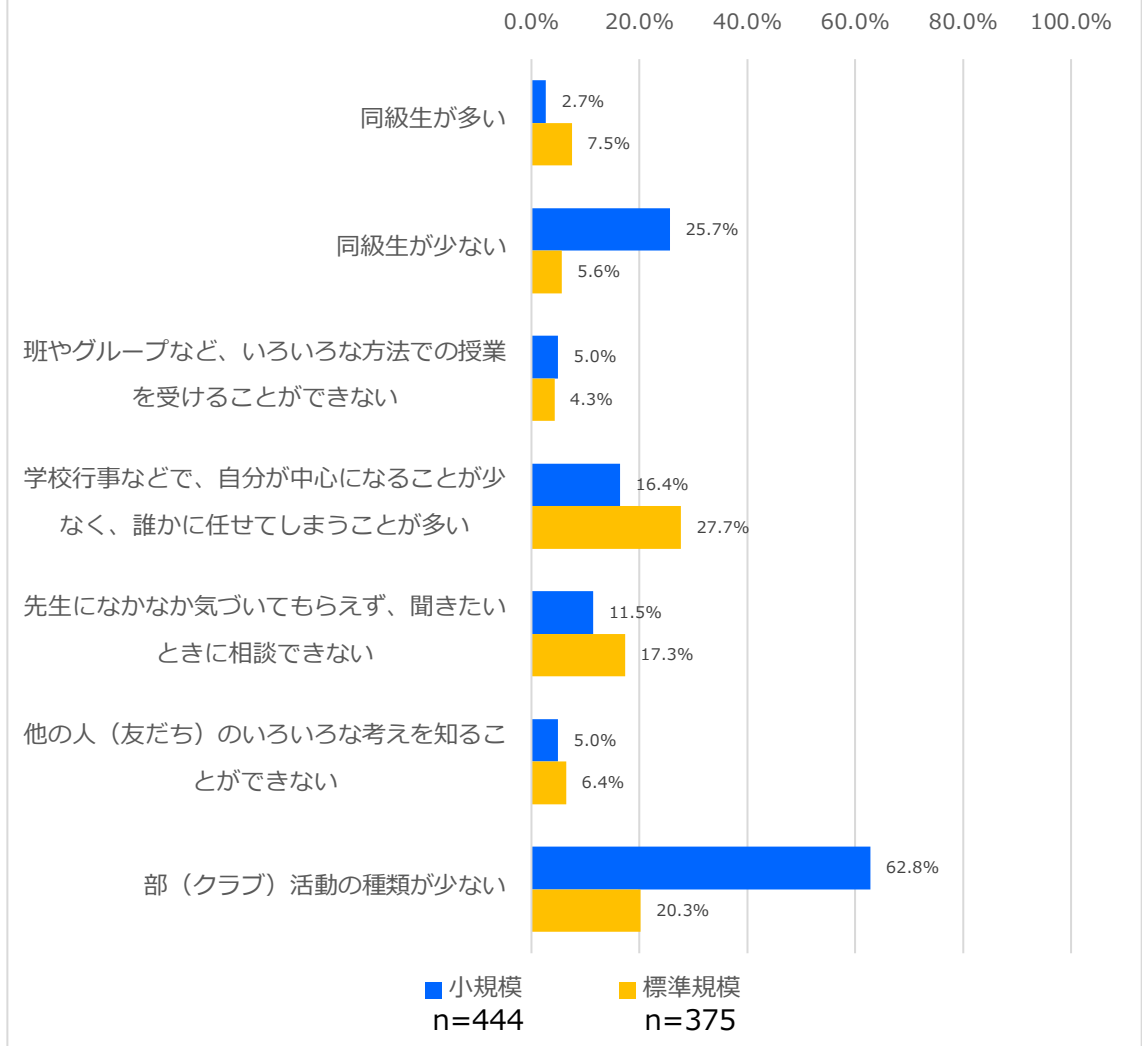
②中学校

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
同級生が多い	40	4.9%	12	28	0	0
同級生が少ない	135	16.5%	114	21	0	0
班やグループなど、 いろいろな方法で の授業を受けるこ とができない	38	4.6%	22	16	0	0
学校行事などで、自 分が中心になるこ とが少なく、誰かに 任せてしまうこと が多い	177	21.6%	73	104	0	0
先生になかなか気 づいてもらえず、聞 きたいときに相談 できない	116	14.2%	51	65	0	0
他の人(友だち)の いろいろな考えを 知ることができな い	46	5.6%	22	24	0	0
部(クラブ)活動の 種類が少ない	355	43.3%	279	76	0	0
その他	46	5.6%	38	40	0	0
回答者数	819	100.0%	444	375	0	0

(主なその他の意見)

- ・うるさい(5)
- ・席替えの回数が少ない(4)
- ・階段を上るのが大変(3)
- ・トイレが汚い、施設が古い(2)
- ・休み時間が短い(2)

学校でよくないと感じること／中学校



第4章 アンケート（追加調査分）回答

1. 回答者の属性

(1) 保護者

① 年代

回答	回答者数	割合
19歳以下	5	0.5%
20歳～29歳	36	3.4%
30歳～39歳	431	40.4%
40歳～49歳	527	49.4%
50歳～59歳	63	5.9%
60歳～69歳	5	0.5%
70歳～79歳	0	0.0%
80歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	1,067	100.0%

② お子様が生籍する学校

回答	回答者数	割合	回答	回答者数	割合
田井小学校	137	12.8%	宇野中学校	24	2.2%
築港小学校	40	3.7%	玉中学校	11	1.0%
宇野小学校	81	7.6%	日比中学校	25	2.3%
玉小学校	31	2.9%	山田中学校	11	1.0%
玉原小学校	51	4.8%	荘内中学校	44	4.1%
日比小学校	47	4.4%	八浜中学校	32	3.0%
第二日比小学校	42	3.9%	東児中学校	17	1.6%
山田小学校	26	2.4%	中学校 計	164	15.4%
後閑小学校	16	1.5%			
荘内小学校	248	23.2%			
八浜小学校	70	6.6%			
大崎小学校	41	3.8%			
胸上小学校	24	2.2%	その他	19	1.8%
銚立小学校	27	2.5%	無回答	3	0.3%
小学校 計	881	82.6%	合計	1,067	100.0%

③ お子様の学年

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	その他	無回答	回答者数
小学校	190	156	129	110	99	116	41	40	881
中学校	55	50	56	0	0	0	1	2	164
その他	5	3	2	3	3	0	3	0	19
無回答	0	0	0	1	0	0	0	2	3
合計	250	209	187	114	102	116	45	44	1,067

(2) 教職員

① 勤務している学校種

回答	回答者数	割合
小学校	176	68.5%
中学校	79	30.7%
その他	1	0.4%
無回答	1	0.4%
合計	257	100.0%

②年代

回答	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
小学校	31	38	40	56	11	0	176
中学校	11	20	15	29	4	0	79
その他	0	0	1	0	0	0	1
無回答	0	0	0	1	0	0	1
合計	42	58	56	86	15	0	257

(3) 地域

① 年代

回答	回答者数	割合
19歳以下	2	0.5%
20歳～29歳	44	11.4%
30歳～39歳	129	33.4%
40歳～49歳	60	15.5%
50歳～59歳	31	8.0%
60歳～69歳	35	9.1%
70歳～79歳	62	16.1%
80歳以上	21	5.4%
無回答	2	0.5%
合計	386	100.0%

② 住んでいる地区（小学校区）

回答	回答者数	割合
田井小学校	69	17.9%
築港小学校	18	4.7%
宇野小学校	17	4.4%
玉小学校	12	3.1%
玉原小学校	6	1.6%
日比小学校	8	2.1%
第二日比小学校	11	2.8%
山田小学校	7	1.8%
後閑小学校	18	4.7%
荘内小学校	45	11.7%
八浜小学校	19	4.9%
大崎小学校	12	3.1%
胸上小学校	4	1.0%
鉾立小学校	51	13.2%
その他	56	14.5%
無回答	33	8.5%
合計	386	100.0%

2. 共通設問

●本項目は、保護者を対象とした調査結果を基礎として、保護者・教職員・地域の意識を比較するために、共通でお聞きした設問の調査結果をあわせて掲載しています。

※小学校の規模については、この調査では次のとおりとしています。

複式＝後閑小

小規模＝築港、宇野、玉、玉原、日比、二日比、山田、八浜、大崎、胸上、鉾立小

標準規模＝田井小

大規模＝荘内小

※教職員の集計では、勤務している学校の学校規模で集計しています。

※地域の方の集計では、お住まいの地区（小学校区）にある学校規模で集計しています。

Q. 学校教育に望むことは何ですか。（3つまで選択可）

（1）小学校保護者

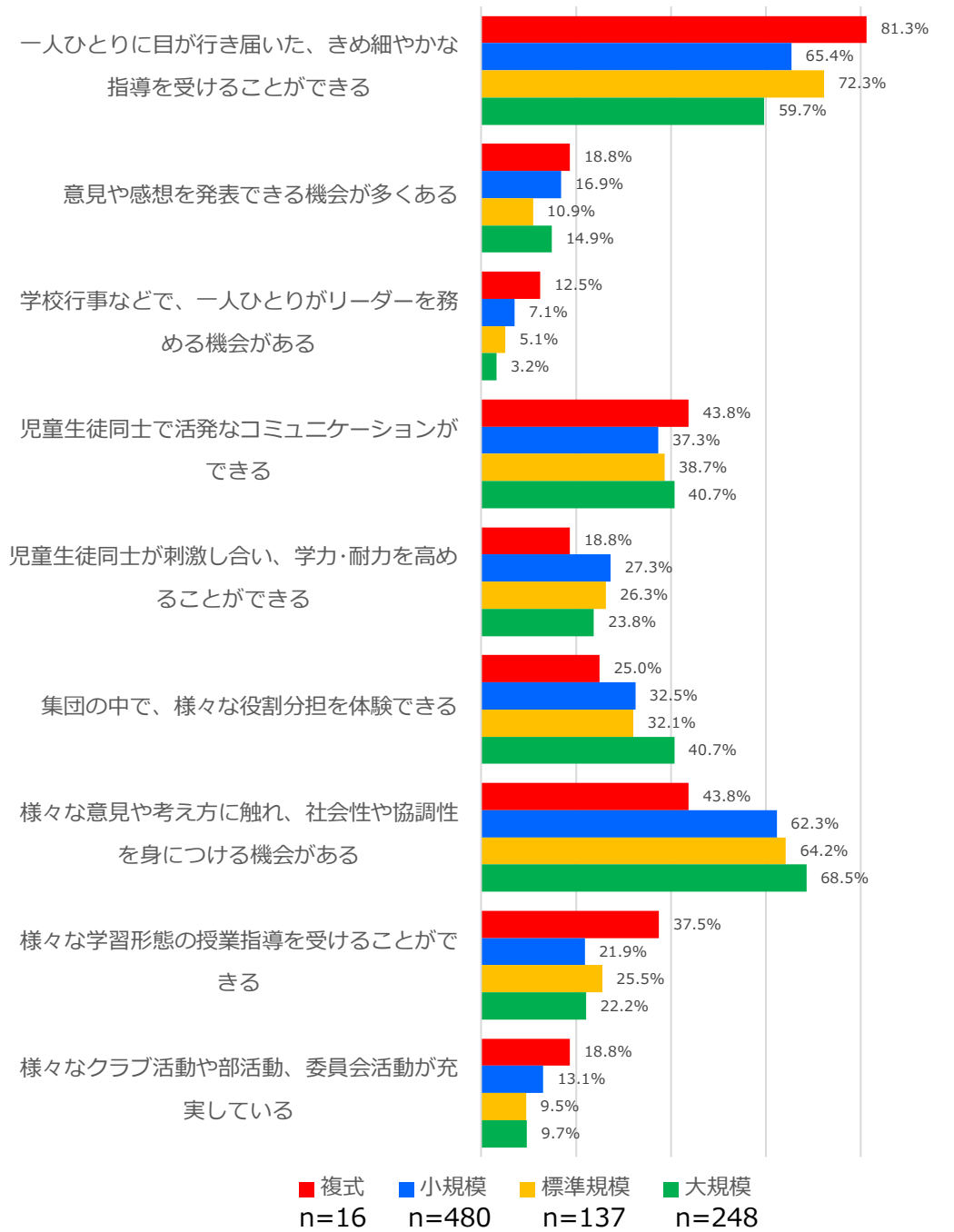
回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
一人ひとりに目が行き届いた、きめ細やかな指導を受けることができる	574	69.9%	13	314	99	148	0
意見や感想を発表できる機会が多くある	136	16.6%	3	81	15	37	0
学校行事などで、一人ひとりがリーダーを務める機会がある	51	6.2%	2	34	7	8	0
児童生徒同士で活発なコミュニケーションができる	340	41.4%	7	179	53	101	0
児童生徒同士が刺激し合い、学力・忍耐力を高めることができる	229	27.9%	3	131	36	59	0
集団の中で、様々な役割分担を体験できる	305	37.1%	4	156	44	101	0
様々な意見や考え方に触れ、社会性や協調性を身に付ける機会がある	564	68.7%	7	299	88	170	0
様々な学習形態の授業指導を受けることができる	201	24.5%	6	105	35	55	0
様々なクラブ活動や部活動、委員会活動が充実している	103	12.5%	3	63	13	24	0
その他	10	1.2%	0	9	0	1	0
回答者数	821	100.0%	16	480	137	248	0

（その他の意見）

- ・きちんとした先生であること（2）
- ・いじめなどの諸問題に気づき、対処してくれること（1）
- ・思いやりの心、のびのびと楽しむ力、失敗しても挑戦する力、命の大切さ（1）
- ・主権者教育、性教育の充実（1）
- ・様々な意見や考え方に触れ、自らの個性や可能性を見出すこと（1）
- ・自分の考えを形作り、それを伝えられるようになる学び（1）
- ・安全・安心に子供を預けられること（1）
- ・大切な友人ができること（1）
- ・現状維持（1）

学校教育に望むこと／小学校保護者

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



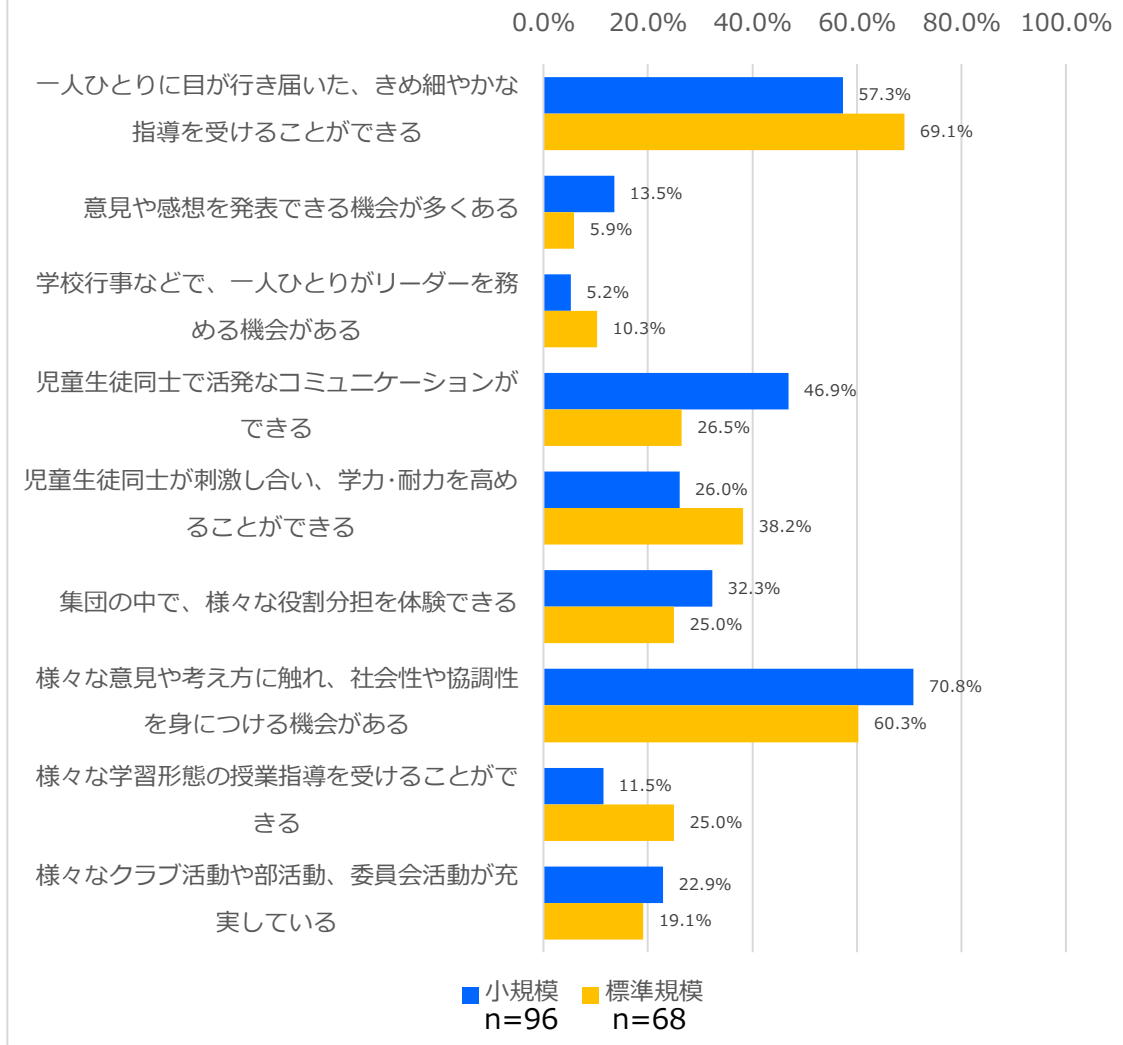
(2) 中学校保護者

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その 他	無回 答
一人ひとりに目が行き届いた、きめ細やかな指導を受けることができる	102	62.2%	55	47	0	0
意見や感想を發表できる機会が多くある	17	10.4%	13	4	0	0
学校行事などで、一人ひとりがリーダーを務める機会がある	12	7.3%	5	7	0	0
児童生徒同士で活発なコミュニケーションができる	63	38.4%	45	18	0	0
児童生徒同士が刺激し合い、学力・忍耐力を高めることできる	51	31.1%	25	26	0	0
集団の中で、様々な役割分担を体験できる	48	29.3%	31	17	0	0
様々な意見や考え方に触れ、社会性や協調性を身に付ける機会がある	109	66.5%	68	41	0	0
様々な学習形態の授業指導を受けることができる	28	17.1%	11	17	0	0
様々なクラブ活動や部活動、委員会活動が充実している	35	21.3%	22	13	0	0
その他	3	1.8%	1	2	0	0
回答者数	164	100.0%	96	68	0	0

(その他の意見)

- ・教員の質の向上 (1)
- ・発達障害児に対する健常児の理解及び先生の理解と指導のやり方について (1)
- ・支援が必要な子どもに指導をしてほしい (1)

学校教育に望むこと／中学校保護者



(3) 小学校教職員

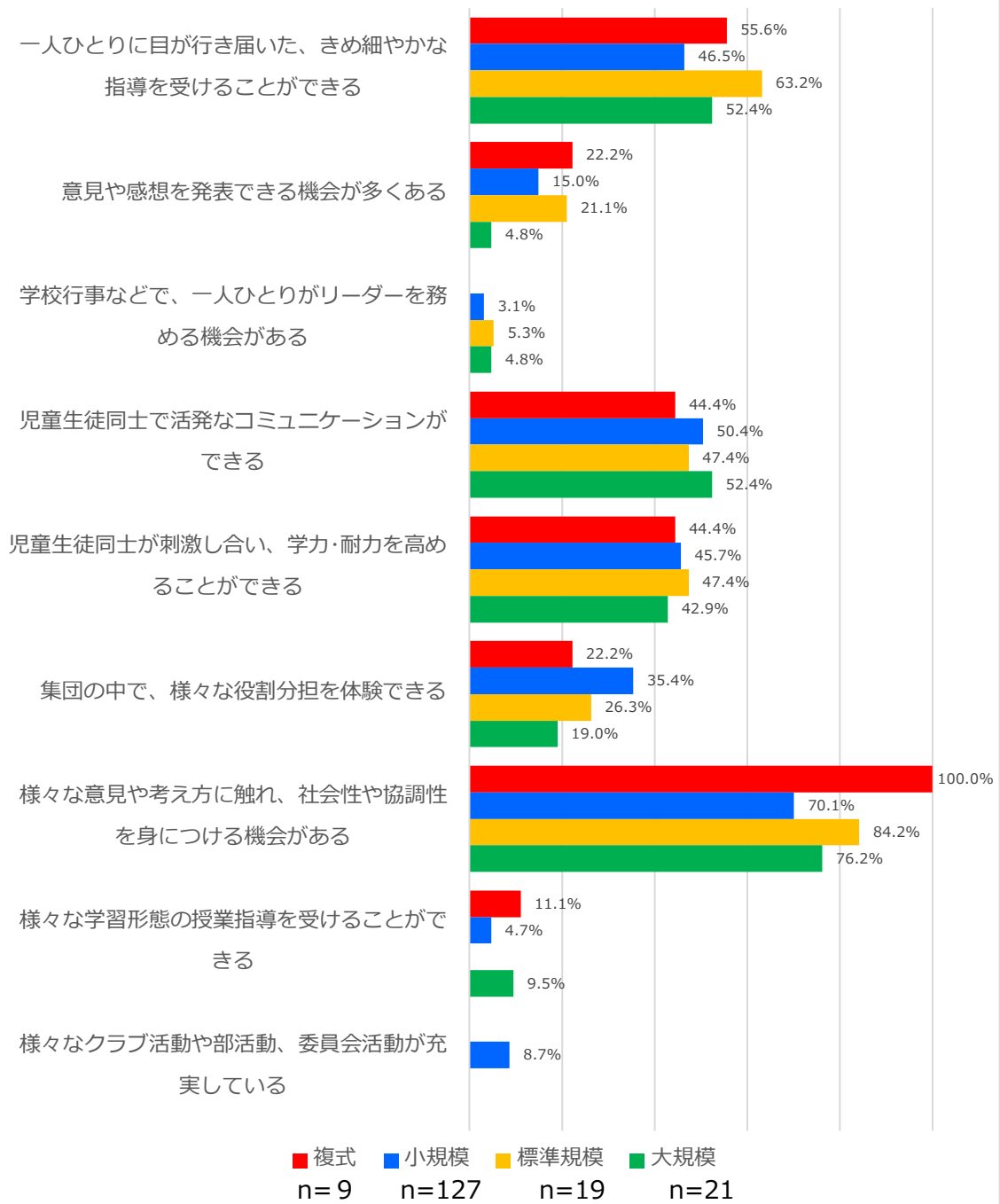
回答	全体		内訳				
	回答者数	率	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
一人ひとりに目が行き届いた、きめ細やかな指導を受けることができる	87	49.4%	5	59	12	11	0
意見や感想を発表できる機会が多くある	26	14.8%	2	19	4	1	0
学校行事などで、一人ひとりがリーダーを務める機会がある	6	3.4%	0	4	1	1	0
児童生徒同士で活発なコミュニケーションができる	88	50.0%	4	64	9	11	0
児童生徒同士が刺激し合い、学力・忍耐力を高めることできる	80	45.5%	4	58	9	9	0
集団の中で、様々な役割分担を体験できる	56	31.8%	2	45	5	4	0
様々な意見や考え方に触れ、社会性や協調性を身に付ける機会がある	130	73.9%	9	89	16	16	0
様々な学習形態の授業指導を受けることができる	9	5.1%	1	6	0	2	0
様々なクラブ活動や部活動、委員会活動が充実している	11	6.3%	0	11	0	0	0
その他	4	2.3%	0	3	0	1	0
回答者数	176	100.0%	9	127	19	21	0

(その他の意見)

- ・どんな子でも、これからの社会で幸せに生活できるようになる能力を養う (1)
- ・問題発見、解決能力、革新性、情報収集、発信能力の育成 (1)
- ・社会の中で他者と協働し、自己実現していく力を身につける (1)
- ・教職員が答える内容ではないと考えます (1)

学校教育に望むこと／小学校教職員

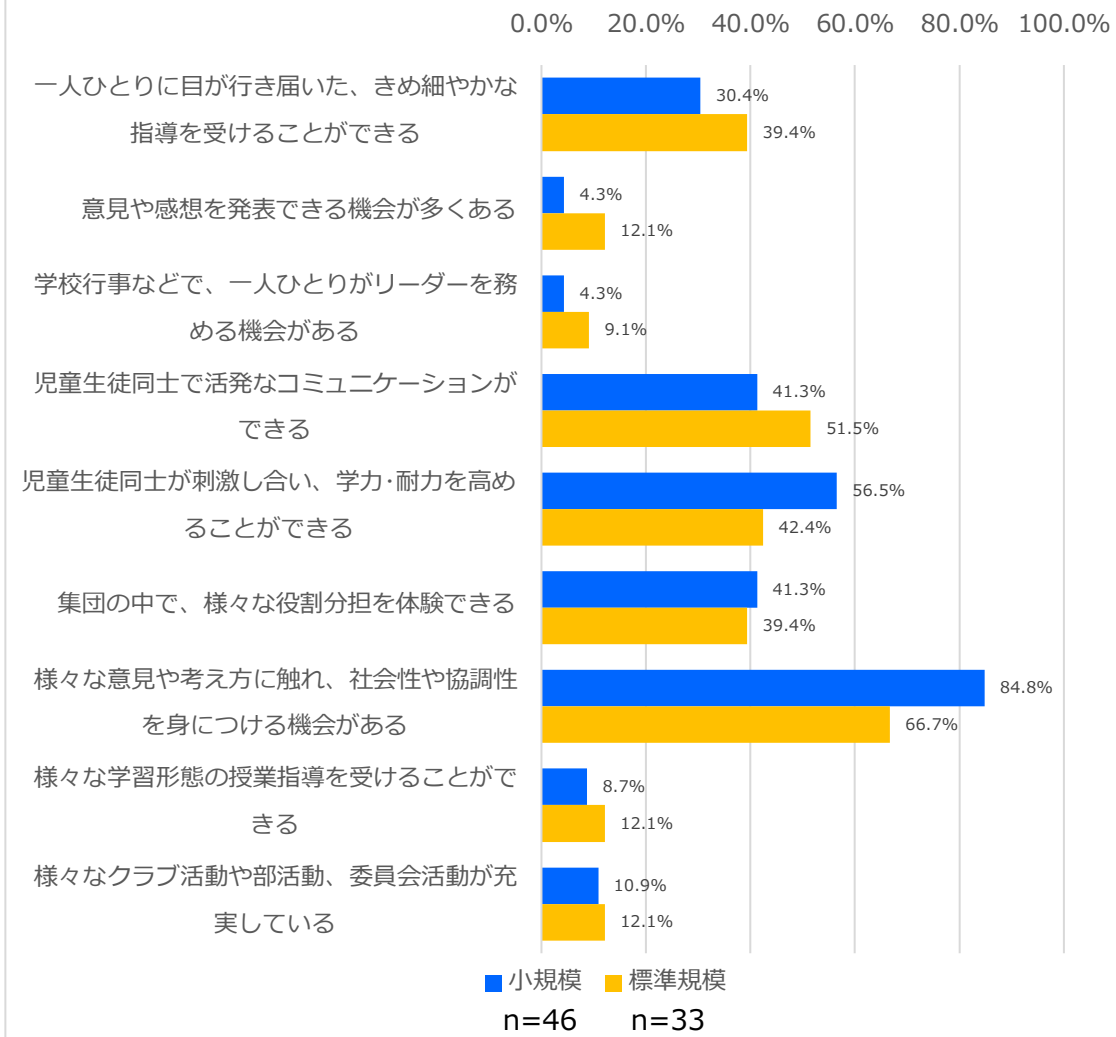
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



(4) 中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
一人ひとりに目が行き届いた、きめ細やかな指導を受けることができる	27	34.1%	14	13	0	0
意見や感想を発表できる機会が多くある	6	7.6%	2	4	0	0
学校行事などで、一人ひとりがリーダーを務める機会がある	5	6.3%	2	3	0	0
児童生徒同士で活発なコミュニケーションができる	36	45.6%	19	17	0	0
児童生徒同士が刺激し合い、学力・忍耐力を高めることできる	40	50.6%	26	14	0	0
集団の中で、様々な役割分担を体験できる	32	40.5%	19	13	0	0
様々な意見や考え方に触れ、社会性や協調性を身に付ける機会がある	61	77.2%	39	22	0	0
様々な学習形態の授業指導を受けることができる	8	10.1%	4	4	0	0
様々なクラブ活動や部活動、委員会活動が充実している	9	11.4%	5	4	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
回答者数	79	100.0%	46	33	0	0

学校教育に望むこと／中学校教職員



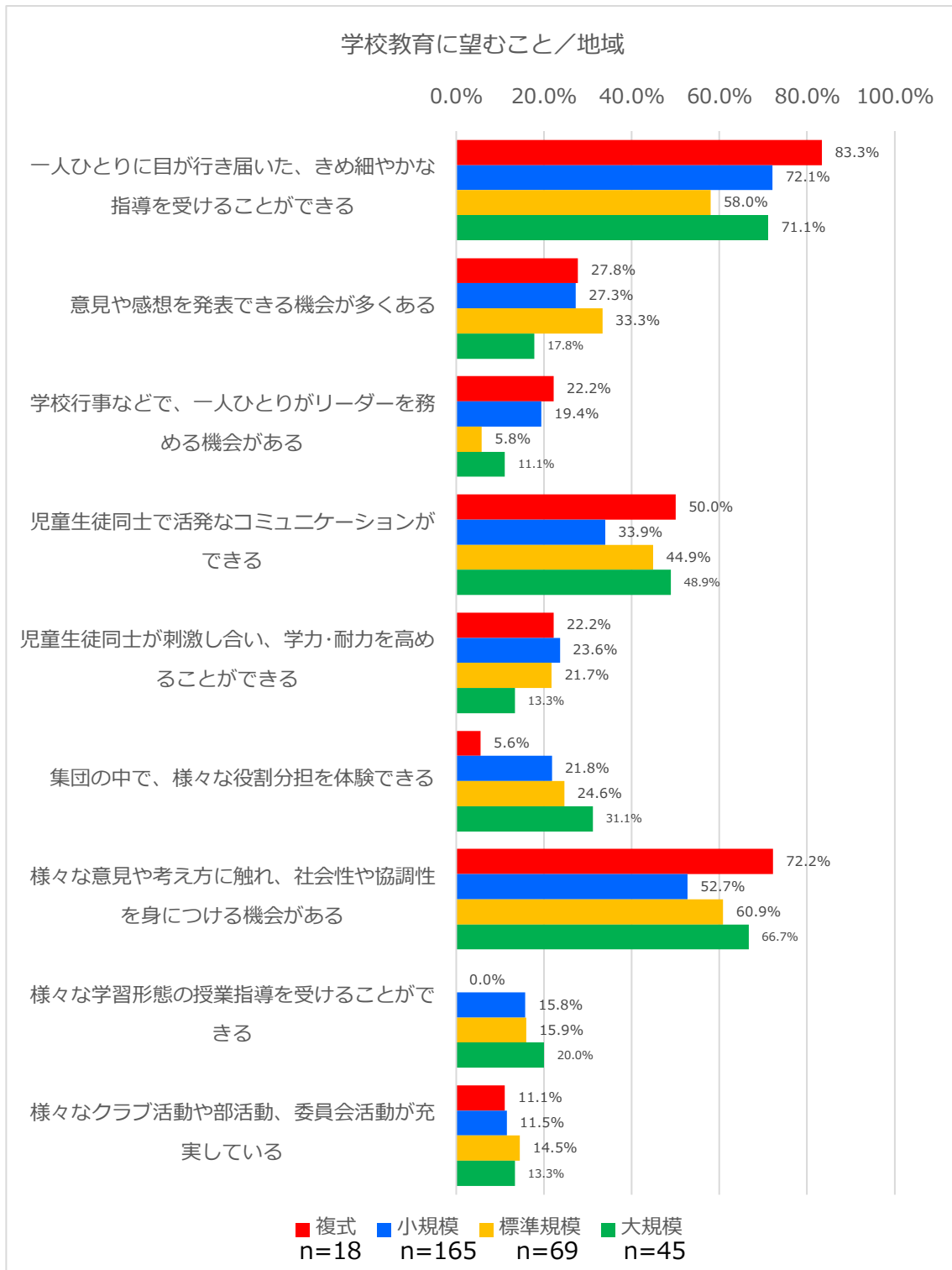
(5) 地域

回答	全体		内訳				
	回答者数	率	複式	小規模	標準規模	大規模	不明
一人ひとりに目が行き届いた、きめ細やかな指導を受けることができる	251	65.0%	15	119	40	32	45
意見や感想を発表できる機会が多くある	96	24.9%	5	45	23	8	15
学校行事などで、一人ひとりがリーダーを務める機会がある	54	14.0%	4	32	4	5	9
児童生徒同士で活発なコミュニケーションができる	161	41.7%	9	56	31	22	43
児童生徒同士が刺激し合い、学力・忍耐力を高めることができる	86	22.3%	4	39	15	6	22
集団の中で、様々な役割分担を体験できる	88	22.8%	1	36	17	14	20
様々な意見や考え方に触れ、社会性や協調性を身に付ける機会がある	227	58.8%	13	87	42	30	55
様々な学習形態の授業指導を受けることができる	68	17.6%	0	26	11	9	22
様々なクラブ活動や部活動、委員会活動が充実している	57	14.8%	2	19	10	6	20
その他	15	3.4%	0	7	5	1	2
回答者数	386	100.0%	18	165	69	45	89

(その他の意見)

- ・声の小さな子どもを大勢に埋もれさせるのではなく、大切に出来る場であってほしい (1)
- ・一人ひとりの個性を大切に潰さないこと (1)
- ・その地域の文化に触れ、大人や自分より小さい子の考えの違いや人とのふれあいにあたってのマナーを身につけてほしい (1)
- ・人材の育成ではなく、人格の育成を。心の通った教育で (1)
- ・教育者の工夫やアイデア次第で各選択肢の学習に繋げる事はできると思う。 (1)
- ・行かないことも含めた対応「リモート授業の出席あつかい」 (1)
- ・先生がゆとりをもって、教材研究をしっかりと授業に臨むこと (1)
- ・地域性や規模に応じた特色のある学校をつくってほしい (1)
- ・いじめなどなく、助け合えるような人に育てる (1)

次ページ下段に続く



(その他の意見)

- ・ 地域とのつながり (1)
- ・ 型にはめず、個性を生かせる教育 (1)
- ・ 自己肯定感を持つ (1)
- ・ 一人ひとりの願いが実現できる (1)
- ・ ルール、決まり、集団生活 (1)
- ・ 安心・安全に通学し学習できる環境 (1)

Q. 学校の適正規模化に対する不安や課題は何ですか。（3つまで選択可）

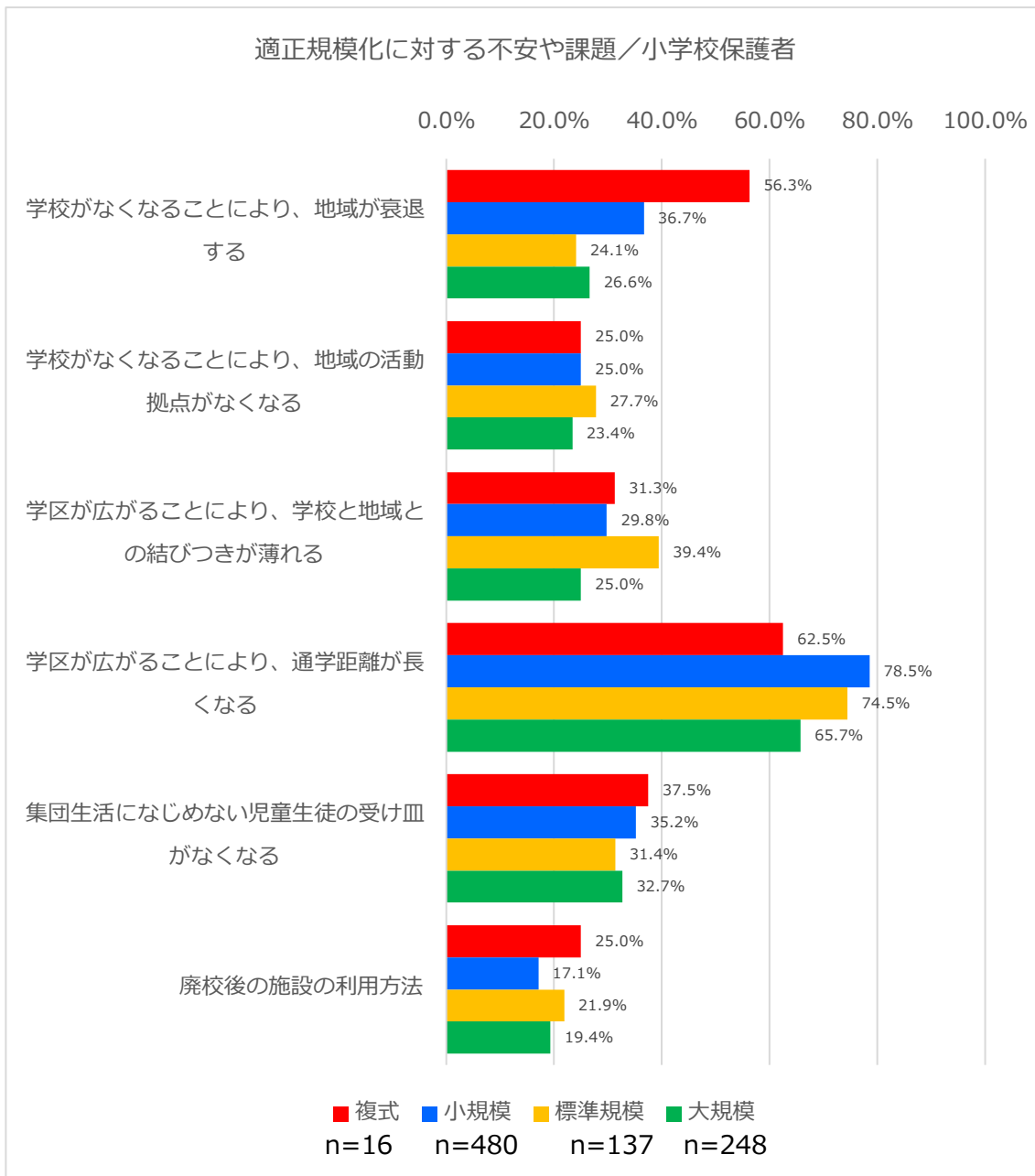
（1）小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
学校がなくなることにより、地域が衰退する	284	32.2%	9	176	33	66	0
学校がなくなることにより、地域の活動拠点がなくなる	220	25.0%	4	120	38	58	0
学区が広がることにより、学校と地域との結びつきが薄れる	264	30.0%	5	143	54	62	0
学区が広がることにより、通学距離が長くなる。	652	74.0%	10	377	102	163	0
集団生活になじめない児童生徒の受け皿がなくなる	299	33.9%	6	169	43	81	0
廃校後の施設の利用方法	164	18.6%	4	82	30	48	0
その他	30	29.5%	2	21	2	5	0
回答者数	881	100.0%	16	480	137	248	0

（その他の意見）

- ・通学距離が長くなることに伴うリスク（5）
- ・通学方法（2）
- ・教育の質の維持（2）
- ・具体的な情報がないと意見が出せない（2）
- ・人口減の対処療法でなく、原因療法を考えてください（1）
- ・市の財政のつけを小学校にまわしてはいけない（1）
- ・中規模な統廃合が行われてしまい、再び学校の適正規模化の問題が浮上すること（1）
- ・地域柄の違う子達と同じ学校になりたくない（1）
- ・学区が不安（4つ一緒になると）（1）
- ・少数意見に対しても納得できるような説明が必要。説明会やアンケートが形だけで行っている印象があり、地域課題として考えられていないように思う（1）
- ・1クラスの人数が増えることで指導を受ける生徒の集中力がなくなりそう（1）
- ・学校がなくなることによって移住者が減る（1）
- ・必ずしも児童数が増えることで多様性が生まれ学びが広がるとは限らない。より画一的な物の見方や基準で統率を図る必要が出てくる（1）
- ・先生方の過重労働が今よりひどくならないか（1）
- ・土地の価値が下がる（1）
- ・しないことによる費用負担の増加（1）

次ページ下段に続く



(その他の意見)

- ・ 合併どころより、もっと過ごしやすい空間作りや、先生が生徒を見る人数。目の行き届く環境作りに力を入れてほしい (1)
- ・ そもそも適正規模が今の時代に合っているのか見直してほしい。一人ひとりを大切に教育していかないと、若い人達はどんどん玉野市から離れて行くと思う。まず魅力ある玉野市にならないといけないと思う (1)
- ・ そもそも田舎はオワコン。端っこから衰退する摂理 (1)
- ・ 子どもたちにとって何のメリットもない (1)
- ・ クラブ活動の在り方 (1)
- ・ 放課後の時間の過ごし方 (1)

(2) 中学校保護者

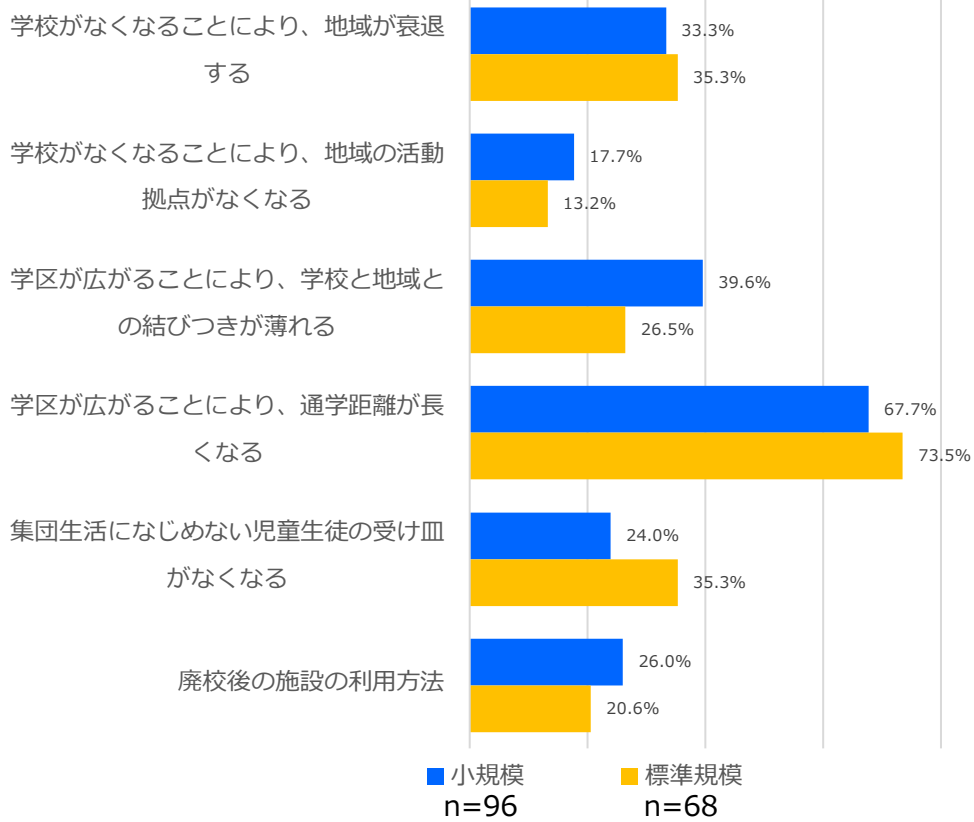
回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
学校がなくなることにより、地域が衰退する	56	34.1%	32	24	0	0
学校がなくなることにより、地域の活動拠点がなくなる	26	15.9%	17	9	0	0
学区が広がることにより、学校と地域との結びつきが薄れる	56	34.1%	38	18	0	0
学区が広がることにより、通学距離が長くなる。	115	70.1%	65	50	0	0
集団生活になじめない児童生徒の受け皿がなくなる	47	28.7%	23	24	0	0
廃校後の施設の利用方法	39	23.8%	25	14	0	0
その他	3	1.8%	2	1	0	0
回答者数	164	100.0%	96	68	0	0

(その他の意見)

- ・現状の固定化された人間関係の方が不安 (1)
- ・質の低い教員がたくさんの児童を教育できるとは思えず、ただただ児童教育への不安しかない (1)
- ・土地の価値が下がる (1)

適正規模化に対する不安や課題／小学校保護者

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



(3) 小学校教職員

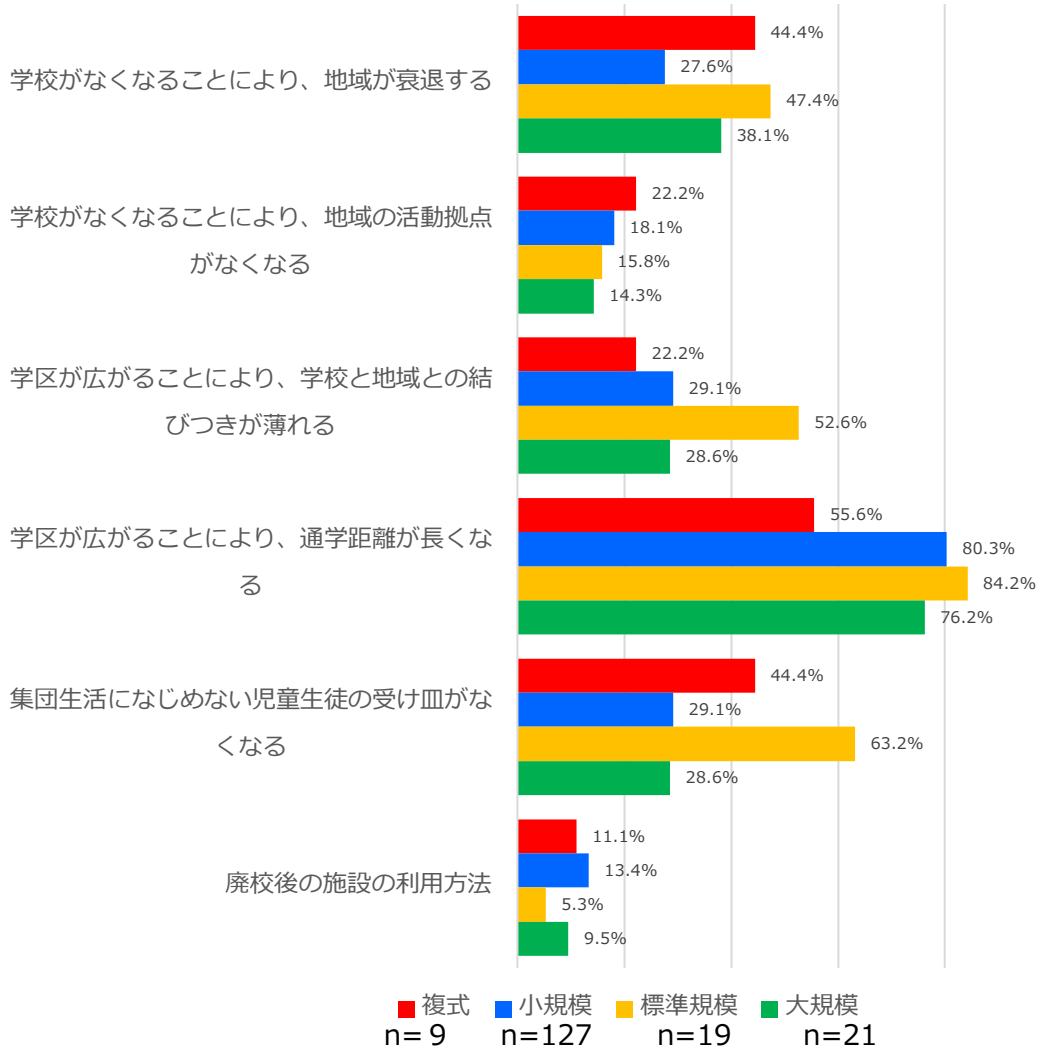
回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
学校がなくなることにより、地域が衰退する	56	31.8%	4	35	9	8	0
学校がなくなることにより、地域の活動拠点がなくなる	31	17.6%	2	23	3	3	0
学区が広がることにより、学校と地域との結びつきが薄れる	55	31.3%	2	37	10	6	0
学区が広がることにより、通学距離が長くなる。	139	79.0%	5	102	16	16	0
集団生活になじめない児童生徒の受け皿がなくなる	59	33.5%	4	37	12	6	0
廃校後の施設の利用方法	21	11.9%	1	17	1	2	0
その他	2	1.1%	0	1	0	1	0
回答者数	176	100.0%	9	127	19	21	0

(その他の意見)

- ・個に応じた支援が受けられなくなる (1)
- ・地域も子どもも職員もよく知らないままに、適正規模化が進められること (1)

適正規模化に対する不安や課題／小学校教職員

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



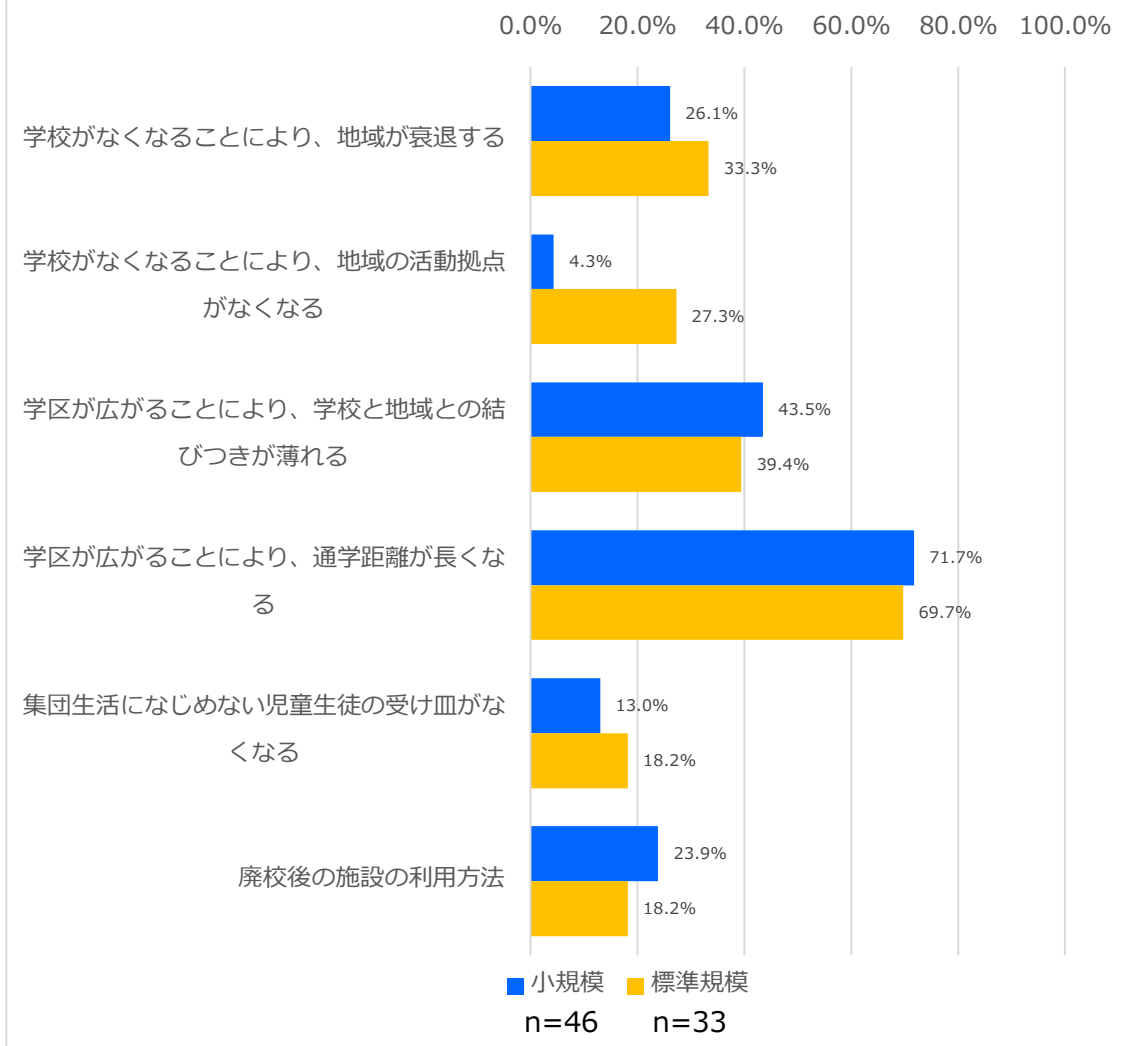
(3) 中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
学校がなくなることにより、地域が衰退する	23	29.1%	12	11	0	0
学校がなくなることにより、地域の活動拠点がなくなる	11	13.9%	2	9	0	0
学区が広がることにより、学校と地域との結びつきが薄れる	33	41.8%	20	13	0	0
学区が広がることにより、通学距離が長くなる。	56	70.9%	33	23	0	0
集団生活になじめない児童生徒の受け皿がなくなる	12	15.2%	6	6	0	0
廃校後の施設の利用方法	17	21.5%	11	6	0	0
その他	3	3.8%	1	2	0	0
合計	79	100.0%	46	33	0	0

(その他の意見)

- ・学区制を続けるのかどうか(無理が出てくる) (1)
- ・3～4クラスはあって欲しい (1)
- ・学校の児童、生徒の人数が少ないと、本来、幼少期に獲得し得る社会性が不十分になり、それぞれの時期の発達ができないことこそ、一生を考えると大きな損失だ (1)

適正規模化に対する不安や課題／中学校教職員



(4) 地域

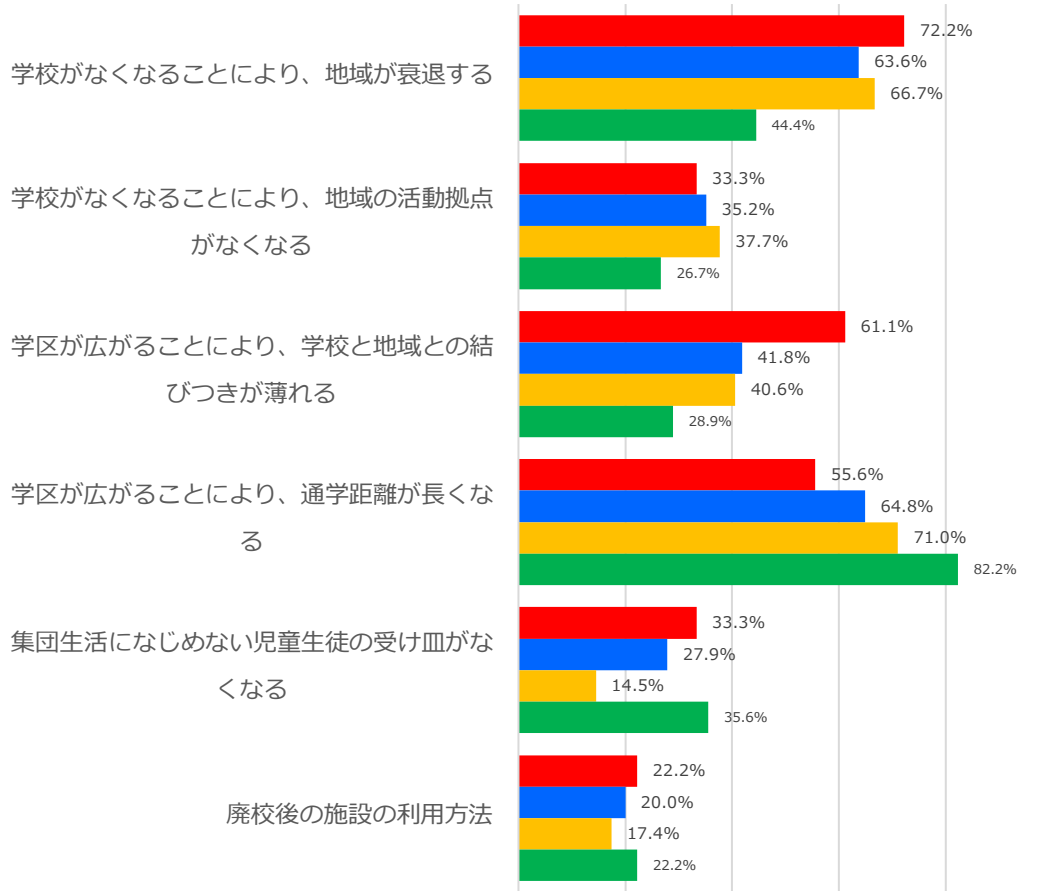
回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	不明
学校がなくなることにより、地域が衰退する	227	58.8%	13	105	46	20	43
学校がなくなることにより、地域の活動拠点がなくなる	124	32.1%	6	58	26	12	22
学区が広がることにより、学校と地域との結びつきが薄れる	154	39.9%	11	69	28	13	33
学区が広がることにより、通学距離が長くなる。	270	69.9%	10	107	49	37	67
集団生活になじめない児童生徒の受け皿がなくなる	105	27.2%	6	46	10	16	27
廃校後の施設の利用方法	74	19.2%	4	33	12	10	15
その他	18	4.7%	0	9	5	0	4
回答者数	386	100.0%	18	165	69	45	89

(その他の意見)

- ・適正規模化によりどう変わるのか説明が足りない分からないので賛成も反対もできない (3)
- ・知らない人が多すぎるのもっと周知してほしい (1)
- ・子どもや保護者の負担が増える。地域を挙げて子どもを育てようという意識も薄れる (1)
- ・大人数による関係性の薄れ (同級生なのに顔がわからない) (1)
- ・今学校に通っている保護者も大事だが、保育園、幼稚園の子の保護者やもっと若い世代の人の意見を重要視したらどうかと不安を感じることもある (1)
- ・今は問題が起きても、対処できる距離感だが広がると対処できない事が増えそう (1)
- ・学校をなくすというのは大人の事情であり、最大のエゴであると思う。学校というものは子どもたちのためにあるという事を立ち返る必要がある (1)
- ・現在の小学校区に学校がなくなること (1)
- ・高齢者が遠い学校までボランティアに行くのは無理 (1)
- ・学区が広がることにより、近くに住んでいる友達との交流ばかりになり、地区ごとの派閥ができることが予想される (1)
- ・統合される学校と、廃校になる学校では受け止め方が全くちがうと思う。学区毎の集計をしてもほしい。また、これまで集団登校出来ていた支援学級の子が、バスに乗って遠くの学校に行くのは大丈夫か (1)
- ・地域説明会やアンケート、検討委員会が形ばかりで、維持費を重視する議員さん達より議会の否決で淡々と決まってしまうこと。本当の意味での適正化は小規模潰しではない (1)
- ・災害時の大人数での避難 コロナのようなウイルスによる登校規制などによる学業の縮小 (1)
- ・地元・地域で慣れ親しむ事以上の集団生活が必要 (1)
- ・統廃合を進めないと玉野市の衰退が加速する (1)
- ・早く実行してほしい (1)

適正規模化に対する不安や課題／地域

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

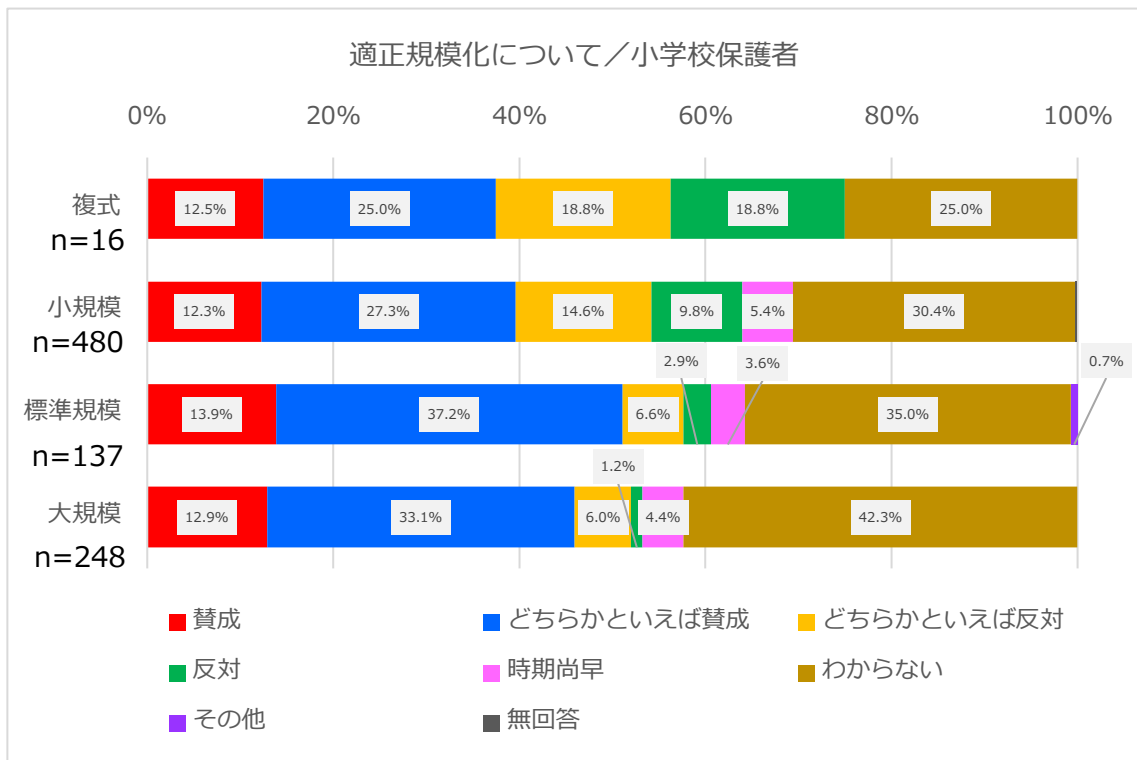


■ 複式 n=18 ■ 小規模 n=165 ■ 標準規模 n=69 ■ 大規模 n=45

Q. 適正規模化について

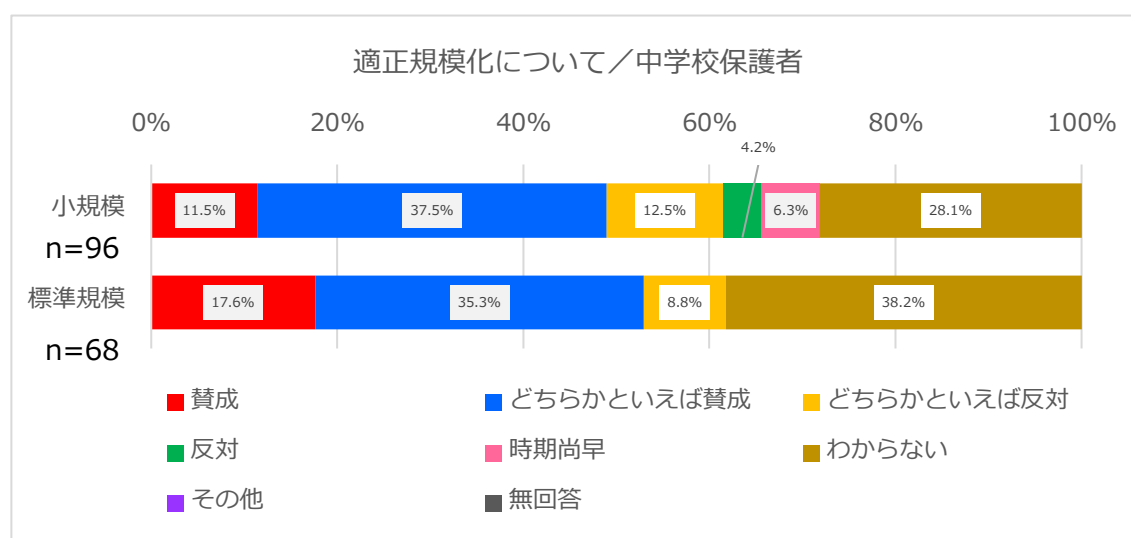
(1) 小学校保護者

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
賛成	112	12.7%	2	59	19	32	0
どちらかといえば賛成	268	30.4%	4	131	51	82	0
どちらかといえば反対	97	11.0%	3	70	9	15	0
反対	57	6.5%	3	47	4	3	0
時期尚早	42	4.8%	0	26	5	11	0
わからない	303	34.4%	4	146	48	105	0
その他	1	0.1%	0	0	1	0	0
無回答	1	0.1%	0	1	0	0	0
合計	881	100.0%	16	480	137	248	0



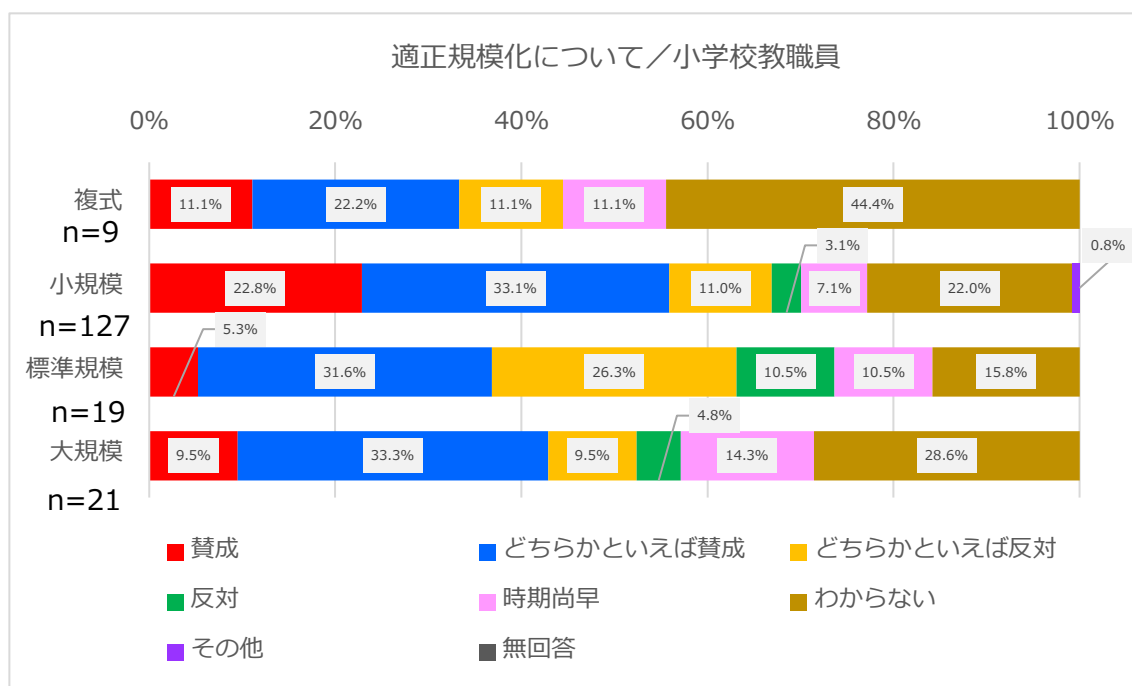
(2) 中学校保護者

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
賛成	23	14.0%	11	12	0	0
どちらかといえば 賛成	60	36.6%	36	24	0	0
どちらかといえば 反対	18	11.0%	12	6		
反対	4	2.4%	4	0	0	0
時期尚早	6	3.7%	6	0	0	0
わからない	53	32.3%	27	26		
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0
合計	164	100.0%	96	68	0	0



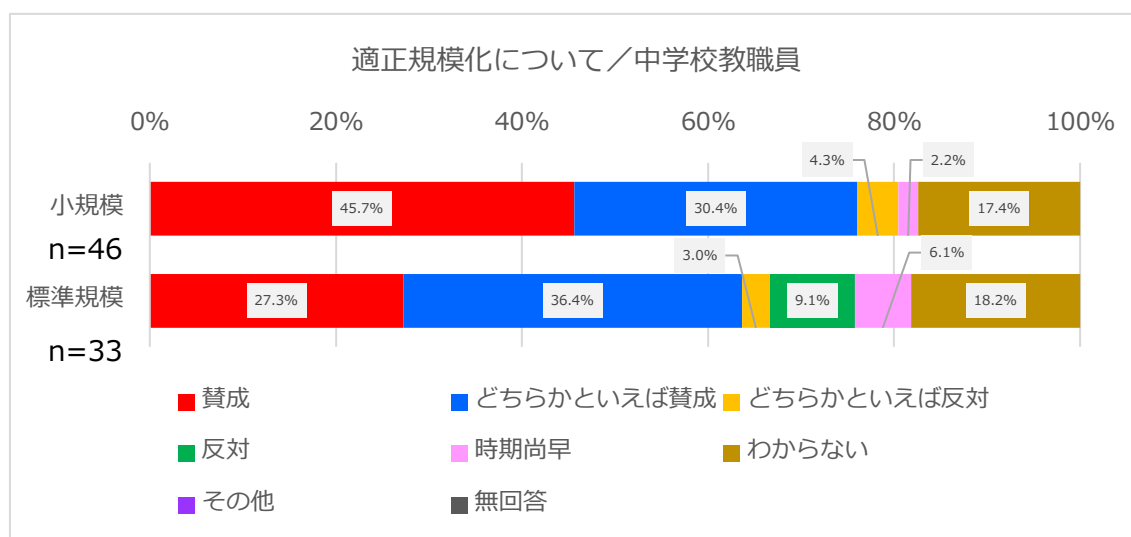
(3) 小学校教職員

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
賛成	33	18.8%	1	29	1	2	0
どちらかといえば賛成	57	32.4%	2	42	6	7	0
どちらかといえば反対	22	12.5%	1	14	5	2	0
反対	7	4.0%	0	4	2	1	0
時期尚早	15	8.5%	1	9	2	3	0
わからない	41	23.3%	4	28	3	6	0
その他	1	0.6%	0	1	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0	0
合計	176	100.0%	9	127	19	21	0



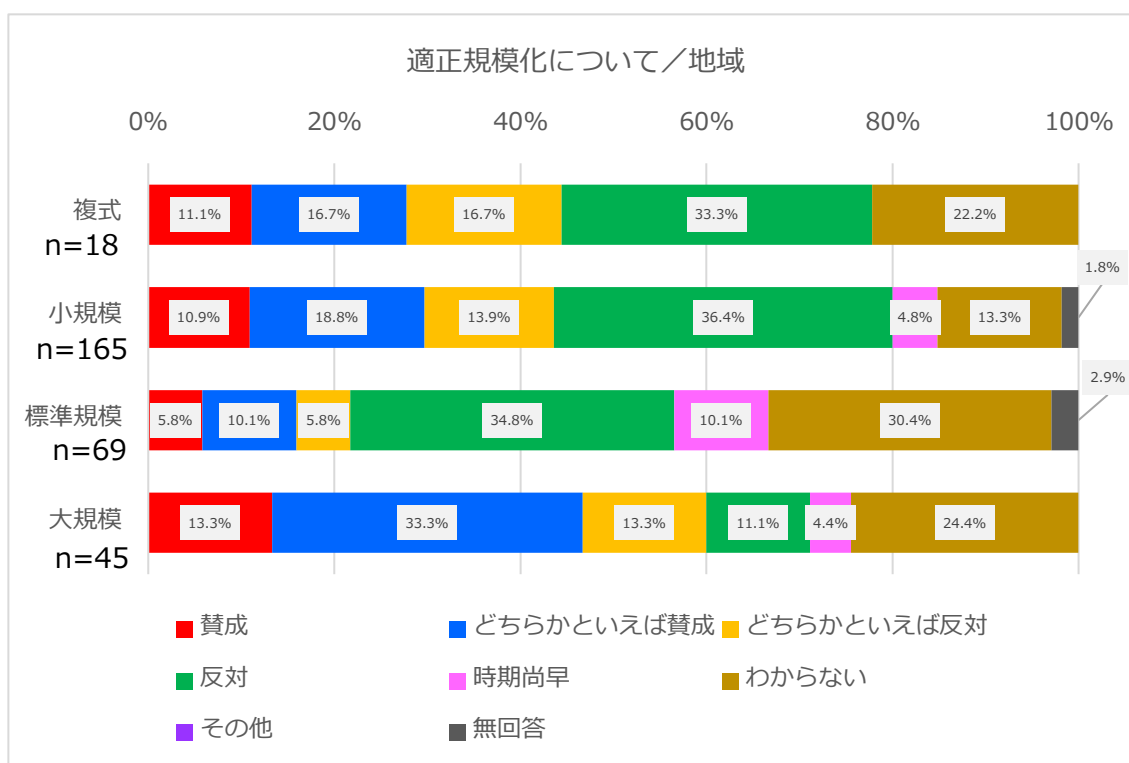
(4) 中学校教職員

回答	全体		内訳			
	回答者数	割合	小規模 (玉・日比・山田・ 八浜・東児)	標準規模 (宇野・荘内)	その他	無回答
賛成	30	38.0%	21	9	0	0
どちらかといえば 賛成	26	32.9%	14	12	0	0
どちらかといえば 反対	3	3.8%	2	1	0	0
反対	3	3.8%	0	3	0	0
時期尚早	3	3.8%	1	2	0	0
わからない	14	17.7%	8	6	0	0
その他	0	0.0%	0	0	0	0
無回答	0	0.0%	0	0	0	0
合計	79	100.0%	46	33	0	0



(5) 地域

回答	全体		内訳				
	回答者数	割合	複式	小規模	標準規模	大規模	その他
賛成	41	10.6%	2	18	4	6	11
どちらかといえば賛成	75	19.4%	3	31	7	15	19
どちらかといえば反対	46	11.9%	3	23	4	6	10
反対	108	28.0%	6	60	24	5	13
時期尚早	19	4.9%	0	8	7	2	2
わからない	88	22.8%	4	22	21	11	30
その他	0	0.0%	0	0	0	0	0
無回答	9	2.3%	0	3	2	0	4
合計	386	100.0%	18	165	69	45	89



第4章 アンケート（当初調査分）自由記述回答

- 本章には、アンケート調査結果のうち、自由記述で回答いただいた内容を掲載しています。
(注) 原則として回答いただいた内容（誤字・脱字と思われるもの含む）をそのまま掲載していますが、一部下記の編集を行っています。
 - ア 個人が特定される回答については、個人が特定されない内容に編集をしています。
 - イ 自書している内容を読み取れなかった文字等については「●」に置き換えています。

保護者 Q.13 「学校の適正規模・適正配置について、みなさまのご意見をお聞かせください」

(小学校：複式・小規模校)

- ・「児童生徒数の推移」からして、将来、右肩上がりの展望はないと判断しました。短期的視点で、児童生徒数、学級数を確保するために小規模な統廃合をしても数年後にはまた同じ問題に直面するでしょう。通学距離（時間）に拘泥しすぎず、スクールバス等の代替手段も柔軟に取り入れ、長期的、将来的観点から思い切った統廃合を検討して頂きたいです。
- ・通う学校を自由に選択できるようにすると、学校によって片寄りが出てしまい、人数の少ない学校も出てくると思う。その事に対する配慮が必要になってくるかと思えます。・人数の多い学校と少ない学校の不公平がないようにしていただきたいと思えます。
- ・中学校では適度に競争して学力を高められるようにある程度の生徒数が維持できるとありがたいです。人数だけが問題ではないと思えますが・・・・築港小の2年生は女子が5人しかいないので、人間関係が固定しないか心配しています。その分他学年と仲が良さそうなのはありがたいです。
- ・1学年あたりの学級数は、2学級以上であるのが望ましいと思っています。でもあまり多すぎずで、(5学級以上になると多いかなと思えます。)ただ、通学にあまり時間がかかってしまう様なら、安全の面などが心配なので、1学級でも良いのかなと思えます。一番は子供の安全かと思えます。
- ・1クラス15~20人で先生の目が届く事。1学年2クラスで、どうしても苦手な子がいるなら、クラスを分ける環境にある事。個人個人が勉強に集中する柔軟な環境にある事(できる範囲で)可能ならば、バス通学もありだと思えます。
- ・1クラスが15人程で少なすぎると思う。だからといって統合して通学距離や時間が長くなるのは親としても不安です。スクールバスなどがあれば良いなと思えますが、難しいでしょうね・・・
- ・1クラスの人数が多くなりすぎると、一人一人に指導が行き届かなくなるのではないかとと思うので、1クラスの人数は今のままが良いが、1学年あたりの学級数は増えた方が良いと思う。ただ、通学距離が遠すぎるのは子供の負担が大きいのので、考えてもらいたい。
- ・いきなり集約は、できないと思うので、まず少ない地域を統合して行ってほしい。
- ・今、子供が通う大崎小学校はとてもよい環境だと思います。13名と少なく思われるかもしれませんが、先生が一人一人に目をくばることが出来、安心してまかせることが出来ます。田畑が広がる地域なので、通学路に危険箇所が多かったり、通学距離が長くなったりと不安なことはありますが、6年生まで学童に通う事が出来るのでありがたく思っております。

- 大きくなりすぎるより、小さくても目が届き易い規模で互いに思いやれる方が親としては安心できます。それでも教員の方にとっては仕事量が多すぎるのではないかと思います。むしろ教員の方を増やし負担を軽くしてあげてほしい。
- 学業、スポーツ、生活 文化それぞれ得意不得いがあるので小さい時からより好きなとくいな事をより多く学べるとより将来への可能性や選択支が増える気がします。
- 学級数はある程度多い方が望ましいが、通学距離が遠くなるのは困る。(安全面の観点からも) 近隣のあまり評判が良くない地域の学校と統合されても全くうれしくない。それなら自分で選択できるようにしてほしいです。
- 学区の見直しにあたって、何に最も重点を置くのかで考えなのではなく、一つ一つの問題に対し、明確な対処ができる状態であってほしいと思います。
- 学校が近く、バスなしで通えるようにしてほしい。高校生のためのバスを充実させてほしい。学校を統合しないでほしい。
- 学校数が少なすぎると思っているので、市内の学校数を減らす事はしかたないと思います。その為登校時間が(距離が)長くなってしまいが、基本は各家庭から 30 分未満となる事が良いと思う。しかし、それが実現出来ない場合はスクールバス等があればどうかと思う。
- 学校の工事などをする前に今後の方針を早く決め適切に工事をしてもらいたいです。建物への不満はあっても、今後どれくらい使うのか分からない校舎に対し、不満を出していいののかもわからない状態です。どう決めても不満は必ず出るのと思うので早く決めてほしいです。
- 学校の適正規模・適正配置について賛成です。通学について子どもの安全を考慮し、遠くなる場合はスクールバスの導入をお願いします。(他の市町村はすでに導入済みの方です。)
- 希望としては小学校は 1 学年 50 人-100 人程度、学級は 2-3 学級あるほうが良いと思う。小規模学校でも良いのですが、中学校は 2 学校が合同になると、活動が広がり良いと思う。
- 健全に勉強、成長するために、専門的に検当し、それが必要であるなら、特に異議はありません。
- 声の大きな少数の意見を聞かずに適正規模にしてください。鉾立小学校の耐震化も無意味です。地域の年寄りの思い出のためにお金をかけても票は増えません。とにかく早急な適正規模の実現を望んでいます。
- 後閑小は人数が少ないため、他の学校と合併して、友達のを広げて欲しい。しかし、多すぎると勉強面でついていけなくなるかもしれないので 10 人程度を希望。合併した場合、距離が遠い人は学校専用バスでの通学を希望します。
- 子どもが減る中で、適正規模は重要ですが、小さい規模だからの良さもあります。たくさん問題、課題はありますが、柔軟に考え協力し合って、その地域の良さを活かしながら対応してほしいと思います。
- 子供の人数が減少している為、近隣の学校と合併していく必要があるのは感じていたが、通学距離が遠くなる、地域での子育て、つながりが希薄になるのではないかと感じる
- これからの時代、地域によってはどんどん生徒数が少なくなってくると思います。中途半端な合併をするのは反対です。
- 今後、今以上に児童数が少なくなるようなら合併したほうがよいと思う。
- 今後、学校が統廃合される事は賛同しますが、環境が大きく変わってしまう子供達に充分配慮していただきますよう、よろしくをお願いします。

- ・今後、生徒数が少なくなるにつれ、男女比も極端に言えばどちらかが0になり、異性との関わりなく成長していくのは問題だと思う。その為、小中一貫ではなく、小学校同士を統合し、1学年の人数を増やす事が適切だと思う。
- ・児童・生徒数の減少に伴う学校の合併は仕方のないことだと思います。今の小学校は人数がとて少ないのでもっと児童数の多い学校に子どもたちを通学させる方が子どもたちもより多くの人とふれ合い、成長できると思います。ただ、うちのように1人親家庭で、子どもの送迎が遠方に必要になったとき、両親のどちらかが送迎される環境であればよいのですが、1人親家庭で他にあまり頼ることのできない家庭に子どものためとはいえ負担となり仕事にも支障をきたしてしまうので、送迎バス等、子どもたちを安心して通学させられる環境をととのえていただければと思います。よろしく願いいたします。
- ・集団生活という意味での適正規模はあると思うが先生方の仕事量や児童への対応など目がいきとどいているか、現場の先生へ確認してみてもどうでしょうか。先生方のキャパシティを超えての学区見直しではあまり良くないのではと思います。
- ・小学校に入学する時には1学年1学級は少ないし、どうかと思っていたが、先生の目もゆきとどき、他学年と縦のつながりもでき、学校全体で仲良くなれるので、よかったと思っている。中学校の人数が少なすぎるため、部活の選択肢が無いのは残念。
- ・小学校は1クラスであっても、中学校では2クラスにしてほしいと思う。目の行き届く(いじめのない)指導を望む。
- ・少子化で子どもの数が少ないのは仕方ないかもしれないが、クラス替えがあった母親からするとクラス替えのドキドキや楽しみを味わせてあげたいと思う。1クラスだけなのもクラスの絆は深まるとは思いますが・・・
- ・少子化と住宅事情によって、学校ごとに学級数・生徒数が変わってきているので、学校を統合しても均等にクラス数をキープしてほしいです。スクールバスや登下校時の特別バスの運行等でカバーしてもらえると助かります。
- ・少子化なので、なるようにしかならない
- ・少子化なので統合せざる得ないと思う。早く統合してほしい。
- ・少人数学級もまとまりやすく、協力し合う力がつくと思いますが、言葉でのコミュニケーションの重要性が再確認されるこの時代だからこそ、大人、子ども全てが大勢いるところで教育をうけるべきだと考える。
- ・少なすぎず、多すぎず、児童1人1人に目の届く範囲でしてほしいです。その中で、友達との付き合い方を経験しながら学んで成長していったらなと思います。よろしく願いします。
- ・すでに自分の子供が通学している(これから通学予定)の学校が他校と合併して閉校するという話があちこちで聞かれています。そのことで地域の方も不安を感じられています。裏面には玉野市HP上で「玉野市立学校適正規模化計画(草案)」を公開しているとありますが、見ることもできない方もいらっしゃる。「広報たまの」を利用してきちんと市民(保護者以外)にも説明をしていただきたいです。現状として説明不足だと思いました。
- ・生徒数が多い方がいいと思うが、通学に負担がかかるのは好ましくない。
- ・生徒の少なすぎる学校は合併も良いのかなと思う。スポーツ(体育)や音楽(合奏など)支障が出そう。授業内容によっては合同にするのもよさそう。(移動はスクールバスで)
- ・タブレットでオンライン授業にし、週2位で、登校、体育をすればいいと思う。
- ・玉野市内にフリースクールの配置も考えていただきたいです。

- ・地域の方々のおかげで学校が成り立っている部分もありますし、通学の距離が遠くなると送りむかえの必要も出てくるかと思えます。あと、先生が1人1人に目が行き届く指導ができるのか、集団になじめない子の受け皿もしっかりしていただけるのかというのも不安です。支援学級に関しては、生徒9人に対して先生1人というのはかなりきびしいのではないかと考えています。いろんなタイプの子がいます。高学年になってもいろいろな理由で支援が必要な子もいるので、せめて支援員の先生を増やしていただきたいです。
- ・中学校が統一されて、人数が多くなることを望みます。しかし、1時間の通学時間は適当とは思えません。1時間、自転車で通学して勉強、部活などができるとは思えないからです。今の通学範囲でもすべての生徒が集中できてないのに、通学に疲れたらますますできないと思います。シーバスなども利用して、スクールバスをたくさん走らせて欲しいです。
- ・通学が長い距離にならないようにしてほしい。1学級の人数が30人以上にならないようにしてほしい。
- ・通学距離が長くなる児童のために、スクールバスなどの整備がなされたらいいと思います。
- ・通学距離の基準、小学校4km以内、真夏の暑い中、実際に歩いてみたんでしょうか？中学校6km以内、大雨の中、実際に自転車で5.9km走ってみたんでしょうか？年々異常気象が増えています。以前の事例は参考にならないと思います。通学距離が長くなり、通学中に事故や事件にあったらどうするんですか？「小中学校が近いから」と今の土地に家を建てたんです。まだ築5年です。
- ・通学時間が長くなれば事故にあうリスク、親の不安が高くなる 子どもが楽しく安全に通える学校であればクラス数や人数なんて関係ないじゃないかと思う。人を育てるのは人で環境はその次だと思う。
- ・通学時間が長くなれば事故にあうリスク、親の不安が高くなる 子どもが楽しく安全に通える学校であればクラス数や人数なんて関係ないじゃないかと思う。人を育てるのは人で環境はその次だと思う。周りの大人がしっかりしなくては！
- ・通学に1時間もかけていたら、往復2時間。1日のうち2時間もとられると、学校、習い事、宿題、フロ、ごはんを考えると寝不足になる。バスなどを使って、時間の調整が必要。複式学級にすると勉強がややこしくなりそう。
- ・通学に負担がかからず、安全な登下校ができることを望みます。
- ・適正規模とする1学年のクラス数と人数はどのくらいの数なんでしょうか？確かに鉾立小も東児中も少なすぎるのでしょうか、個々に目が行き渡るメリットは親としてはとてもありがたいと思っています。
- ・できるだけ、住んでいる地域の学校に通わせたい。しかし、今の規模では、学校活動がしにくい状況もあるため、通える範囲での学区の見直しを行ってほしい。
- ・できれば1学年複数クラスというのが子どもの成長を考えると理想ですが、そのために複数の学区を統合するのは反対です。そうでなくても、通学に40分くらい時間がかかりその道中が心配なので、統合によりこれ以上通学距離が長くなるのは困ります。今考えるべきなのは、学校の統合ではなく、市内のこどもを増やすことだと思います。少子化対策や岡山市倉敷市・都市圏からの移住を増やすための施策が必要なのは・・・。学校が少なかったり遠かったりすると、子育て家族にはえらばれません。玉野市は総合的に子育てに向けた、住みよい市なので、よろしくお願い致します。
- ・登校距離が長くなるなら通学バスなどを準備して欲しい。登校で疲れて、勉強、体育等しんどくなると思います。
- ・統合により、通学距離が伸び、自転車等を使わないといけなくなると、事故等が非常に心配。安全に通学出来る事が優先されるべきだと思います。

- ・どうしても地域の方との説明会だと地域の意見の言いたい方がずっと話しているイメージが強く、通うことになる子供の保護者はその圧に押され言いたい事が言えません。保護者だけを対象とした説明会を開いて欲しいです。意外と保護者の中には早く合併して欲しいと思っている方もいます。
- ・なぜこんなにも子供が少ないのに学校が多いのかとても不思議です。子供のことを一番に考えると学校の適正配置を行うことに何をためらうのか、なぜ地域の老人の意見ばかり気にしているのか、そもそも子育てをしている親の意見を一番に考えてもらわないと、子供達に明るい未来はないと思います。私達の声が一番に考えて頂けるとありがたいです。
- ・人数が少なく中学の部活動が減少していることも気になっています。
- ・人数が増えたらいいなと思う
- ・日比小の場合、通学危険箇所があり毎日交通当番を保護者がしているのですが家庭数が少なく現在 1 か月に 1 回くらいのペースで当番がまわってきます。10 年後もおそらく危険箇所はそのままだと思います。今より児童数が減り、かなりの負担になります。毎日子どもたちを安全に通学させるためにも適正化は必要だと思います。適正化草案のプラン A - B の場合、日比小が残ることになりますがその場合は通学危険箇所についても考慮して検討していただきたいです。
- ・プリントやアンケートではなく、学校での説明会等は開催しないのですか。地域説明会等はあるが、参加できる人も少なく、ただ開催しただけで、幅広い意見が出るとは思わない。
- ・保護者の負担が増えないことと安心安全な対策ができてい上で改変していただきたいです。
- ・銚立区～山田区（後閑含む）を数年後には 1 つの小学校にするという話があると聞きました。経済的には良いのかもかもしれませんが、通学に困難を要する子も出る、地域の協力性が不十分になるような気がします。
- ・利便性が下がることはしかたがない上で学区見直し、統合するメリットを明確に行政として考えてほしい。市民の意見集収は必要だがお互いの時間を有効に使えるように無駄のないように判断してほしい。
- ・一度に動かすことは難しいと思うので、小規模な地域をまず統合して行ってほしいです。
- ・各学校が少ない学級よりかはある程度の規模感を持つての統合を希望する。
- ・学級の人数が少なく、人間関係が固定されると、ライバル心や競いあうような経験ができないと思います。高校でいきなり学級数が増えて、戸惑いがあるかもしれないと少し心配します。授業の中でグループディスカッションなど少人数になるとできなくなると思われるので残念です。
- ・学級は増えてほしいですが、一クラスの人数は 20 人程の方が先生の目が行き届いていいと思います。
- ・学級数が増えるのは賛成だが、1 クラスの人数を 20 人以下にしてひとり一人をじっくり見られる教室環境にしてほしい。
- ・学校スケールの大小は各家庭や児童によって向き不向きがあると思うので、学区外への通学を認めたり、適応指導教室をもう少し増やすなどして多様性に対応してもらえる地域であってほしいです。
- ・学校の統合は已む無しだと思うが、スクールバスを運行するなど、適切な通学時間を確保して頂きたい。
- ・学年の学級数は適正規模の数ぐらいが適正かなと思いました。

- ・規模にかかわらず、子どもの自発性が優先される教育環境を望みます。生徒数が多くなることで、必要以上に規則を守らせることに労力が割かれ、子どもが萎縮し、自発性が削がれることがあれば本末転倒だからです。
- ・距離が遠い場合は通学バス等の配慮をいただくと皆さん助かると思います。
- ・玉野市はそもそも学校数が少なすぎる。一番に玉野市への子育て世帯の誘致を目指してほしい。これ以上学校数が減少し、教育の質が低下することは、若い世代が玉野市から離れ、市が衰退していくことに他ならないことをよく考えてほしい。
- ・玉野市は小学校が多すぎると思うが、距離的には仕方ないと思う
- ・現在少数人数で勉強しています、落ち着いた環境で親として安心して通わせています、予算の関係や、大人の事情はあると思いますが統合しか道がないとするのなら魅力ある統合をお願いしたいです例えばクラス人数を少なくするとか…あと、通学距離ですが、昔と違い自動車の数、不審者、野生動物など増えています。玉野市独自で考えて欲しいです
- ・現在理由に応じて学級を選択できるようになっているため校区などは現在と変わっても大きく問題ないように思う。各学校の耐震化など進めてもらっているが、早く適正規模・配置を決め、必要な校舎に必要な改修ができるようにと思う。
- ・現状維持を希望します。
- ・今すぐ統廃合してほしい
- ・今のままでいい
- ・今のままでいいと思う。
- ・今のままではいけないと思う。クラスの子供が13人は少ないと思う。
- ・今のままで良いです。玉原中学校と日比中学校の合併は嫌です。
- ・今後の玉野市を大きく動かす問題だと思えます。今のまま計画が進んでいくのは大変危険だと思います。これから、小学校中学校に進学する子供の保護者、これから玉野市で家庭を築いていく人達、地域、全ての玉野市民がこの計画の実態を知ることができるよう、発信してほしいと思えます。広報たまのみに小さく載せるだけでは、若い方達はほぼ見ません。各小中学校、保育園幼稚園で説明会を行うなどして、周知徹底を図るべきだと思います。そして、議論を重ねて慎重に進めて欲しいと思えます。今のままでは、強引なやり方にしか思えず、賛成はできません。
- ・山田中学校区に関わらず、後閑小学校はすぐにでも合併をすべき。田井小学校、宇野中学の方が交通の便利もいいし、東兎中学は遠すぎる。小学校の間はスクールバスを使用して。少ない人数だから小さいバスでも対応出来るはずなので、1年でも早く合併を。
- ・子どもが減少しているので適正規模・適正配置は仕方ないのかなと思う
- ・子どもが少ない分、担任の先生との距離が近い、また子ども達もよく見てもらえるのは良いことだと思う。統合することで学力に差がでないようにお願いしたい。
- ・子供たちが安全に通学できるようにしてほしい。
- ・子供の人数が減り、統合せざるを得ないことも今後あると思います。親としては、登下校中の安全を願います。特に低学年は、距離が遠くなると荷物や天気により体への負担も大きくなりますので、適正な距離を望みます。
- ・子供の年齢によって、考えや思いも変わってくるし、親の思いと子供の思いが同じとは限らない。例えば、親としては色んなお友達と付き合っ欲しいと思ひ学級数の多い学校へ行ってもらいたいが、子供としては未知の世界なので今のお友達と離れたくないと思う子供心も理解してあげなければならない。荘内小のように、遠い地区はバス通を許可しているのだから少なすぎる小学校は合併するべきだと思う。子供の人数が減っていることやコロナ禍での

運動会や発表会が、昔に比べてかなり質と内容が落ちていて、子供たちの思い出として不足だと思う。

- 子供達の活動のため、教員不足解消、施設整備等の無駄をなくすなど、理由は多々あるが、いち早く学科の統合を進めて欲しい。
- 児童数が少ないのはわかりますが、通学に時間がかかり過ぎると帰宅後、友達と遊ぶ時間がなくなる。適正規模・適正配置は誰のためですか？子供の事を考えてしているとは思えない。もっと子供に予算を使って下さい。
- 将来を見据えて、思い切った統廃合が必要だと思う。一般論のメリットデメリットだけではなく、教育、老後などに魅力を感じられる新たな取組みを玉野市が発信すべき。例えば、和気町の英語特区など。また、人口増加を促進するフラット 35 地域連携、移住定住補助金など、予算を工面すべき。反対市民の地域愛を上回るくら玉野市の本気度を示さないと、説得力がない。1年前、市役所移住相談に資料をもらいに行ったところ、3階隅の部屋の廊下で担当者の会議終了まで待たされた。これでは移住したいと思わない。統廃合に先行して、役所内の意識改革必須。
- 小、中学校ともに、児童数が少なすぎる地区が多いのでクラス替えもなく、友達関係の薄さがとても心配になります。とはいえ、合併するには色々な問題が生じると思います。しかし、バスを使ったりしながら合併する事も可能だと思います。通学の時間がかかる事の問題よりも少人数の学校の方を問題視するべきだと思います。荘内地区のように多い地区はバス通学も昔からしてるのに対して他の地区がしていないのが不思議でした。
- 小さい学校だからできる事や、生まれる責任感があると思います。人数が多いと代表の経験もあまりできないイメージがあります。また自分には関係ないと考えやらずに済ませてしまうこともあるかもしれません。現に私も人前に立つことや、人前での発言が怖く、できる限り人の後ろに隠れ逃げれるものは逃げたいと思う正確です。しかし子供たちは少ない人数の中でも代表を任された、係が自分しかいないという責任感が強く前向きに頑張っています。またうちは兄妹とも軽度の発達障害があったので通常級は心配でしたが少人数の中でうまく生活できています
- 小学校が分かれすぎていると思うが、距離的な問題があるので仕方ない部分もある
- 小学校の合併などにより通学距離が遠くなるのは心配です。
- 小学校は近い場所でないと通学が大変。中学校は子供も大きくなっているので多少は遠くても我慢できる。
- 小学生はランドセルやら荷物やら多い上にマスク有、災害級の気温の中長距離を歩かせるのは酷だと思う。合併するならするで塩分タブレット持参可能にするなどその配慮してほしい。夏は熱中症になってからでは遅いと思う。
- 小規模でのメリット(児童1人1人に目が届くから個々の性格情報等把握しやすい、施設も広く使える等)もあるが、クラス替えができないから人間関係に配慮できなかつたり、登下校1人になりやすい等のデメリットも多くあると思うので、子供達の将来を考えながら慎重に話し合っていかなければならないと思う
- 小規模校が子供はいい環境と考えて現在の住まいに決めた。統合する事によって登校がかなり遠くなるため、現状のママが良い。
- 少な過ぎず多すぎずが適正ではあるが、多すぎる事の方が問題点も多いと思います。
- 少子化が進む中で、難しい問題です。我が子のことを言えば、通学路が遠くて、しかもママシヤ猪が出そうなところを歩いて登校しています。1学級数の児童数や学級数がある程度確保するなら、スクールバスを運行して少し遠くても安全に通学できる方がいいといいと思います。

- ・少子化で子どもが減り学校としての適正規模を満たしていないのはよく分かります。いつかは学校同士合併しないといけないと言う事も分かるのですが、学区に子どもがいる限り学区内の小学校に通わせたい気持ちも強いです。維持費がかかるのに何校も小さな学校を置いておけないと言われるかもしれませんが、小さな規模の学校でも続けていけるような国からの補助などがあれば良いのにとおもいます。
- ・少子化になっているので、今までのやり方にしぼられず、時代にあったシステムに変更していけば良いと思います。よろしく願いいたします。
- ・少人数すぎてバスケットやバレーなどのスポーツでできない為そーゆースポーツの基本的ルールや楽しみ方を知らない子供達が不思議です。ある程度団体での生活の中でしか体験できない事を知らずに育てて可哀想におもいます。こんなに小学校数を維持しておくより玉野市はもっと学区のくぎりや人数を考え、スクールバスなどで通学するなど考えていかななくてはいけない気がします。
- ・色々な意見があると思いますが、(声の大きい)大人の意見ではなく、子どもたちのことを一番に考えて検討を進めてください。
- ・人数が増えるのはいいけど、遠くなるのは心配が増えるのでいやだな。
- ・生徒数、学級数で適正規模を決めることは良くない
- ・全ての学校を合併して2学級以上にするのはではなく、岡山市の特別指定小規模小学校みたいな学校もあってはいいのでは。
- ・大崎小学校のように、各学年1学級だとしても、2名の教員は必要だ。特に、3年生は、しっかりと指導すべきである
- ・中学校区で代表1人選出ではなく、小学校毎に数名で参加をする事も大事だと思います。またこれから先、大きく関わる幼稚園や保育園の保護者の方も中心に参加出来たり、出生届を出された方にもアンケートをしたりと広く意見交換しながら、検討してほしいと思います。大規模校周辺ばかり人が増え、このままでは子育てしにくい玉野市になっていくばかりです。
- ・通学が遠くなるのは大変だとは思いますが、どんどん少なくなる児童数での学校の維持は税金の無駄ではないかと思う。中学校への登校は自転車を許可してもらえれば少し遠くても可能ではないかと思うので、統合も良いと思う。
- ・通学距離があまり長距離にならない事が望ましい
- ・通学手段・時間などを含め、子供・家庭の立場に立った解決と提案をしていただきたいです。
- ・適性規模にするため統廃合が行われる際には、保護者や地域の方の意識が学校から遠のきやすくなると思う。PTA 活動や地域コミュニティなどへの配慮もお願いしたい
- ・適正化の見直しがあることについて、入学する前に知りたかった。
- ・適正規模、適正配置で統廃合することは、いたしかたないと思っています。その場合気になるのが登下校にかかる時間です。一律に国に合わせるのではなく、柔軟な対応を求めたいです。学校の統廃合により、校舎の維持管理、教職員の人数等が少なくなるはずなので、今後の児童・生徒数の減少も見込み、スクールバス等の充実を求めたいです。地域の災害時に避難できる施設も必要なので地域の バランス等も考慮して統廃合をすすめていただきたいです。
- ・適正規模、適正配置というのは、誰にとっての適正ですか。
- ・統合されるのであればスクールバスを出すなどして、通学時間が短くなるようにしてほしい。また、地域や保護者の反対もあるかと思うが、大切なのは通っている子どもたちがよい教育を受けられるかどうか。人数が少なすぎる多すぎる、統廃合の話等で市へ地域の方から反対意見があると思うがこどもの立場や気持ちは？子どもにとってこれが一番よいと市や地域の人には思っているかもしれないが、きちんと客観的に見れているのか？子どもが蚊帳の外にな

っていないか？よい教育が受けられる体制を提示してくださり約束してくれるのなら個人的に統合も賛成できる

- ・同じ地域でも通う学校が選べてしまい、少人数の学校になるので、選べないようにしてほしい
- ・年々、教科書が分厚く重くなっており、命に関わる暑さや災害も多くなっている。そんな中で小学生の通学時間が長くなるのは反対です。もし学校の数が減るならスクールバスの導入も考えて頂きたいです。
- ・廃校措置などをとるのであれば、そうなった校区の子供のために、保護者の送迎がなくとも子供達が自力で通学できるよう、交通手段などを配備してほしい
- ・勉学の差が出ないように、生徒数減少にともない中学校区で小学校も合併した方が良いのでは？

(小学校：標準規模校)

- ・45分通学は遠い感じでもあるが交通上及び防犯上の安全が求められるご時世なので、そこが解決されれば遠くからの通学も良いのではないかと。
- ・今の子供達のためにどのような教育環境が望ましいかということに重点をおいて検討していただきたい。母校がなくなるのはいやだとかの意見もあるが、これからのことを考えて統廃合しなければいけないと思う。
- ・今は生徒数の少ない所や大きな学校は色々と特色を持った学校生活を送っている。中規模校はどこか放置されている気がします。可能な範囲で、平等な教育を提供できる環境にして下さい。
- ・大人の都合でなく、児童・生徒にとってよりよい学習・スポーツの環境となるように進めていってほしい。
- ・校区によっては、学校までの距離が大きくなりがちなので、スクールバス等を使用してあげて欲しい。1年生等の低学年には遠い道のりは保護者的に心配でイヤです。
- ・先生の負担を減らすため一般事務職員を増やす。例えば学校行事の段どり、テストの〇×、資料作成の補助などの雑用をまかせる事務員を配置する。夜8時になって職員室の電気がついていて先生の健康が心配です。
- ・人数が小規模すぎるのはどうかと思うが、通学面を考えるといろいろ難しいと思う。
- ・無理が無い通学ができる方法を考えて頂くことが一番大切かなと思います。小さいクラス編成の学校が沢山出来るよりは、適正規模になるべく近づくようにして頂きたいと思います。
- ・家から徒歩や自転車で通える距離にあればいいかなと思いますが、人数が少なすぎるのは残念だと思う。子供には色々な子どもと関わって色々な事を体験してほしいと思う。今より学校を少なくすれば、先生も増やせて負担も減るのではと考えます。
- ・学級数が減ると、先生の人数もへり、意見や、企画に偏りが出てしまう。
- ・教師希望者が減り、先生の確保が大変なのは承知していますが、学級数より学級あたりの適正人数を減らし、児童へ目の行き届く学級運営を望みます。三十人学級のまま行くのであれば担任+副担任(場合によっては教員免許を持たない公務員)のようにして担任の負担を減らすことがひいては教師の労働環境の改善と教師希望数の増加に繋がると考えます。
- ・現在の規模ぐらいで、適切かと思えます。
- ・現在は、子どもの数に対して学校数(特に小学校)が見合っていない(多い)と考えます。維持費を考えると、スクールバスの方が安くなるのではないのでしょうか。

- ・効率的効果的な経営の側面もあるので、やむを得ないと考えます。余談ですが、人口が一層減少し寂れゆく地域よりも、教育を含めより良いインフラの整った地域への住民異動が進むでしょう。これは、玉野市がどのような事業をしようとも避けがたい大きな流れです。
- ・今 現在で隣の学区等から通学する場合 学校まで親の送迎では無く自宅から1番近い通学する学校の集合場所へ集合して徒歩通学が良いと思います。
- ・今のままでいいと思います。
- ・将来を見据えて、子供が良い環境で学べる様に整えて行って欲しい。
- ・将来的にも良い環境で学べる様に整えていくのが良いと思う。
- ・将来的に少子化が進み、学校の統廃合が起こって通学に時間がかかったり、保護者の負担がかかることのないようにしてほしい。
- ・小規模校が多すぎる
- ・人通りが多く何かあっても誰かの目があるような場所がいいと思います。
- ・地域関係なくどこの学校でも行けるようにしてほしい。歩いて行けなくても、親が送迎できれば良いと思う。

(小学校：大規模校)

- ・2クラス以上は必要と思う。
- ・35人学級とよく聞きますが、人数ばかりが論点になっています。先生が適切に指導し、教育できる環境にすることが大事です。学力向上だけであれば、ベテラン教師が大人数をみる方が学力向上したという研究結果もでてます。先生方には感謝しかありません。どうか、児童と教師のための学校づくりをお願いします。
- ・今のままでちょうどいいと思います。
- ・うちは、荘内学区で、荘内の子供の数多くて、親も子供も、今の環境今の地域、今の学校で、良かった！とすごく思います。子供の人数が少ない小学校の人で、少なすぎて嫌だと感じている人もいると思うので、そういった人には通う学校を自由に選択できるようになると、いいのでは、と思いました。（車で親が送迎できるなら）
- ・各学校によって1クラスに対する生徒数が様々であることは、その地区に在住する世帯数や児童数によるものであり、仕方のないこととも言えるが、1クラス20名編成と1クラス40名編成では授業や学校生活中における目配りも教諭の方々の負担も大きく変わってしまうことに懸念を覚えます。生徒も教諭も過ごしやすく充実した学校生活を送れる場であってほしいと思っています。
- ・規模も配置も適正だと思いますが、通学に1時間かかるならバス通学を検討してあげて欲しいです。
- ・子供達が安全に安心して学校生活を送れるように配置して頂きたいです。宜しくお願い致します。
- ・子供の人数減少してしまう地域でも学校は生徒がいる限りなくしてはだめだと思います。人数の多い学区は2校分散もいいかな。（先生の目が行き届かない為）
- ・子どものより良い教育環境と教育の質の充実をはかる為には、学校の適正規模・適正配置について考えることは大事だと思います。それに伴い、適正な教員数が配置されること、教員不足という問題が出てくることがないように、その点もしっかり考えて進めて行ってほしいです。

- ・児童数減少を理由に単に閉校・合併してだけでなく、どうしたら玉野市に子どもが引っこししてくれるのか？という点を考慮すべき。児童数減少はマイナス面だけではなく、「少人数制」というプラスの面もある。閉校・合併で1学級数35人を維持するのではなく、1学級20人にして、それをうりにしてはどうか？「田舎でゆったり自然学習」等、県外にもアピールして、子どもをどうやって市外からひっぱってこれるか、考えていきたい。
- ・小学校や中学校を合併する場合は、荘内学区だけでなく他の学区にもスクールバスを採用していただくと登下校の心配や、保護者の負担を軽くなるのではと思います。
- ・荘内学区は広いので2つに分けるのもありだと思う。
- ・荘内小学校は規模が大きい為、通学距離（時間）が長くなるのは仕方ない。通学路の危険箇所、下校時の見守り等強化していただくと心強い
- ・荘内小に通っていますが、多いな。という気持ちです。クラスもパンパンの4クラス。絵の具や習字、図工は少スペースで、やりにくいのかな？と思います。トラブルもありました。適正なクラス人数、スペースとは思えない。は正直思います。
- ・通学の距離が長いので、（徒歩で45分程の距離）夏場は特に熱中症が怖いです。学校は増やさなくても良いので、暑い時期だけでも、自由にシーバス・シートク等を利用できるようにして頂きたいです。
- ・適正規模・配置について何が望ましいかは親としても分かりませんが、自由選択はあってもいいような・・・登校が困難な子供もいるので、教育は必要だと思います。
- ・長尾ローソンより奥の子ども達もバス通学が妥当だと思う。
- ・なにが適切規模かは判断は難しいが、子ども達一人一人が授業内容が理解できるような環境づくりや支援が受けられるようにしてほしい。
- ・バス通学の対象地区を増やし、遠方の子供達も通学しやすくしてほしい。
- ・学区によって人口が違うので仕方ない事もある
- ・現状で満足しています。
- ・子どもが少なくなっているので、学区だけでなく玉野市全体でこれからの学校の事を考えるいい機会だと思います。
- ・子供が少ないエリアの再編は必要だと思うが通学距離が長くなるのは危険が伴う。国の基準がどうのではなく、大人も実際に荷物を持って通学ルートを通って危険性や過酷さを知るべき。普通に考えて暑かったり寒かったりするなか何kmも歩くって辛い。『徒歩片道〇分以上ならバス通学』くらいの感じの支援とかがほしい。保護者が車で送迎するようになりそう→そうなると学校周辺で車の往来が増えて危険。日比小・二日比小の子が玉原小への徒歩通学は山をいくつ越えるのか考えてる？
- ・子供が荘内小学校に通っていますが、児童数が多く先生の負担も多く、目が行き届いていないように思います。もう少し一学級の人数を少なくしてほしいです。難しいのであれば、体育館やトイレ、教室の設備など、もう少し規模にあったものに改善してあげてほしいです。どれも、狭く、古く、ゆとりがないようにみえます。
- ・子供の学習がスムーズに行える環境で有れば、その地域に合わせた規模・配置でよいとおもいます。
- ・子供の人数が減るので、考えていかななくてはいけない問題だと思う。色々な意見があるので、難しい問題だと思うが、一番は子供達が楽しく安全に学校に通えるよう考える事だと思います。
- ・小学校、中学校での、ある程度の規模で、ある程度の人数で学んだ方が、その後の、高校、大学、社会人生活に、役立つと思う。あまりに小規模だと、十分な社会性が、身に付かない

ように思う。今後、統合などで適正規模を確保するのは、賛成ですが、子供が安全安心して通えるように、しなければならぬと思う。例えば、通学について、バス利用や、少し予算がかかっても、スクールバスなども取り入れる必要もあると思う。

- ・少人数と大人数だと、かなりの教育の格差が発生します。
- ・人数が少なすぎても学校行事でできることが限られると思うので適正な人数になるよう調整した方がいいと思う。
- ・荘内に関しては、学区の範囲が広すぎると思う。といっても、学校作れないし、分けようがないのだと思いますが。学校に対する人数の違いがよいようにならないのかな？と思います。
- ・荘内は昔から子供の人数が多いのに、分校もなく学校までの距離の差が大き過ぎると思う。荘内は子供の人数に対して学校も遊ぶ場所も少ないと昔から思っていた。
- ・中学校になると特に能力の差がでるついていけない子を持つ親としては同じ授業だとしていけない心配がある少人数にして手厚くみてほしい
- ・通っている学校は、1クラスの人数が多すぎる。市内、どこの学校も同じ位の人数にしてもらわないと、学習に差が出る。
- ・通学バス等をもっと積極的に導入し、少人数の学校の合併も視野に進めるべき
- ・通学距離が長すぎることも望ましくないが、児童生徒数が少ないことも問題に感じています。
- ・適正の意味が分からないが、規模や配置ではなくいい学校は教師の資質できまると思う。
- ・適正規模、配置によってこれ以上、玉野市の学力が下がらないことを望みます。
- ・適正規模、配置は今後必要になると思うが、極端に通学が遠くなるなどが起きないように配慮がほしい。
- ・適正規模については、1クラス30人くらいで、それだけのクラス分の教室が確保できる。
- ・統廃合することで、児童数が増えコミュニケーション能力向上が目指せる。また、通学問題は、バスの利用で解決できる。費用は、複数の学校を維持管理し続けることに比べれば、安価ではないか。中学校へ進学後の、部活の人数減少についても、児童生徒数増加で、新しい選択肢が得られると思う。
- ・配置は、個々の希望が大きいですが、規模に関しては地域差もあり統一は難しい。その反面予算、教師の数の制約はあるがクラス人数の統一はしやすいので、ある程度同人数で出来ればいいのではないかな。

(中学校：小規模校)

- ・ある程度人数が少なくなると部活もできなくなるし、学年によって勉強に競争意識がなくなるので、生徒に部活動ができないから選んで違う学校へ行くのではなく、統廃合で減らしてもらったほうが、6年時にどちらに行くかものすごく悩まずにすむ。
- ・教育は市の要です。予算を出し惜しんではなりません。歴史ある鉾立小学校を廃校にしないで下さい。
- ・現状の「中学校区」でいてほしい。
- ・子どもが減る中で適正規模は重要ですが、小さい規模だからの良さもあります。先生確保の問題等様々ありますが、従来通りではなく、柔軟に考え協力し合って、その地域の良さを活かしながら対応してほしいと思います。
- ・市内の児童生徒数は市外にくらべて少ないので市内外各地区の交流をふやすと知識が増えるでしょう。コロナ感染に気をつけて今は、オンライン交流をするとよいでしょう。高校では

自分の地区以外の人と一緒にいるのだから小中学校から交流を深めておくよといのでは？
(部活以外で) 8/25 (木) 新聞 (たまの圏版) のように荘内中×里庄中とか。

- ・少子化により、子供の数と学校数学級数が合ってなく、金銭面も厳しい現状は分かりますが統合することで、まるます子育てしにくく、過疎化に進んでいく可能性が高いと思います。
- ・少人数の小中学校を卒業して、高校生になった時に、その人数の多さ、人間関係の築きにくさ等、環境が大きく変わること目立ってくると聞いたことが (高校の先生から) あります。切磋琢磨できる環境が望ましいと考えます。
- ・せめて一学年 2 クラスにして先生の目が届くようにしてほしい。
- ・人数が少ない所は集合場所まで 1 人で行かせる不安の声を聞きます。交通量が多い道や獣害への不安もあり親が送迎する現状。人数が増えると集団生活ならではの大切さなど学ぶこともできますが、その学校までが、さらに遠くなることがあるのならば今のままでいいと思います。小学生など小さな子が何キロあるの? というようなランドセルをしょってさらに遠い学校へ行かせるのはありえません。財政だけでなく子供達を見てあげてください。学校がない地区には誰も住まなくなりますよ!
- ・バス通学などを検討してでも、大きな規模での交流を促進していくべきだと思う。
- ・ランドセルがとても重いので 距離よりも軽くできるように配慮してほしい クロームブックや図書の本と月セットが同じ日に持っていくのところが距離よりきつい
- ・我が子は廃部という辛い経験をしました。小規模校では部活動の種類も選べず、廃部の危機も常に付き纏うため、学校の適正配置は考えるべき問題かと思います。しかし、昨今の異常気象や災害を考えると通学距離が伸びるのは不安しかありません。
- ・学校が統合されることで、通学距離が長くなるのが心配です。スクールバスなどの導入を考えて欲しい
- ・学校に通いにくい子のための適応指導教室や、少人数クラスがあり、選べる環境があれば最高です。
- ・今の生徒数ではやりたい部活が在-school にない。徒歩通学では他の学区からの通学は不可能。あの重いカバンが可哀想なので、自転車通学できるようにするか、いっそのこと日比中学校と宇野中学校の近い方へ通学するようにしたら良いと思う。
- ・子どもが減っている地域で学校の統合が行われることで、子ども達にもメリットはあると思うが、通学などで親や子どもにも負担がかからないようにしてほしい。
- ・児童、生徒数減少による統廃合は仕方ないと思うし反対ではありません。理想は中学校 3 学級くらいある方がいいと思います。しかし、小規模校には小規模校の良さはあるし、卒業生も活躍しています。適正規模ではないからという理由でネガティブな事を言われるのは心外です。
- ・時代の流れもあります。母校だからと理由だけではなく、これから育って行く貴重な子ども達とそしてその保護者の意見を優先してほしいと思います。鉾立保育園、小学校、東兎中学校と素晴らしい学校に通わせていただいたことは親子共々生涯忘れることのない温かい思い出の場所です。
- ・小規模校にはそれなりの良いところもたくさんありますが、やはり体育でチーム対抗のスポーツができる、委員会や係活動などでいくつかのグループが作れる程度の生徒数があることは集団で学習するために必要なことだと思います。
- ・少子化で、学校が統廃合されるのは、仕方ないと思います。伝統のある学校がなくなるのは惜しいですが、子供達の未来を考えれば、クラスの人数は多い方がスポーツ(サッカー、野球など)や音楽(合奏、合唱)など、少人数では得られない体験をする事が出来るからです。

- ・少子化により、部活も制限され、学生時代に経験出来る事が減っていると感じます。人数確保の観点から、複数校を合併するなどしてもらえたらと思います。
- ・少子化に伴い生徒数も減少しそれに比例し先生の人数も減少している様な気がする通学距離の問題があると思われるが学校のきぼや配置は検討の余地はたたあると思う。
- ・人数が多い時より少なかった方が授業中集中しやすかったと聞いたから。
- ・早く適正数にするべき 思い出があるなどで遅らせるのは子供が可哀想
- ・地域のコミュニティーを大切にしたいので、学区を分けずに配置して欲しい。
- ・中学校は 30 人以下は中学生活とはいえません。地域が廃れて行く、地域を守りたい。その気持ちもわかりますが、それとは別の問題と考えて未来ある子ども達とその保護者を守ってほしいと思います。学校の PTA 活動以外でも地域の役職もお年寄りが増えて少ない人数で活動してます。町内会の集会や集金等々は、表にならないけど先々私達の年代が生活するうえで負担する問題になります。せめて学校問題からでも若い人の 5 年後 10 年後 20 年後を見据えた方向にしてほしいです。住民説明会で若者が意見言える地域ではありません。
- ・判断できません。

(中学校：標準規模校)

- ・1 クラス 29 名以下が適正であるとおもいます。
- ・1 クラスの人数を 20 人くらいにして、先生の目が行き届くようにしてほしい。登校距離が遠い場合は、バス等利用してほしい。
- ・1 学年 1 クラス、その人数は片手で数えられるくらいというのは少なすぎて寂しい。荘内のような大人数の地域から、宇野、築港へ行きたい子がいれば行かされたら良いと思う。シーバスのような安いバスを利用可にする。
- ・1 学年に 3 グラスはあった方がいいと思います。
- ・ある程度の集団の中で過ごすことは社会に出ても重要だと思う。もっと部活動の選択などが自由にできる環境を整えてほしい。そのためにバス通学などを検討してでもある程度の規模の学校としてもらいたいと思う。
- ・一番に子を通わせている親の声を反映させるべきです。地域の老人や子育てが終わった考えの古い人達を気にしていつまでも何もできないでいるのが玉野の現状だと思います。決めるのは老人達でなく現役世代でなくては意味がないと思います。
- ・時代と共に変化することは必要だと思います。あまりにも子供数が少ないとドッジボールもつまらないと聞きます。バス通学でいいと思います。
- ・住んでいる地域によって児童生徒数にバラつきが出ている。多少はしかたない部分もあると思うけど、「少なすぎる」「多すぎる」を少しでもバランスがとれるようになれば良いと思う。
- ・生徒数が少ない学校は近くの学校と一緒にして良いと思います。
- ・先生方の負担を減らすため、一般事務職員を増やす。例えば、学校行事の段取り、テストの〇×、資料作成の補助などの雑用を任せる事務員を配置する。遅くまで残業されている先生方の健康が心配です。
- ・地域に学校がなければ防災拠点がなくなったり地域の人の交流の場がなくなるので、困るけど子供の数が極端に少ないのもどうかと思うので自由に選べるようになると良いと思う。
- ・適正規模を維持させるには、子供の人数が減り難い。通学距離が長くなるため、スクールバス導入がよいのではと思う。

- ・バスを利用する等通学時の子ども達の安全が確保されるなら統合しても良いし、すべきだと思う。先生方の負担が増えるようなことにはならないようにして頂きたい。
- ・広くしたらいいと思う
- ・部活動が成立しない中学校が市内にあると聞いてます。最低限1学年4クラスあり、一般的な種目の部活動ができる環境が望ましい。小学校は1クラスしかなかったが、担任の注意が行き届き、全員素直に成長したと思っていました。中学校に上がり、人数が増えれば色々なカラーに染まっていく子供も増えます。それは残念であります、広い視点で自分の状況(成績)を知るには、多勢で競う必要があると思います。
- ・わからない
- ・一学年、2クラスから3クラス
- ・遠くなくても、複式学級になるよりクラス替えができる学校が良いと思います。
- ・学級数は単学級にならない方がいい。
- ・学年の学級数は適正規模の数ぐらいが適正かなと思いました。
- ・教育者と生徒数の割合が大切だと思う
- ・玉野市は小学校も中学校も規模の差がありすぎると思う。どちらにも良いところ悪いところがあるが、今荘内中学校で推進されている授業のやり方は他校に比べて学力が確実に落ちるやり方だと思う。そのような取組みをされるのなら入学前に話を聞いたかった。人数が多すぎて対応しきれないのか、パソコンで自己責任でやらせる勉強方は如何なものかと思う。
- ・子ども達の意見もしっかりと聞いてあげてほしい。
- ・小規模も良さがあります。大規模だと先生の目が届かないし、先生への負担がかかる。クラスが2クラス以上あるのは子供たちにとってみれば、新年度の楽しみもある。
- ・人口減少に伴い合併は仕方ないと思います。苦手な子がいたりする中でクラス替えがないことで学校に行きづらいことが起こることもあると思います。逃げ場になる場所ができればと思います。
- ・荘内以外は生徒が少ないので、少なくとも小学校は統合した方がいいと思います
- ・荘内中学校は範囲が広すぎるので2つにわけてもいいと思います。生徒が多いため先生の目が行き届いていない気がします。
- ・大人の都合ではなく、子どもたちにとって良い環境となるように配慮してください。また教員を適正に配置して、学習環境に差がないようにしてください。
- ・中学校2校、小学校5から7校で通学困難地域はスクールバスを運行すれば良いと思う。
- ・中学校では、どの教科の先生も学校に複数名おられると親としては安心です。各学年、最低3クラス以上あればと思います。
- ・中学校でもバス通が可能になることを望みます
- ・通学距離があると行くだけで疲れている。

教職員 Q.12 「学校の適正規模・適正配置について、みなさまのご意見をお聞かせください」

(小学校：複式・小規模校)

- ・ 1学級の人数は20人はいた方がよいと思う。しかし、学区が広くなり、子供の危険や負担も大きくなるため、賛成とはいえない。
- ・ 1クラス15人以内
- ・ 1クラス的人数がすくないのはいいことだと思う（15から20人くらい）教員はたくさんいたほうがいい。地域の声は気にしないで、子供優先に考えたい
- ・ 1学級の人数を減らして、1学年2クラス以上にすべきだと思います。子どもたちが、多様な考えに触れら経験を積んで欲しいので、単学級は厳しいと思います。
- ・ Q9の回答について、小規模校は教職員の数が少なく、多様な意見や実践を出し合うことには大規模校と比べて難しさを感じますが、それがそのまま「人材育成に支障をきたす」にはつながらないのではないかと考えています。適正規模・適正配置についての直接的な意見ではないのですが、Q10の回答例の「通学路の危険個所を確認すること」という例は、あまり適切ではないと思います。通学路の危険個所を確認するのは、学校の統廃合にかかわらず必要なことで、あえてここに挙げることにやや違和感を感じました。
- ・ あまりにも少ないと、できないことが多いです。
- ・ あまり少ない人数だといつも決まったメンバーで関わり合うようになり、お互いのことがわかり合えてしまうので、子どもたちの対話する力を伸ばすことができないように思う。高校生になって苦労するのではないだろうか。
- ・ ある程度の規模の学校にすることで、子どもたち自身も、様々なタイプの子どもたちと関わりことができ、協働学習にも取り組みやすくなる。また、現場の教員不足や特定の教職員への過度な負担も減らすことができると思う。
- ・ 現場の教員は、少人数で業務をこなすことに日々、奮闘しています。ギリギリで働いています。若手の先生は、単学級担任で、学年団もなく相談したり、見て学ぶ機会もなく、本当に大変です。子ども達も6年間という大切な成長期に、少人数の集団で固定化された人間関係で過ごすのは危険です。早急に適正化に向けて進めてほしいです。
- ・ 児童生徒の負担が大きくなり過ぎないようにしたい。
- ・ それぞれの学校によって状況は違うので、一律に一斉に統廃合するのではなく、本当に統合が必要な学校、例えば複式をもつ学校などから進めていけばよいと思う。
- ・ 適正規模にする事が望ましいが、玉野市は交通機関があまりない為、通学距離（時間）の問題を一番に解決すべきと思われます。
- ・ 何が適正かはある程度、試してみないと分からないので早急に取り組んで順応に対処することだと思います。万人の納得するようにはできないと思います。
- ・ メリット・デメリットをしっかりと出し、子どもたちの健やかな成長のために良い方向に進むようにしていただきたい。
- ・ もし合併するなら、無理のない地域内が望ましい。
- ・ やって見ないと分からないが、現状、複式にしても大きな問題はないように感じている。職員の授業内容は複雑であるようだが、できているし、子供も大きく困っているようには感じない。今後、中学生、高校になったときの複式の子のこういった影響がおきるのかのほうに気になる。

- ・学校が行うべき教育がスムーズに行える規模になれば良いなあと思います。また小規模校の先生たちが抱える仕事の負担が、均等に割り振られる形になればと期待します。Q.9 小規模校の運営上の課題は何だと思えますか？（3つまで）←この質問をするのであればメリットも同様に聞くべきではないでしょうか。その方がフラットに意見を集めています、という姿勢も伝わるし、仮に合併になったとしても、メリットをできるだけ生かした運営につながるのではないかと思います。
- ・学校だけでの問題ではない。いろんなところが関わるので意向を合わせるのが大変。
- ・学校の適正規模・適正配置について、一人一人が考え、実践することが大切。
- ・学校を統合することは地域の衰退を進めることになる。将来の人数減を考えて統合を急ぐのではなく、統合しなくていいように少子化対策をしてほしい。
- ・学校数を減らして、学校あたりの生徒数を増やしたほうがよいと思うが、通学時間がかかりすぎる場合は、バス通学など考慮したほうがよいと考える。また、複式学級は、学力の低下につながると考えるので、教員目線でも、親目線でも歓迎しない。
- ・規模の大きさに合わせて、職員の配置をし、みんなが無理ないことが望ましい。
- ・教員の数は減らさないでほしい。発達障害を持っている子が多数いて、支援を必要としている。小学校も複数担任制をすればよいと思う。
- ・教員の配置や教育予算の確保が十分できるならば、少人数であっても、それほど問題を感じない。
- ・教員の立場だと学校はある程度の規模がある方が勤めやすいのでは。子育てを新たに住居を構えてしようとする家族がいたとしたら、学校がない地域は選ばれず、益々寂れるようで心配。
- ・教職員や保護者の意見を最優先させてほしい。
- ・玉野市の財政と加速する少子化を考えると、早急に取り組むべき問題だと思う。メリットデメリットはあるが、先延ばしにすることがないように方向性を示していただきたい。
- ・玉野市の小中学校は、小規模が多い。しかし、規模を大きくするために統廃合して数を減らしてしまうと、地域に学校がなくなってしまう。小学校は今のままの配置で良い。中学校も配置は今のままで、1クラスの人数を減らして、クラス数を増やすのが保護者の立場としても、教職員の立場としても必要なことと思う
- ・子どもたちが、個別の関わり・支援をしっかり受けながら、中規模・大規模の集団の中で落ち着いて生活できる力をつけられるようなクラスの規模・教科指導の体制・特別支援教育の体制を考えて、学校の規模・配置をしてほしい。児童数が少ないと、教員数も少なくなり、児童一人ひとりを大切にしたい個別の丁寧な関わり・指導のできる場がなくなってしまうのではないかと、心配です。
- ・子どもたちにとって、教員にとって、最適な教育環境が整いますように。
- ・子どもたちのために、早急に適正な人数にすることが必要と感じます。また一方で、これまで40人クラスを何度か受け待ちましたが、事務量はかなり多かったです。最近は少ない人数しか経験したことがない方が多く、残業時間が増えることも懸念されます。
- ・子どもたちは、日々成長している。一人ひとりの成長の妨げにならないよう、手遅れにならないよう、1日も早く統合などしてほしい。通学バスなどの運営も視野に入れてほしい。
- ・子どもにとってどうあるべきか。それを軸にして検討していただきたい。
- ・子どものことを考えるともう少し多い人数が良いと思うが、通学距離や地域との繋がり希薄化など心配な面もある。何事も多いのが良いとは限らない。少人数だと一人ひとりに目を向けた教育ができる利点がある。今の良さを活かしてもらいたい。また、職員の数が減ると

単純に負担が増えます。(一人職は特に)今でも人数が足りないと感じているので、合併するならば、職員の数に余裕を持たせてほしい。適正規模で人数減らされると良さがなくなると思う。人材を確保し玉野市の教育の魅力をあげて、人を誘致できるよう力をいれて貰えたら良いのではないかと。

- 子どもの数が減少しているので、学校の統廃合を考えることは必要ですが、住民の方の意向を十分に聞くことがまず大切だと思います。
- 子どもや保護者の意見をまず第一に考えてほしい。議員や一部のOBの感情的なエゴも心情としては理解できるが、一番に考えるべきは子どもにとってどうであるか、だと思ふ。子どもたちの教育にとって小規模がふさわしければそれもまた良しであるし、大規模が望ましいならそうするべきだと思ふ。
- 子ども達の健全な成長のためにも、ある程度的人数の中での教育が重要だと考える。
- 子供の数が減るに連れて、合併していくことは仕方ないし、実際に合併した学校にも勤めたが、人間関係などは、苦しい部分もあるので、そういう心の面のケア、体制を考え、そちらの要員としての教員を確保できるなら、合併したほうが良いと思う。学校が減るから、教員を減らすということがないようにしてほしい。教員が忙しいと、子供の細やかな指導はできない。また、保護者の働き方も変わってきてるので、行事なども選定し、合併するときにはそれぞれの学校でのこれは、残す！というものだけをするようにしないと、あとあと、不満が出てくる。人数にあった、行事の選定をしていく。それには、学校が抱えている学習時間の確保のことなども地域や家庭にきちんと理解してもらわなければならない。
- 児童数が増えると、また別の課題が生じるが、その課題も見据えて、統廃合等を考えてほしい。
- 児童数は年々少なくなっています。長期的なスパンで考えていただき、ぜひ、早急な実現をお願いいたします。
- 児童生徒の将来を第一に考えたい
- 小学校はたとえ複式学級になっても統廃合する必要はない。玉野市の教育の良さをPRして、子育て世帯を呼び込む努力をすることこそ大切だと考える。現在の玉野市は小規模校が多く、一人ひとりに行き届いた教育ができることは大きなメリットであると思う。
- 小規模校が多いため、適正な規模になることを望んでいます。
- 小規模校であれば、中堅のひっぱってくれる教員がほしい。
- 小規模校では、一人一人の子どもをしっかりと見られるのでいいと思います。ただ、複式になると、教職員は大変さが増すのではないかと思います。学校の統廃合に反対はしませんが、進めるにあたっては、保護者、地域の賛成を得てから行ってほしいと思います。(そうでないと、子どもたちの心の不安定さを助長すると考えます。)
- 少なくとも、複式は解消できるくらいの規模で運営させていただけたらと思います
- 少なすぎても多すぎても困ることはあると思うし、それぞれの立場で考え方も違うと思うのでしっかり話し合うことが必要だと思います。
- 少人数がいい、複数学級がいいではなく、これからの玉野市を見据えたときに必要な規模配置になれば良いと思う。今後20年間での児童生徒数が想定通り減少していった時、玉野市の市政は現在と同様のしつを溜まっていられるだろうか。子どもの数が減らないように、玉野で子育てをすることに魅力が感じられるよう、学校規模を見直す必要があると考える。
- 少人数の学校は合併を考えた方がよい。
- 他の合併した地域の様子や意見も聞いてみたい
- 大規模校を適正規模にして、より手厚く指導できるように教員を多数配置するのが良い。

- ・地域・保護者への説明をしっかりと行い、混乱がないようにしていただきたい
- ・地域の意向をしっかりと汲み取りながら進めていただきたい
- ・地域の方々の意向や学区割など課題は色々考えられるが、これからの社会を生き抜いていく力を子どもたちにつけるためには、国が示している適正化規模にしていく必要があると考える。少なくとも、中学校で2学級以上の規模が望ましい。
- ・地域や児童数の状況に臨機応変に改革できるものではないので、将来的に一番安定していると思われるプランを導入していただければと思います。
- ・地域住民の方々の意向を聞く事が必要であると思う。
- ・通学距離を配慮すると、大規模な統廃合はよくないと考えています。
- ・適正規模・適正配置について検討し、早期に実現していただきたいです。
- ・適正規模や配置の重視よりは、正規教職員の慢性的人手不足の解消を慮ってほしい
- ・適度な児童数を確保し、教員の数に余裕を持って配置してほしい。
- ・登下校指導を学校がする前提で考えたときに、あまりに遠いところから通う場合、危険箇所の把握や子どもに対する指導が手薄になってしまう可能性があり心配です。
- ・統合されると、学校がなくなってしまう地域からの反対は十分考えられるが、教育の質の向上のためには必要なもので、その点を地域の方に分かりやすく説明してほしい。
- ・様々な環境の児童生徒がいます。手のかかる児童生徒や家庭は増えているし、承認欲求を抱えている子も多い。全職員が一人ひとりに目を配れるような細やかな教育ができる環境を。非行が一時期より少なく思えるのも小規模校だからかと思ったりもします。現場をきちんと見て判断して欲しいです。また、クリーン作戦や運動会を見ていて、学区が広がると保護者や住民の協力も仰ぎにくくなるのではと懸念します。何キロも徒歩や自転車では来にくい。学校隣接の駐車場確保も必要かと。学校だけではなく市全体の盛衰を考えた判断を急がず慎重にお願いします。
- ・様々な視点があり、まとめるのが大変だが、子どものことを一番に考えた案を作成し、実施していただきたい。

(小学校：標準規模校)

- ・学校が統廃合されると、児童の通学距離がのび、てしまうことがあるのでそうならないようにして行ってほしいと思う。
- ・通っていた学校が無くなるのは非常に残念ですがしかたないのかなと思っています。
- ・統廃合は安易にするのはどうかと思う
- ・一クラス 15 人
- ・一人ひとりの個性は認めながらも、社会で人と交わる資質や能力を身につけることができる環境整備をしてもらいたい。
- ・仕方のない部分もあると思うが、できるだけ児童の負担の少ないようにしてあげたい。
- ・子ども達一人ひとりが成長していくうえで、より良い環境作りが大切だと思います。
- ・児童にとって学習しやすい環境であり、通学に負担のない学区と規模を希望する。
- ・小規模校の存続が難しいのは理解できるが、それによって通学距離が長くなることや、大きな環境の変化は、子供達や保護者にとって大きな問題になると思います。その地域の子供や保護者が本当に望んでいるのであればいいですが、こういったアンケートや認知度の低い説

明会だけでは、十分とは思えません。もっと地域の方々と議論を重ねて慎重に行うべきだと思います。

- ・統廃合により、児童数が増えても、1クラス当たりの人数が今の基準のままでは、本末転倒だと思います。
- ・平等な教育機会がすべてのこどもに与えられるように配慮することが重要
- ・望ましい学級数だけでなく、通学距離が広がることや小人数だからの良さもあるのでいろいろなことを考えてほしい。

(小学校：大規模校)

- ・できるだけ地域の方の意向を取り入れる方向が理想であるが、色々な立場の方から出た様々な意見の中から見出される方向性もあると思います。こうして良かったと思える将来になったらいいな、と思います。
- ・メリットやデメリットをきちんと説明してほしい。
- ・玉野の未来を決める、大変重要なことなのに、周知されないままに進められていることに疑問を感じます。しっかりと説明をして合意の上で、焦らず進めてほしいです。
- ・現在、不登校気味の子ども、家庭環境上登校しづらい子ども、何らかの理由で学校に行きづらくなった子どもが、遠くの地域の学校にバスで通えるとは思えません。そして、登校していない子どもたちの把握やケアは誰がどのようにするのでしょうか。学校が無くなった地域に住む子どもたちは自分の住む地域との繋がりが希薄になるし、学校が無くなった地域は寂れる一方ではないかと心配します。やはり、学校は家の近くにあるべきだと思います。しかし、あまりにも児童数の少なくなる地域はどうするべきかとは思いますが。
- ・子どもたちにとって、良い環境で学べることが大切だと考えます。
- ・子どもたちの将来を考えて進めて頂きたい。
- ・児童の学習環境がよりよくなるようにしてほしい
- ・児童生徒の安心安全な学習環境の提供だと思います。
- ・児童生徒の通学時間の負担が少なく、学習環境が良くなるように考えていただきたいです。
- ・人数的なことでは統廃合の必要があるが、それによるその他の影響を考えると難しいと思う。
- ・積極的に適正規模・適正配置を進める必要があると考えます。
- ・地域の過疎・過密化によって統廃合せざるを得ない背景を考えると、児童の多様な学びを確保するという点よりも、日本の人口減少を見据え、合理的な学校運営ができるかという点を重要視することが大切である。
- ・統廃合等結果はどうあれ、児童生徒や職員が快適に生活・職務が出来るように考えられるべきだと思う。ただでさえ職員数が足りず、1人あたりの負担が大きくなっている現状を踏まえて考えて欲しい。
- ・保護者や地域の方々と話し合った上で決めるのが望ましいと思います。

(中学校：小規模校)

- ・1学級で、6年間家族と同じように学校ですごすことのメリットが考えにくい。「きめ細やかに指導できる」などの利点よりも集団の中で、情緒的な事も含めて、成長できるのが望ましいと思う。
- ・1学年2クラスにできる規模になるように統合する 通学が遠くなる生徒は通学バスを出す必要がある 学校の規模が小さくなりすぎると部活動が盛り上がりがない

- ・1学年あたりの学級数が1つというのも良くないが、それ以上に1クラスの人数が多すぎる(40人近く)のは問題。1クラスの人数を30人くらいまでにできるとよい。そうしたら、クラス数も増えるし、個々に目が行き届くと思います。ただし、複式学級は、十分な指導ができないので、反対です。
- ・3学級以上で、クラス替えができる環境を作ることによって、多くの級友と交流することができるようにさせたい。子どもたちがより多くの多様な価値観に触れることができたり、切磋琢磨できたりすることで、将来、日本の国を担っていく立場になったとき、世界の中で、他国の人々とお互い同士を認め合いながらも、しっかりと自分の考え・意見をもち、それを堂々と主張できる日本人の育成を図ることが国にとって大切なことだと思う。
- ・一部の意見に左右されるのではなく、多数の意見をしっかり聞いてほしいと思います。
- ・いろいろな反対意見があると思いますが、思い切って決断する状況になってきていると思います。ぜひ一歩踏み出してほしいと思います。
- ・小規模校を合わせることで教員一人一人の負担を減らしてほしい。人数確保をすることで、子どもたちにもよりよい関わりができると思う。副担任や専科を増やすなどして、学校を減らした分、人員を減らすのは止めてほしい。
- ・これから玉野市に住んで子育てする人にとって、学区は大きな問題です。学校がよい雰囲気か部活動の種類が多くしたいことができるか、学力など切磋琢磨できる仲間がたくさんいるかなども考えて、住む場所を決めると思います。どこに住んでも生徒数・学級数がほぼ同じ学校へ通える方が、これからの玉野市のまちづくりにも良いのではと思います。(過疎化防止)
- ・児童・生徒数適正化を進めると同時に地域住民や保護者の声を大切にする。
- ・小学校1.2年生は、35人学級だと、目が行き届かずとりこぼしや、落ち着いた授業が行いにくいように感じるので、クラス定員を減らしてはどうか。
- ・スクールバスの活用
- ・中学校は統廃合されても、今後、各地域の活動や地域の良さが失われないような配慮をしていただきたい。
- ・望ましい生徒数はあると思うが、生徒が通いやすい環境であることも大切だと思います。学校への参加形態(例えば遠隔教育)の自由さがあってもよいとも思います。
- ・文科省が、適正規模・適正配置についての手引きや実態調査について、発表しているので、それに基づいてやっていけばよいだけだと思う。
- ・メリット・デメリットをしっかりと出し合い、地域の子ども保護者、住人の意見をしっかりと反映してほしい。
- ・何を持って学校の適正規模とするのか、市教委が検討してきた内容を住民に周知しながら、適正規模について住民投票でもして民意を尋ねるべきかと思います。それを集計し、その結果を知らせるとともに、計画を進めていくべきかと思います。
- ・子どもたちが毎日通う学校なので、通学距離の問題や通学方法、「学区」についても、柔軟に対応すべきだと思います。子どもたちが様々な面から考えて、通いやすい学校を選択できたら良いと思いますし、保護者にとっても、通わせやすい、安心して通わせられる学校を選択できると良いと思います。
- ・子どもたちに良質な教育機会の提供と、教職員が働きやすい環境の整備が必要だと思います。
- ・子どもにとっての質の高い教育の提供のために、地域の理解を得ながら学校の適正規模・適性配置を推進してもらいたい。
- ・市内に3から4義務教育学校を早く作ること

- ・将来的には合併も必要だと思えます。
- ・小規模校であるがゆえに、業者などに関わった行事や卒業アルバムの作成費などは、他の学級数が多い学校に比べて高額になっている。それはこの学校に来ている生徒や保護者の負担になっていると考えられる。これから物価高騰するなかで、できるだけ3学級以上に設定し、金銭面の部分や学校活動で不利にならないような適正配置を希望する。
- ・色々な意見考えを聞きながら、自分の地区の学校を残したいという保守的な考えでなく、発展的に進めていくことが必要です。少子化により待ったなしの状況である。早ければ早いほど、教育にかかる費用を集中でき、より子供のためになる施設・教育の充実が可能になると考えます。大変だと思えますが、多くの方の意見を吸い上げながら、段階的に統廃合するのではなく20年先を見据えて抜本的な改革を望みます。(本当は私も寂しいんですよ。我が母校、努めてきた学校がなくなるのは。でも、これからを見据えて、あえてこのような意見を書かせていただきました。先の子どもたちが、行ってよかった。保護者が通わせてよかったという学校再編成をしていきましょう。)
- ・生徒の通学についてはスクールバスなど配慮すべき点があるが、生徒指導や校務分掌、授業、行事など教員の負担を考えると、学校数を減らして、生徒数を多くしたほうがよい。学校数を減らすことで配置される教員の数が潤うのであれば(学校数が減ることで、教員数まで減ると意味ないが)、二人担任制ができたり、副担を増やすことができたり、部活動も複数顧問制ができたり、年休をとりやすい環境をつくれりして、教員一人あたりの負担を減らすことができる。希望通りに休むことができれば、ストレスを感じることなく時間と心にゆとりをもって不妊治療も行うことができる。現在でも強く希望しているが、統合する際には、ぜひ、理科室や美術室にもエアコンを入れてほしい。夏のガスバーナーは健康に害をおよぼす。
- ・生徒数減少とともに、教員数が年々少なくなり、教員の負担が大きくなっています。
- ・通学距離、時間の問題の解消。部活動に関しては、地域に移行するとの話だが、どう進めるのか。

(中学校：標準規模校)

- ・30分以下通えることが理想ですが、それがすべてではないと思えます。児童・生徒、保護者が満足できる質の高い教育内容が実施されているかどうかが大変だと思えます。小規模校の大変さ等が実感できていないため、適切な意見が出せれず、申し訳ありません。
- ・3クラス以上あるほうが良いと思う
- ・子どもの数がへるのだから学校の数もへるのが望ましいと思う
- ・これだけ小規模校が増えてくれば統廃合を検討するのは妥当だと思う。地域の防災拠点として学校を使用できなくなるところについては、避難場所等の検討も併せて行っていく必要があると思う。
- ・できるだけ早く実現することを願っています。
- ・学校の規模の大小については、それぞれメリットとデメリットがあるので、どちらになってもよいが、どちらにしても十分な人数の教員を配置することが最も大切だと思えます。
- ・玉野市の規模だと、合併はありえると思う。しかし、学校の施設(体育館の大きさなど)なども考慮する必要があると思う。
- ・玉野市学校の統廃合は喫緊の課題であると思う。学校数が多すぎて、教員の負担は増え、教育予算はかさむ一方である。地域の思いはあるだろうが、適正な規模(小中とも2、3クラスが望ましいと思う)に整えるべきだと思う。
- ・現在の玉野市の学校規模はいびつである。小規模校が多すぎる。統廃合が妥当だと考える。

- ・ 行すべきだと思います。
- ・ 児童生徒も教員も、ある程度人数がいる中の方が、成長度合いも大きいと思います。コミュニケーション力が大切な今の時代に、適正規模化はある程度必要かと思います。
- ・ 小さい学校のほうが好きです
- ・ 小学校と中学校では、地域の方の意見も差異があり、温度差を感じます。中学校では明らかなマイナス点（教科指導者の確保の難しさ、部活動も含めて担当者の確保の難しさなど）があり、小学校とは違う面が存在します。このことを、よく理解して話し合いをしてほしいと感じます。また、既成概念にとらわれて、いつまでたっても進まないという事態は、なんとしても避けてほしいと切に願います。
- ・ 小規模校の良さとして、少人数で一人ひとりを見られるという良さもある。地域の特性との兼ね合いもある。適切な意見交換を行って、児童生徒にとってより良い学校になるようしてもらいたい。
- ・ 進めていくのは大変だと思います。しかし、これからの子育て世代、関係するのは、いまの小学校低学年以下の保護者かと思います。その辺りの人の意見を大事にしてほしいと思います。地域の意見は参考程度に。
- ・ 地域の意見もあるが、子供の学びが快適であることが一番。少人数のメリットはあるが、コミュニケーションを取るためにはそれなりの人数は必要
- ・ 地域の意見をよく聞いた上で、決定に際しては丁寧な説明を行い、実施に際しては「しわよせ感」を可能な限り払拭するための丁寧な説明を行い、実施後の見通しを市全体で共有できることが大切。
- ・ 中学校、小学校数が多すぎる。スクールバスなどを運用していけば統合も可能だと考えられる。実際に運用しているところもあるので、検討すべき。
- ・ 通学時間や距離など、児童生徒や各家庭の負担が少なくなるような事業の進め方が望ましいのではないかと思います。また、統廃合するしないに関わらず、教員の人員に見合った学校運営がなされてほしいです。
- ・ 適正規模もあるが、あまりに通学に時間がかかるようでは、安全や時間の使い方としても問題があると考えます。ただ、現在の教育システムでは、少し整理することは必要と思います。
- ・ 適正規模や適正配置により、生徒たちの多様な学びが確保されると考えます。
- ・ 法律で職員の数が決まっているのは分かっているのですが、やはり子どもたちによい環境を作るのであれば、教員数が全体的に少ないと思います。小学校でも、各学年に副担任がいれば、教員の負担は軽減し、児童にもっと向き合えると思いますし、中学校の教員数も増えれば、働き方改革になると思います。仕事量が減らないのに、早く帰ろう！というのは、難しいです。
- ・ 無理のないように、現状にあったようにしていけば良いと思います。

玉野市立学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査（保護者用）

玉野市教育委員会では、児童・生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し、切磋琢磨しながら、一人ひとりが資質、能力を伸ばして行ける学校環境を維持・整備するため、玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会を設置し、学校の適正規模や適正配置の検討を進めています。

検討委員会には、学識経験者や学校長を始め、保護者の代表、地域の代表、公募委員など、多くの市民の方々に参画いただいているところですが、より広く皆様の考え方や意識、思いを把握するため、本アンケートを実施します。

玉野市ホームページ上で公開している「玉野市立学校適正規模化計画（草案）」や、同草案の地域説明会（日程等は用紙末尾のQRコードまたは広報たまの7月号参照）を参考に、お考えをお聞かせいただければ幸いです。

なお、調査は無記名であり、全て統計的に処理するため個人が特定されることはありません。また、他の目的には一切使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力をお願い申し上げます。

令和4年7月

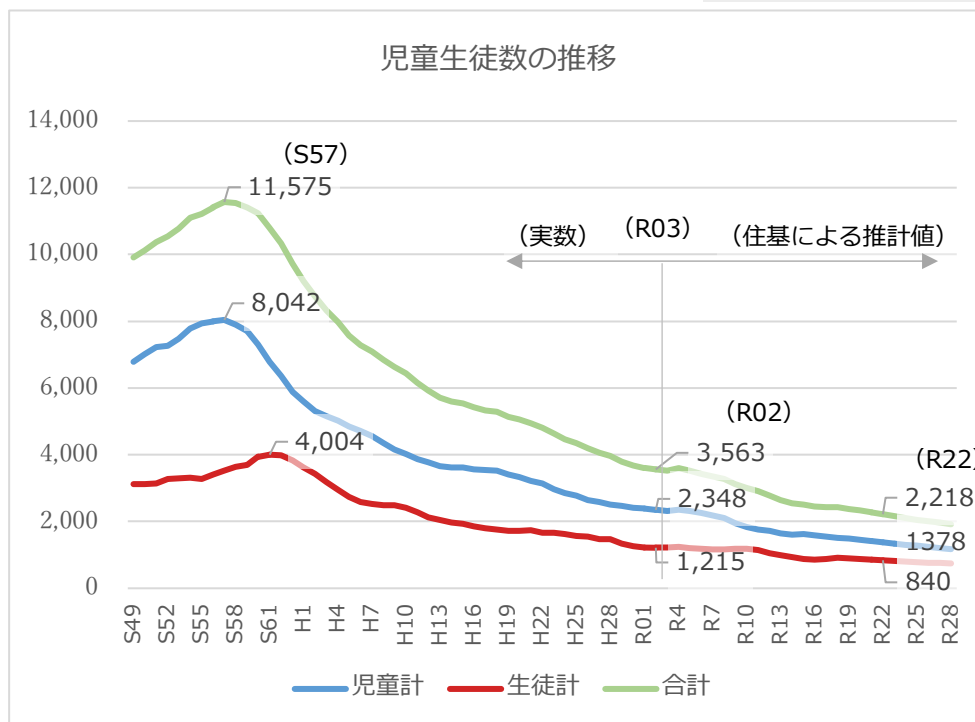
玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会

玉野市教育委員会

終了

インターネットからも
ご回答いただけます。

令和4年10月7日（金）締切



本市の児童生徒数は、昭和57年度のピークから、およそ40年間で1/3以下に減少し、今後20年間で現在比2/3以下、ピーク時の20%以下にまで減少する想定です。

Q.1 回答をされている保護者の方の年代をお答えください。

1. 10代以下 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

A.1

Q.2 お子様が在籍する学校はどこですか。

A.2

小・中 学校

Q.3 お子様は何年生ですか。

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生
5. 5年生 6. 6年生

A.3

Q.4 小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

1. 1学級 2. 2学級 3. 3学級以上
4. 複式学級でもよい 5. わからない

A.4

Q.4-2 差し支えなければ、理由をお聞かせください。

A.4-2

Q.5 中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

1. 1学級 2. 2学級 3. 3学級以上
4. わからない

A.5

Q.5-2 差し支えなければ、理由をお聞かせください。

A.5-2

Q.6 現在お子様が通われている学校の規模や児童生徒数をどう思いますか。

1. 大きい(多い) 2. 適切 3. 小さい(少ない)
4. わからない

A.6

Q.7 お子様の通学時間はどのくらいですか。

1. 15分未満 2. 15分～30分未満 3. 30分～45分未満
4. 45分～1時間未満 5. 1時間以上

A.7

Q.8 現在のお子様の通学時間(距離)をどう思われますか。

1. 短い(近い) 2. 適当 3. 長い(遠い)
4. とても長い(遠い) 5. わからない

A.8

Q.9 小学校の通学距離（時間）の適切な範囲はどのくらいと思いますか。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 45分未満
4. 1時間未満 5. 1時間以上でもよい 6. わからない

A.9

Q.10 中学校の通学距離（時間）の適切な範囲はどのくらいと思いますか。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 45分未満
4. 1時間未満 5. 1時間以上でもよい 6. わからない

A.10

Q.11 学区の見直しにあたり、考慮すべきことは何ですか。（その他を含め3つ以内）

1. 望ましい児童生徒数・学級数とすること
2. 適切な通学距離（時間）の範囲内とすること
3. 通学路の危険箇所を確認すること
4. 現在の小学校区を分割しないこと
5. 地域の意向に配慮すること
6. 通う学校を自由に選択できるようにすること
7. その他

A.11

A.11(その他)

Q.12 地域コミュニティが学校に求める機能は何と思いますか。（その他を含め3つ以内）

1. 児童生徒数が快適に学習できる環境であること
2. 地域の文化・スポーツ活動の拠点であること
3. 地域の子育て支援施設としての機能を有すること
4. 地域の高齢者福祉施設としての機能を有すること
5. 地域の防災拠点として安全安心な施設であること
6. その他

A.12

A.12(その他)

Q.13 学校の適正規模・適正配置について、みなさまのご意見をお聞かせください。

A.13

ありがとうございました。

令和4年10月7日（金）までに、お子様を通じて学校経由でご提出ください。

(参考)

■ 学校規模の基準

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（以下「手引」という）では、「クラス替えや学級を超えた集団の編成、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上あることが望ましい。中学校で全ての授業に教科担任を配置するためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましい」としています。（要旨）

■ 複式学級となる児童生徒数

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律では、複式学級とする人数の基準を「2学年の合計人数が、小学校16人（第1学年を含む場合は8人）、中学校では8人以下を標準」としています。（要旨）

■ 学校規模の現状と10年後、20年後の想定

※ 児童生徒数に対する本来の学級数（加配等による学級増は考慮しない。特学は含めない）

	規模	学級数	令和3年度	令和13年度（想定）	令和23年度（想定）
小学校	小規模	～5 （複式）	後閑、鉾立	日比、二日比 山田、後閑、鉾立	9校
		6	10校	7校	築港、宇野、八浜
		7～11	－	－	－
	適正規模	12～18	田井	田井	田井、荘内
	大規模	19～30	荘内	荘内	－
中学校	小規模	3	山田、東児	山田、東児	5校
		4～11	5校	5校	宇野、荘内

■ 通学距離の基準

手引では、「徒歩や自転車による通学距離として、小学校で4km以内、中学校で6km以内を、また、通学時間について1時間以内を、一応の目安」としています。（要旨）

玉野市教育委員会では、学校別の児童生徒数の将来推計や、統合時の通学距離、統合に伴う維持管理費の増減などのデータを取りまとめた「**玉野市立学校適正規模化計画（草案）**」を策定し、玉野市HP上で公開しています。



適正規模化計画（草案）

適正規模化の**地域説明会**を、7月22日（金）から各中学校区で順次開催します。事前申込のうえ、ぜひご参加ください。

終了

地域説明会

【このアンケートに対するお問い合わせ】

玉野市教育委員会教育総務課 TEL：0863-32-5571

玉野市立学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査（教職員用）

玉野市教育委員会では、児童・生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し、切磋琢磨しながら、一人ひとりが資質、能力を伸ばして行ける学校環境を維持・整備するため、玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会を設置し、学校の適正規模や適正配置の検討を進めています。

検討委員会には、学識経験者や学校長を始め、保護者の代表、地域の代表、公募委員など、多くの市民の方々に参画いただいているところですが、より広く皆様の考え方や意識、思いを把握するため、本アンケートを実施します。

玉野市ホームページ上で公開している「玉野市立学校適正規模化計画（草案）」や、同草案の地域説明会（日程等は用紙末尾の QR コードまたは広報たまの7月号参照）を参考に、お考えをお聞かせいただければ幸いです。

なお、調査は無記名であり、全て統計的に処理するため個人が特定されることはありません。また、他の目的には一切使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力をお願い申し上げます。

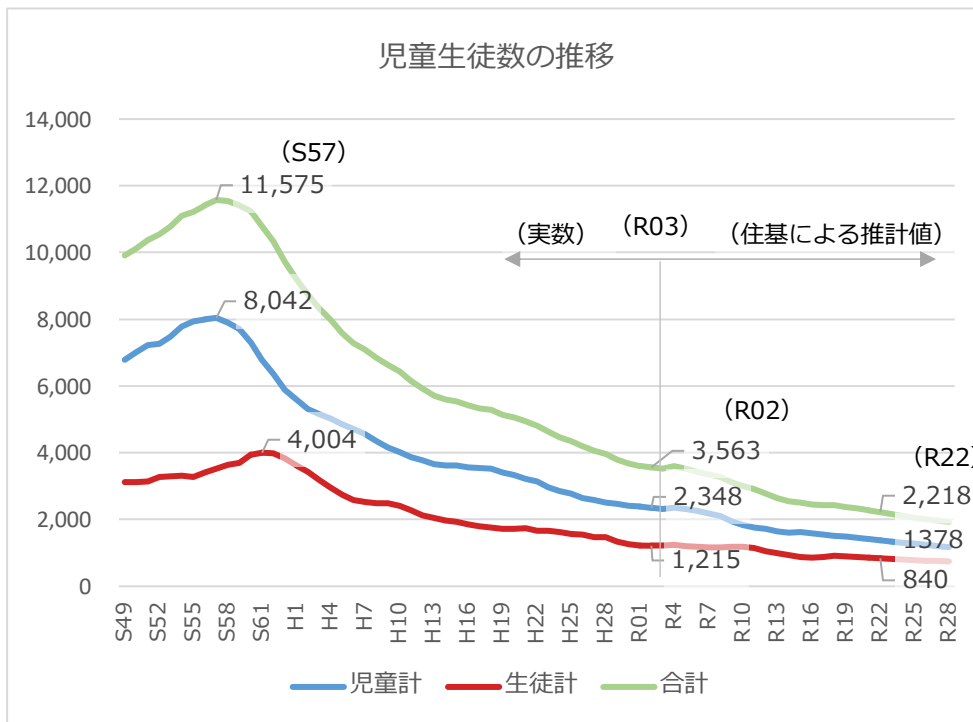
令和 4 年 7 月

玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会
玉野市教育委員会

終了

インターネットからも
ご回答いただけます。

令和 4 年 10 月 7 日（金）締切



本市の児童生徒数は、昭和 57 年度のピークから、およそ 40 年間で 1/3 以下に減少し、今後 20 年間で現在比 2/3 以下、ピーク時の 20%以下にまで減少する想定です。

Q.1 回答をされている方の年代をお答えください。

1. 10代以下 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

A.1

Q.2 回答をされている方の職種をお答えください。

1. 管理職 2. 教員（養護教諭、栄養教諭、常勤講師を含む）
3. 非常勤講師 4. その他職員

A.2

Q.3 勤務されている学校はどこですか。

（兼務の場合はいずれか1校を選択）

A.3

小・中 学校

Q.4 小学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

1. 1学級 2. 2学級 3. 3学級以上
4. 複式学級でもよい 5. わからない

A.4

Q.4-2 差し支えなければ、理由をお聞かせください。

A.4-2

Q.5 中学校の1学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

1. 1学級 2. 2学級 3. 3学級以上
4. わからない

A.5

Q.5-2 差し支えなければ、理由をお聞かせください。

A.5-2

Q.6 現在勤務されている学校の規模や児童生徒数をどう思いますか。

（兼務の場合は Q.3 で選択した学校について回答）

1. 大きい（多い） 2. 適切 3. 小さい（少ない）
4. わからない

A.6

Q.7 小学校の通学距離（時間）の適切な範囲はどのくらいと思いますか。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 45分未満
4. 1時間未満 5. 1時間以上でもよい 6. わからない

A.7

Q.8 中学校の通学距離（時間）の適切な範囲はどのくらいと思いますか。

1. 15分未満 2. 30分未満 3. 45分未満
4. 1時間未満 5. 1時間以上でもよい 6. わからない

A.8

Q.9 小規模校の運営上の課題は何だと思えますか。(その他を含め3つ以内)

1. 複数の教員による子どもたちの多面的な評価が困難
2. 教員間で切磋琢磨する環境を作りにくく、人材育成に支障を来す
3. 教員一人あたりの校務負担や、学校行事に関する負担が大きい
4. 習熟度別など、多様な学習形態をとりにくい
5. PTA 活動などで、保護者一人あたりの負担が大きい
6. 部活動の維持、指導者の確保が困難
7. その他

A.9

A.9(その他)

Q.10 学区の見直しにあたり、考慮すべきことは何だと思えますか。(その他を含め3つ以内)

1. 望ましい児童生徒数・学級数とすること
2. 適切な通学距離(時間)の範囲内とすること
3. 通学路の危険箇所を確認すること
4. 現在の小学校区を分割しないこと
5. 地域の意向に配慮すること
6. 通う学校を自由に選択できるようにすること
7. その他

A.10

A.10(その他)

Q.11 地域コミュニティが学校に求める機能は何だと思えますか。(その他を含め3つ以内)

1. 児童生徒数が快適に学習できる環境であること
2. 地域の文化・スポーツ活動の拠点であること
3. 地域の子育て支援施設としての機能を有すること
4. 地域の高齢者福祉施設としての機能を有すること
5. 地域の防災拠点として安全安心な施設であること
6. その他

A.11

A.11(その他)

Q.12 学校の適正規模・適正配置について、みなさまのご意見をお聞かせください。

A.12

ありがとうございました。

令和4年10月7日(金)までに、お子様を通じて学校経由でご提出ください。

(参考)

■ 学校規模の基準

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（以下「手引」という）では、「クラス替えや学級を超えた集団の編成、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上あることが望ましい。中学校で全ての授業に教科担任を配置するためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましい」としています。（要旨）

■ 複式学級となる児童生徒数

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律では、複式学級とする人数の基準を「2学年の合計人数が、小学校16人（第1学年を含む場合は8人）、中学校では8人以下を標準」としています。（要旨）

■ 学校規模の現状と10年後、20年後の想定

※ 児童生徒数に対する本来の学級数（加配等による学級増は考慮しない。特学は含めない）

	規模	学級数	令和3年度	令和13年度（想定）	令和23年度（想定）
小学校	小規模	～5 （複式）	後閑、鉾立	日比、二日比 山田、後閑、鉾立	9校
		6	10校	7校	築港、宇野、八浜
		7～11	－	－	－
	適正規模	12～18	田井	田井	田井、荘内
	大規模	19～30	荘内	荘内	－
中学校	小規模	3	山田、東児	山田、東児	5校
		4～11	5校	5校	宇野、荘内

■ 通学距離の基準

手引では、「徒歩や自転車による通学距離として、小学校で4km以内、中学校で6km以内を、また、通学時間について1時間以内を、一応の目安」としています。（要旨）

玉野市教育委員会では、学校別の児童生徒数の将来推計や、統合時の通学距離、統合に伴う維持管理費の増減などのデータを取りまとめた「**玉野市立学校適正規模化計画（草案）**」を策定し、玉野市HP上で公開しています。



適正規模化計画（草案）

適正規模化の**地域説明会**を、7月22日（金）から各中学校区で順次開催します。事前申込のうえ、ぜひご参加ください。

終了

地域説明会

【このアンケートに対するお問い合わせ】

玉野市教育委員会教育総務課 TEL：0863-32-5571

地

玉野市立学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査（地域用）

玉野市教育委員会では、児童・生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し、切磋琢磨しながら、一人ひとりが資質、能力を伸ばして行ける学校環境を維持・整備するため、玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会を設置し、学校の適正規模や適正配置の検討を進めています。

検討委員会には、学識経験者や学校長を始め、保護者の代表、地域の代表、公募委員など、多くの市民の方々に参画いただいているところですが、より広く皆様の考え方や意識、思いを把握するため、本アンケートを実施します。

玉野市ホームページ上で公開している「玉野市立学校適正規模化計画（草案）」や、同草案の地域説明会（日程等は用紙末尾のQRコードまたは広報たまの7月号参照）を参考に、お考えをお聞かせいただければ幸いです。

なお、調査は無記名であり、全て統計的に処理するため個人が特定されることはありません。また、他の目的には一切使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力をお願い申し上げます。

令和4年7月

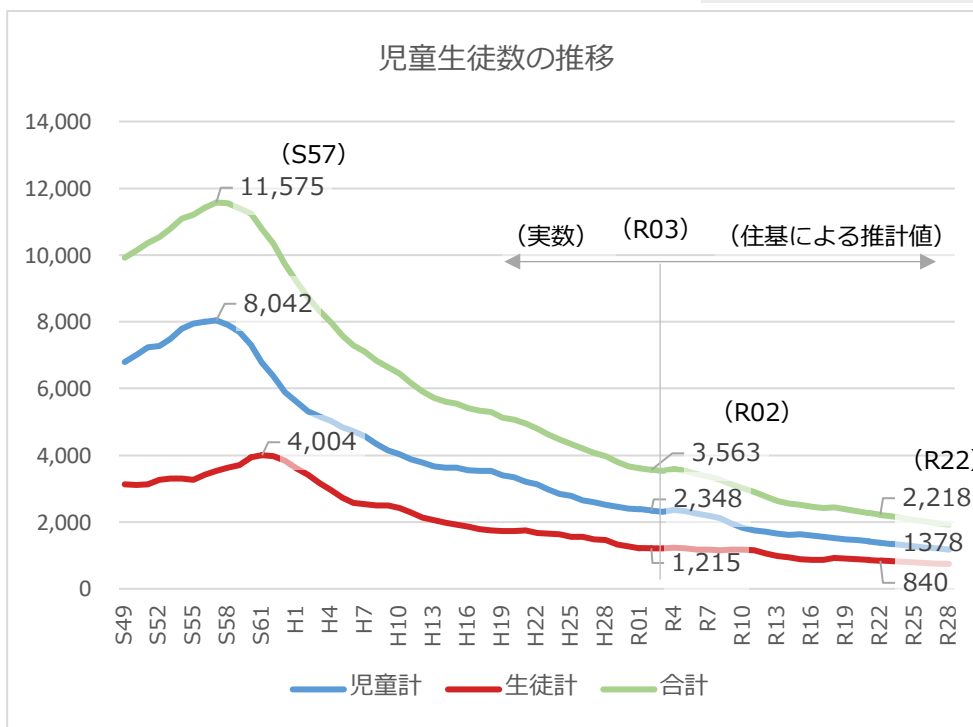
玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会

玉野市教育委員会

終了

インターネットからも
ご回答いただけます。

令和4年10月7日（金）締切



本市の児童生徒数は、昭和 57 年度のピークから、およそ 40 年間で 1/3 以下に減少し、今後 20 年間で現在比 2/3 以下、ピーク時の 20%以下にまで減少する想定です。

Q.1 回答をされている方の年代をお答えください。

1. 10 代以下 2. 20 代 3. 30 代 4. 40 代
5. 50 代 6. 60 代 7. 70 代 8. 80 代以上

A.1

Q.2 ご自宅の小学校区はどこですか。

A.2
小学校

Q.3 小学校の 1 学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

1. 1 学級 2. 2 学級 3. 3 学級以上
4. 複式学級でもよい 5. わからない

A.3

Q.3-2 差し支えなければ、理由をお聞かせください。

A.3-2

Q.4 中学校の 1 学年あたりの学級数は、何学級が望ましいと思いますか。

1. 1 学級 2. 2 学級 3. 3 学級以上
4. わからない

A.4

Q.4-2 差し支えなければ、理由をお聞かせください。

A.4-2

Q.5 小学校の通学距離（時間）の適切な範囲はどのくらいと思いますか。

1. 15 分未満 2. 30 分未満 3. 45 分未満
4. 1 時間未満 5. 1 時間以上でもよい 6. わからない

A.5

Q.6 中学校の通学距離（時間）の適切な範囲はどのくらいと思いますか。

1. 15 分未満 2. 30 分未満 3. 45 分未満
4. 1 時間未満 5. 1 時間以上でもよい 6. わからない

A.6

Q.7 学区の見直しにあたり、考慮すべきことは何ですか。(その他を含め3つ以内)

1. 望ましい児童生徒数・学級数とすること
2. 適切な通学距離（時間）の範囲内とすること
3. 通学路の危険箇所を確認すること
4. 現在の小学校区を分割しないこと
5. 地域の意向に配慮すること
6. 通う学校を自由に選択できるようにすること
7. その他

A.7

A.7(その他)

Q.8 地域コミュニティが学校に求める機能は何ですか。(その他を含め3つ以内)

1. 児童生徒数が快適に学習できる環境であること
2. 地域の文化・スポーツ活動の拠点であること
3. 地域の子育て支援施設としての機能を有すること
4. 地域の高齢者福祉施設としての機能を有すること
5. 地域の防災拠点として安全安心な施設であること
6. その他

A.8

A.8(その他)

Q.9 学校の適正規模・適正配置について、みなさまのご意見をお聞かせください。

A.9

ありがとうございました。

令和4年10月7日(金)までに、下記までご提出ください。

1. 玉野市教育委員会 教育総務課（直接またはFAXまたは郵送）
〒706-8510 玉野市宇野 1-27-1 FAX：0863-32-1329
2. 最寄りの市民センター（直接）
3. 市立就学前園の保護者は、お子様を通じて園へ

インターネットからもご回答いただけます。(👉 表紙ページのQRコード参照)

(参考)

■ 学校規模の基準

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（以下「手引」という）では、「クラス替えや学級を超えた集団の編成、同学年に複数教員を配置するためには1学年2学級以上あることが望ましい。中学校で全ての授業に教科担任を配置するためには、少なくとも9学級以上を確保することが望ましい」としています。（要旨）

■ 複式学級となる児童生徒数

公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律では、複式学級とする人数の基準を「2学年の合計人数が、小学校16人（第1学年を含む場合は8人）、中学校では8人以下を標準」としています。（要旨）

■ 学校規模の現状と10年後、20年後の想定

※ 児童生徒数に対する本来の学級数（加配等による学級増は考慮しない。特学は含めない）

	規模	学級数	令和3年度	令和13年度（想定）	令和23年度（想定）
小学校	小規模	～5 （複式）	後閑、鉾立	日比、二日比 山田、後閑、鉾立	9校
		6	10校	7校	築港、宇野、八浜
		7～11	－	－	－
	適正規模	12～18	田井	田井	田井、荘内
	大規模	19～30	荘内	荘内	－
中学校	小規模	3	山田、東児	山田、東児	5校
		4～11	5校	5校	宇野、荘内

■ 通学距離の基準

手引では、「徒歩や自転車による通学距離として、小学校で4km以内、中学校で6km以内を、また、通学時間について1時間以内を、一応の目安」としています。（要旨）

玉野市教育委員会では、学校別の児童生徒数の将来推計や、統合時の通学距離、統合に伴う維持管理費の増減などのデータを取りまとめた「**玉野市立学校適正規模化計画（草案）**」を策定し、玉野市HP上で公開しています。



適正規模化計画（草案）

適正規模化の**地域説明会**を、7月22日（金）から各中学校区で順次開催します。事前申込のうえ、ぜひご参加ください。

終了

地域説明会

【このアンケートに対するお問い合わせ】

玉野市教育委員会教育総務課 TEL：0863-32-5571

玉野市立学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査
追加調査（保護者・地域・教職員共通）

玉野市教育委員会では、玉野市立学校の適正規模や適正配置について、アンケートを実施しています。

本追加調査につきましても、各アンケート（保護者用、地域用、教職員用）と合わせ、回答にご協力をお願い申し上げます。

※ 調査は無記名であり、全て統計的に処理するため個人が特定されることはありません。
また、他の目的には一切使用いたしません。

令和 4 年 8 月

玉野市立学校適正規模・適正配置検討委員会

玉野市教育委員会

令和 4 年 10 月 7 日 (金) 締切

終了

インターネットからもご回答いただけます。

Q.1 回答をされている方のお立場をお答えください。

1. 保護者 2. 地域住民 3. 教職員

A.1

Q.2 回答をされている方の年代をお答えください。

1. 10 代以下 2. 20 代 3. 30 代 4. 40 代
5. 50 代 6. 60 代 7. 70 代 8. 80 代以上

A.2

Q.3 (保護者) お子様が在籍する学校 } はどこですか。

(地 域) お住まいの小学校区
(教職員) ご本人が在籍する学校

A.3 小 ・ 中 学 校

Q.4 (保護者) お子様は何年生ですか。

1. 1 年生 2. 2 年生 3. 3 年生 4. 4 年生
5. 5 年生 6. 6 年生

A.4

裏面へ

「玉野市立学校の適正規模・適正配置に関するアンケート調査」に未回答の方は、こちらもご協力をお願いします。

終了

保護者用

終了

地域用

終了

教職員用

Q.5 学校教育に望むことは何ですか。(その他を含め3つ以内)

1. 一人ひとりに目が行き届いた、きめ細やかな指導を受けることができる
2. 意見や感想を発表できる機会が多くある
3. 学校行事などで、一人ひとりがリーダーを務める機会がある
4. 児童生徒同士で活発なコミュニケーションができる
5. 児童生徒同士が刺激し合い、学力・耐力を高めることができる
6. 集団の中で、様々な役割分担を体験できる
7. 様々な意見や考え方に触れ、社会性や協調性を身につける機会がある
8. 様々な学習形態の授業指導を受けることができる
9. 様々なクラブ活動や部活動、委員会活動が充実している
10. その他

A.5

A.5(その他)

Q.6 学校の適正規模化に対する不安や課題は何ですか。(その他を含め3つ以内)

1. 学校がなくなることにより、地域が衰退する
2. 学校がなくなることにより、地域の活動拠点がなくなる
3. 学区が広がることにより、学校と地域との結びつきが薄れる
4. 学区が広がることにより、通学距離が長くなる
5. 集団生活になじめない児童生徒の受け皿がなくなる
6. 廃校後の施設の利用方法
7. その他

A.6

A.6(その他)

Q.7 市立学校の適正規模化について、考えに最も近いのはどれですか。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. 時期尚早
6. わからない

A.7

ありがとうございました。

令和4年10月7日(金)までに、下記までご提出ください。

1. 玉野市教育委員会 教育総務課 (直接または FAX または郵送)
〒706-8510 玉野市宇野 1-27-1 FAX : 0863-32-1329
2. 最寄りの市民センター (直接)
3. 市立校園の保護者は、お子様を通じて学校又は園へ

【このアンケートに対するお問い合わせ】

玉野市教育委員会教育総務課 TEL : 0863-32-5571

